

「みやま市人口ビジョン」及び
「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定のためのアンケート調査結果報告書

平成27年8月

みやま市

目次

第1部 調査の概要.....	1
第2部 調査結果.....	3
第1章 市民意向調査	3
I 回答者の基本属性について.....	3
II みやま市の住みやすさなどについて.....	8
III みやま市に移り住んでもらうための仕事づくりについて.....	20
IV みやま市を訪ねてもらうための施策について.....	25
V みやま市の子育て支援について.....	26
VI みやま市の健康寿命を延ばす施策について.....	30
VII みやま市に住み続けてもらうための施策について.....	36
VIII みやま市の行財政について.....	54
IX 将来のみやま市について.....	56
第2章 結婚・子育て意識調査	57
I 回答者の基本属性について.....	57
II 結婚について.....	65
III 出産・育児について.....	71

第3章 就職・進学意識調査	78
I 回答者の基本属性について	78
II 働いている方への質問	79
III 在学中の方への質問	83
IV 全員への質問	87
第4章 市外からの移住意向調査	89
I 回答者の基本属性について	89
II 回答者の居住地について	89
III みやま市の認知度について	90
IV みやま市を知っている人への質問	90
V 全員への質問	93

第 1 部
調査の概要

I 調査の目的

「みやま市人口ビジョン」及び「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の基礎資料とするため。

II 調査の対象

(1) 市民意向調査

みやま市に住所を有する20歳以上の男女の中から無作為抽出した1,500人。

(2) 結婚・子育て意識調査

みやま市に住所を有する20歳以上50歳未満の男女の中から無作為抽出した500人。

(3) 就職・進学意識調査

みやま市に住所を有する17歳以上22歳以下の男女の中から無作為抽出した300人。

(4) 市外からの移住意向調査

みやま市を除く福岡県内市町村に住所を有する20歳以上の男女（回収目標500件）。

III 調査の方法

(1)～(3)については、郵送による配布・回収。

(4)については、Web調査。

IV 調査の期間

(1)～(3)については、平成27年7月3日（金）から7月15日（水）まで。

（但し、7月31日（金）までに回収したものを含む。）

(4)については、平成27年7月2日（木）。

V 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
(1) 市民意向調査	1,500 件	835 件	55.7%
(2) 結婚・子育て意識調査	500 件	183 件	36.6%
(3) 就職・進学意識調査	300 件	134 件	44.7%
(4) 市外からの移住意向調査	—	664 件	—

VI 報告書の見方

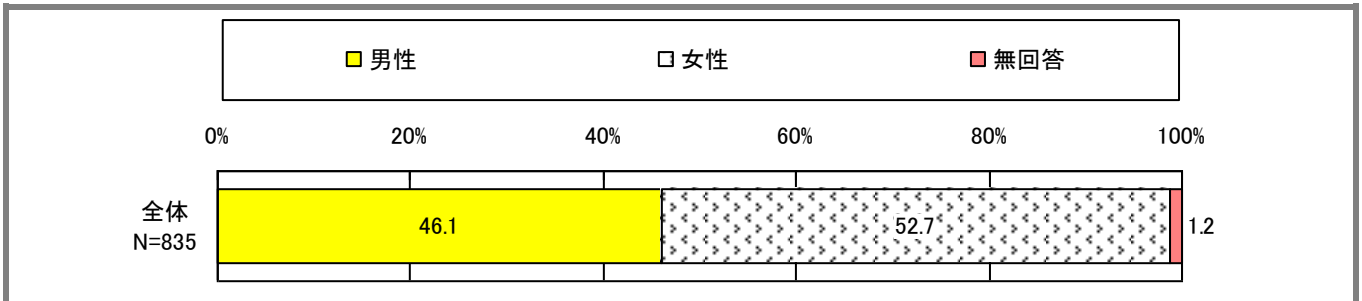
- (1) 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 で表している。
また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
- (2) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、比率算出の基数となる。
- (3) 複数回答を許している項目については、原則として、サンプル数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100% を超えている。
- (4) グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

第 2 部
調 查 結 果

第1章 市民意向調査

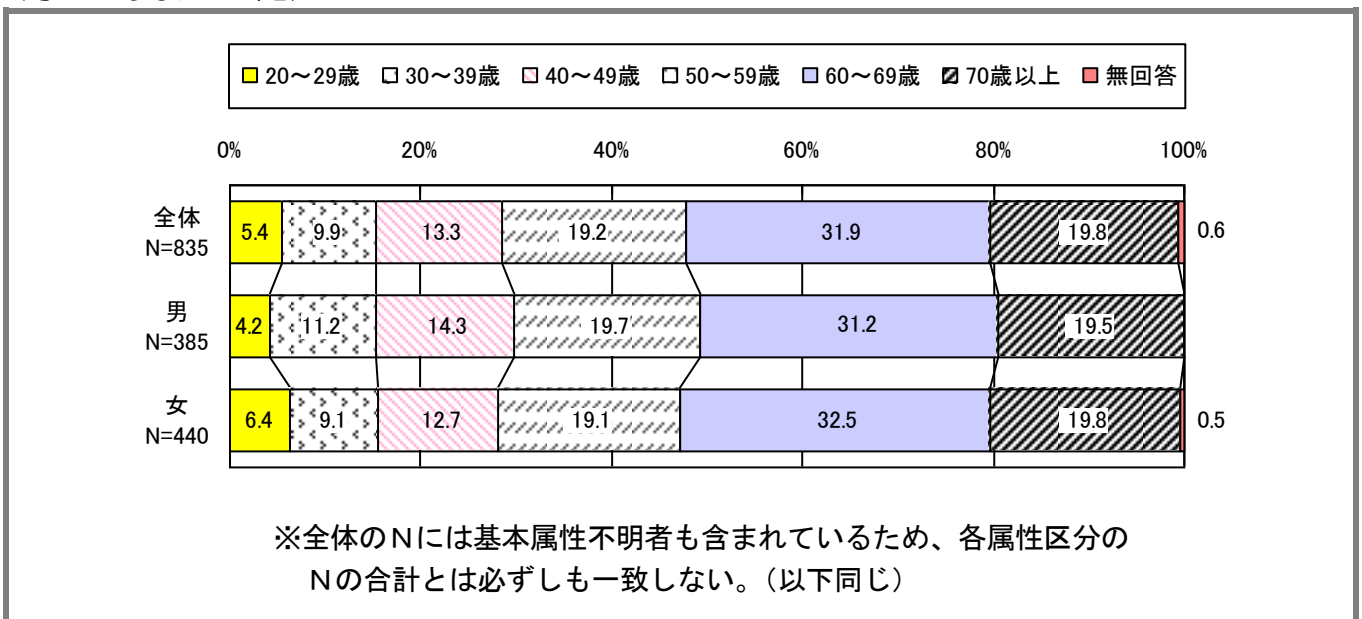
I 回答者の基本属性について

問1 あなたの性別は



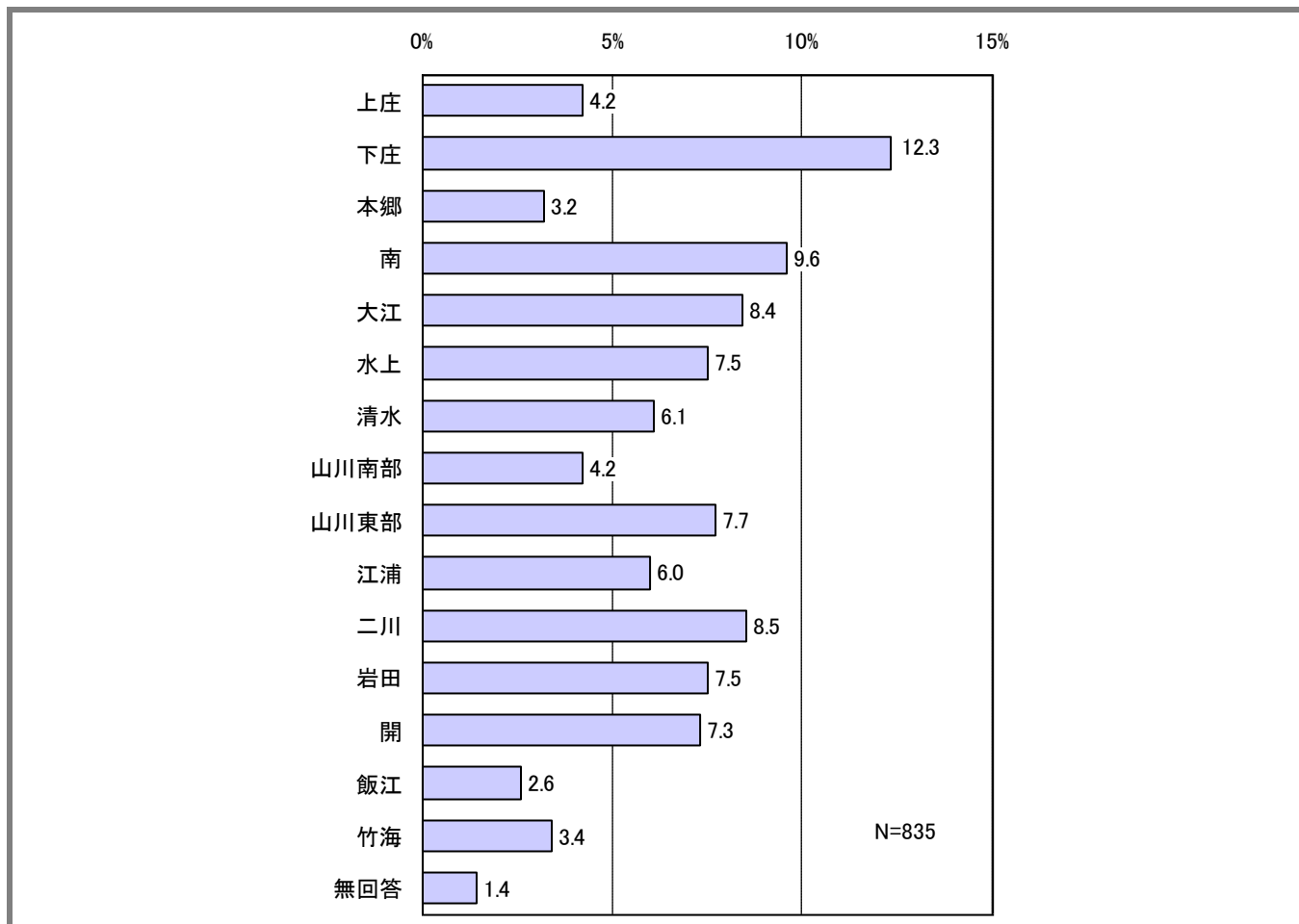
● 回答者の性別については、男性が46.1%、女性が52.7%となっている。

問2 あなたの年齢は



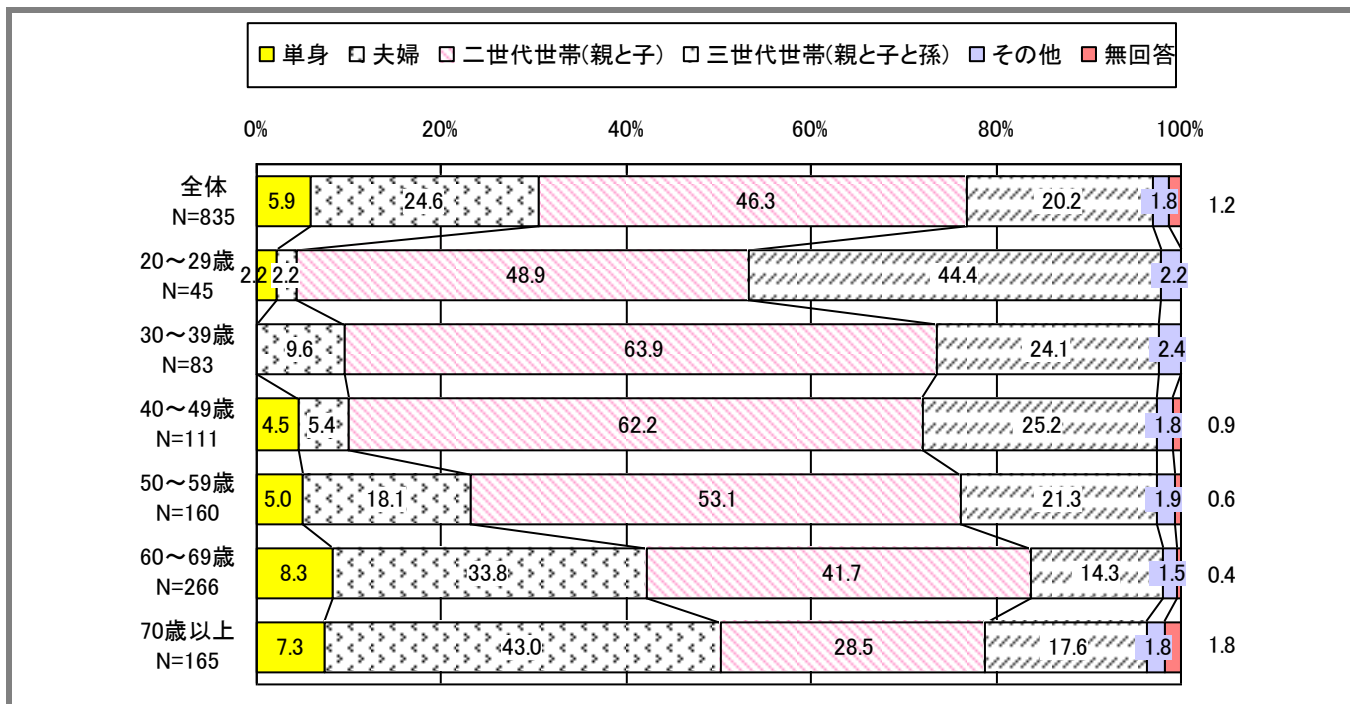
● 回答者の年齢分布は上のおりで、男女ともに「60~69歳」が最も多くなっています。

問3 お住まいの地区（小学校通学区別）



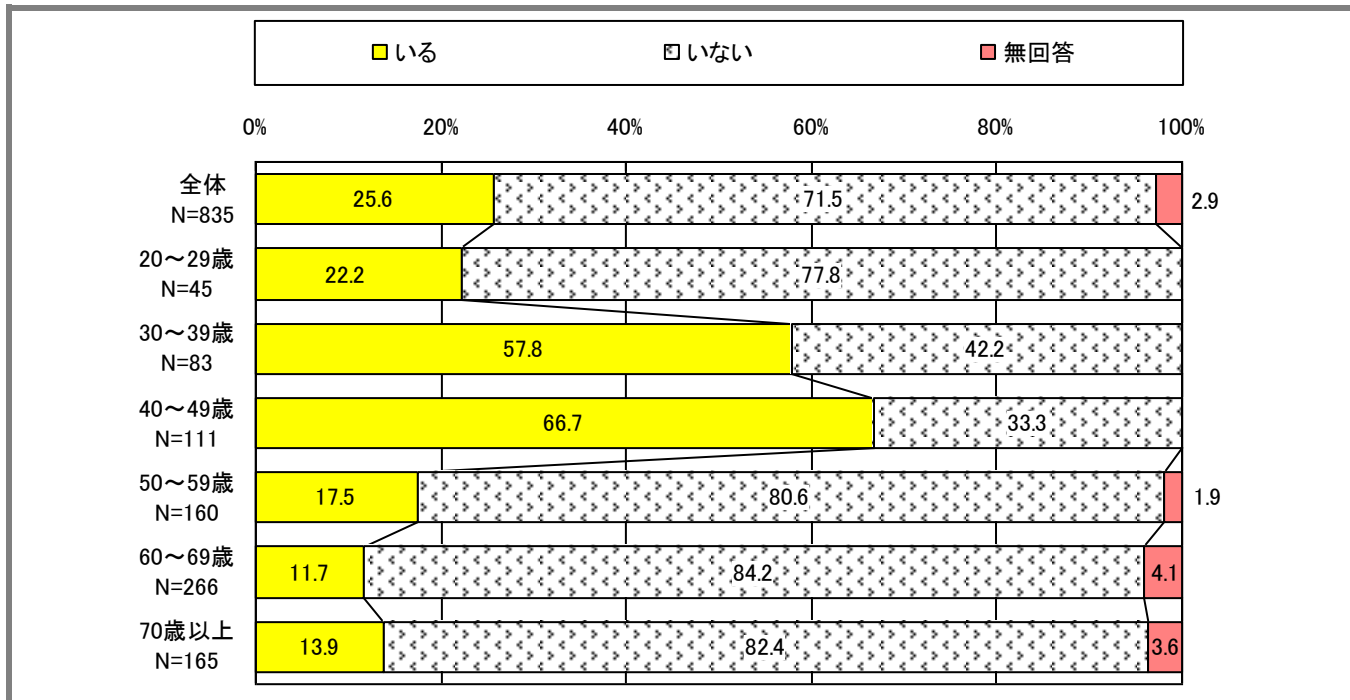
- 回答者の居住地分布は上のとおりで、回答者割合が最も高かったのは「下庄」（12.3%）、最も低かったのは「飯江」（2.6%）となっている。

問4 同居されているご家族構成は



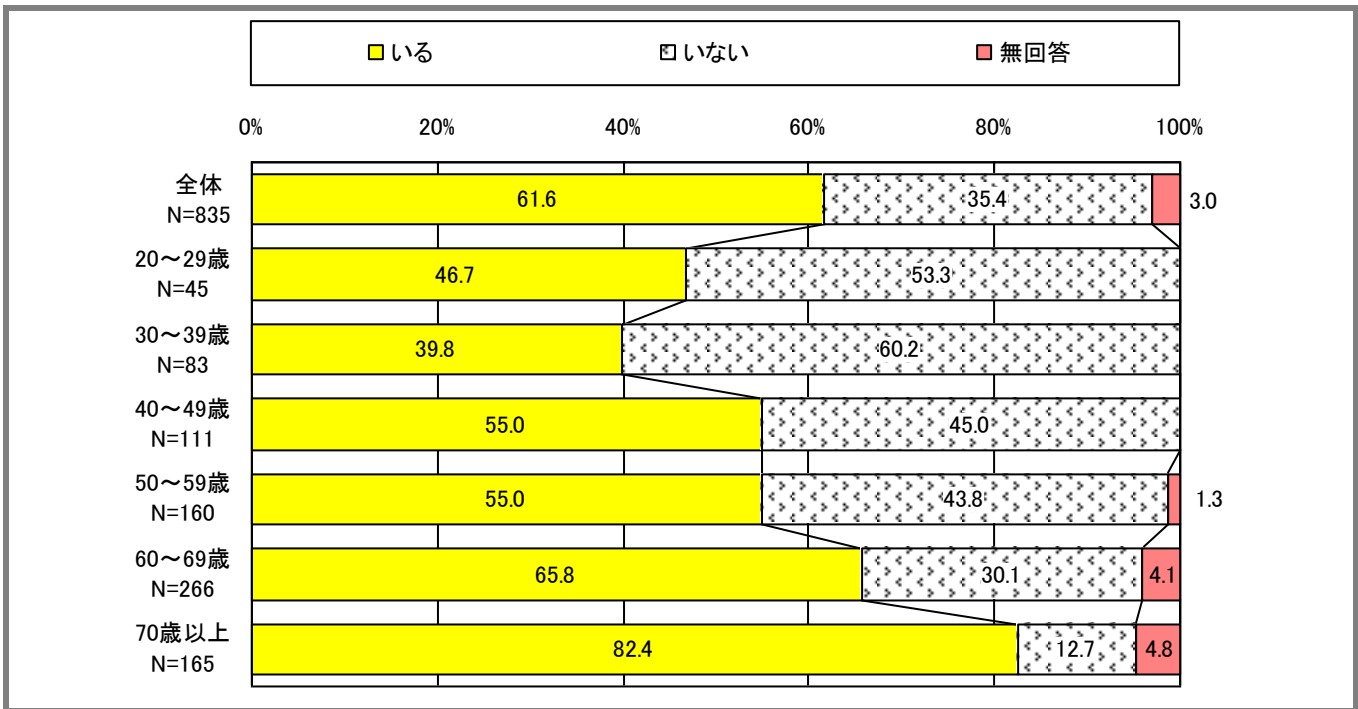
● 回答者の家族構成は「二世帯世帯（親と子）」が全体の46.3%と最も多くなっているが、40歳以降は、年齢階層が高くなるにつれて「夫婦」世帯の割合が高くなっている。

問5 同居されているご家族の中に高校生以下の子どもは



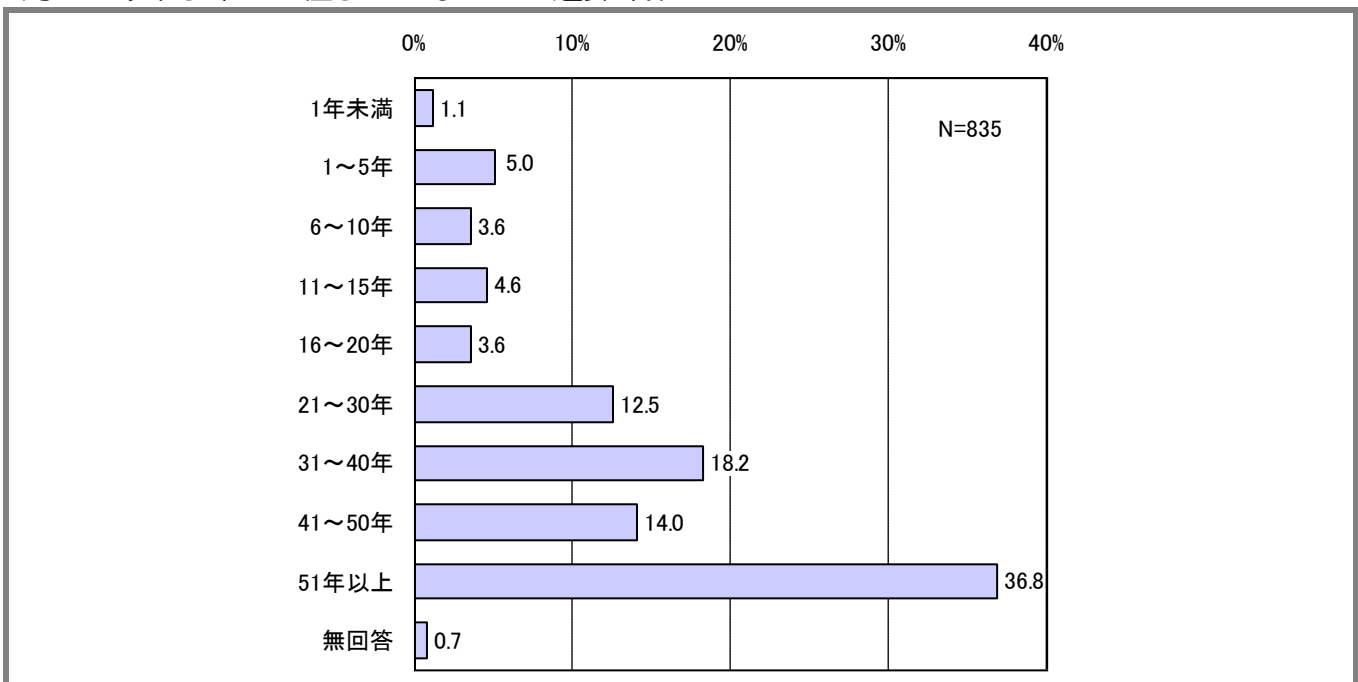
● 高校生以下の子どもがいる人の割合は、全体の25.6%で、年齢階層別に見ると、「40～49歳」（66.7%）と「30～39歳」（57.8%）の割合が高くなっている。

問6 同居されているご家族の中に（ご自身を含め）65歳以上の方は



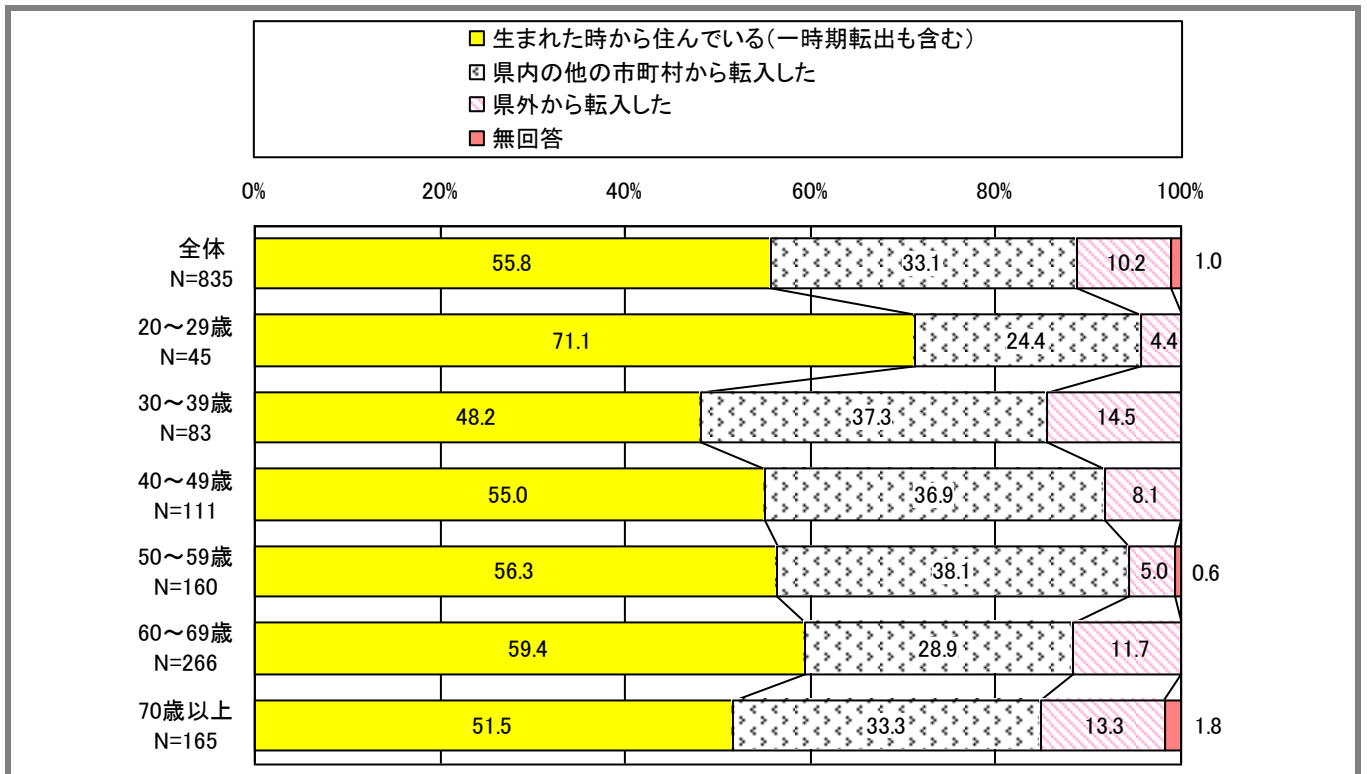
● 同居家族の中に65歳以上の高齢者がいる人の割合は、全体の61.6%となっている。

問7 みやま市にお住まいになっての通算年数は



● みやま市居住の通算年数は、「51年以上」が36.8%と最も多くなっている。

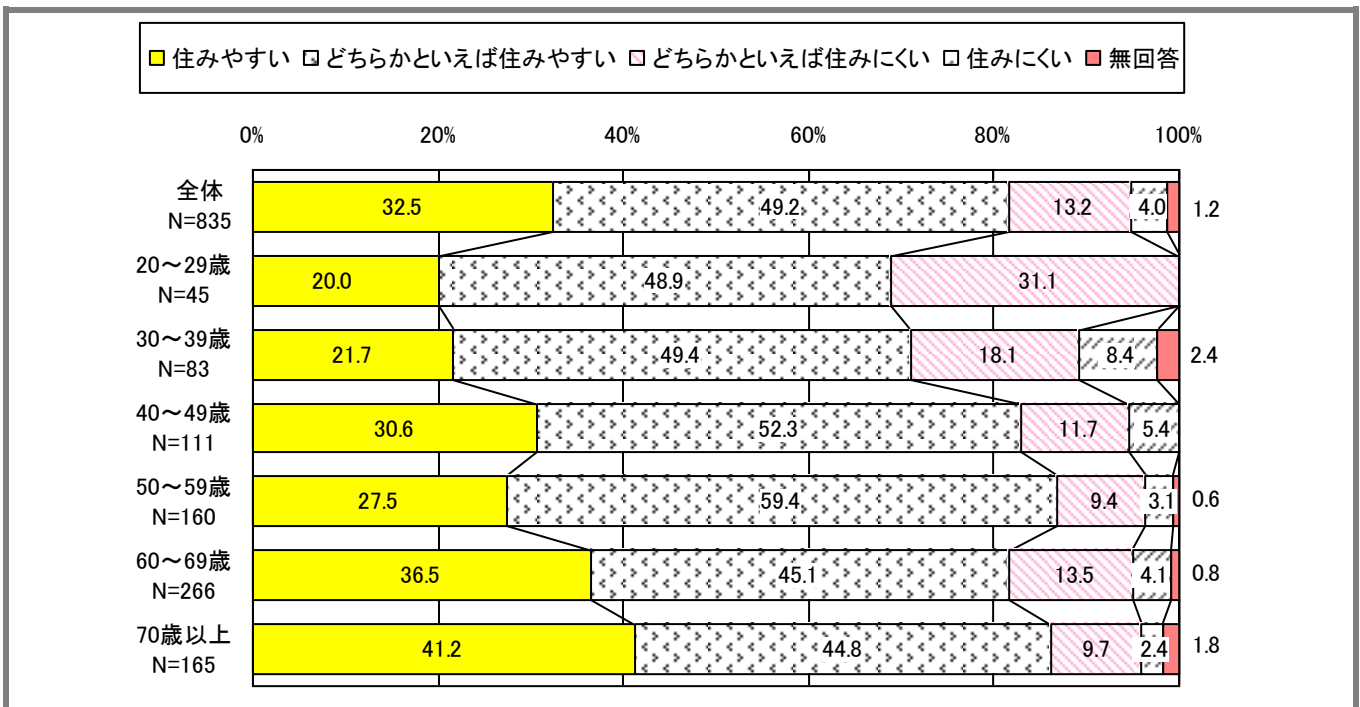
問8 みやま市には



- みやま市に「生まれた時から住んでいる（一時期転出も含む）」人の割合は全体の55.8%で、「県内の他の市町村から転入した」人は33.1%、「県外から転入」した人は10.2%となっている。

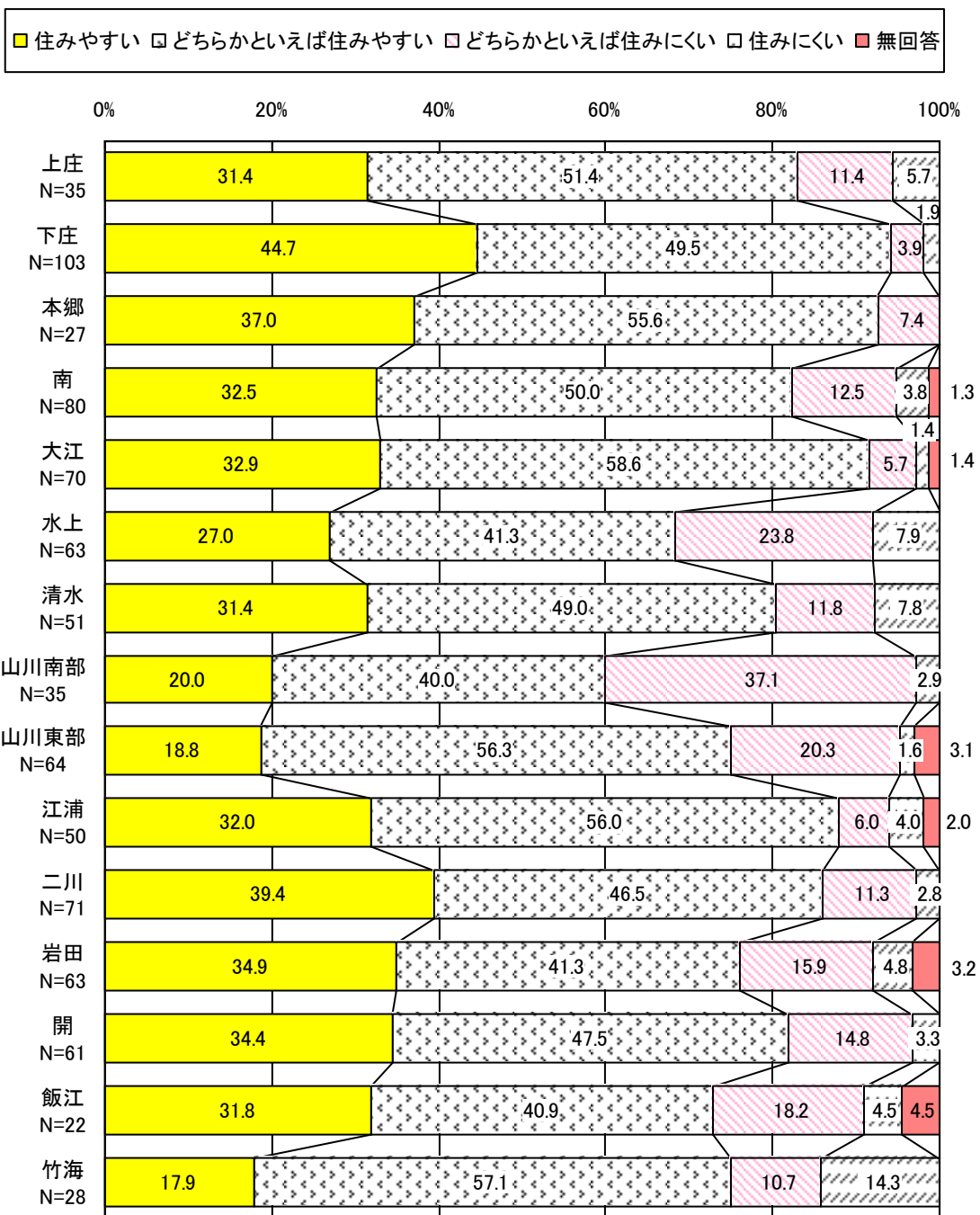
Ⅱ みやま市の住みやすさなどについて

問9 あなたにとってみやま市は住みやすいですか。（1つに○印）

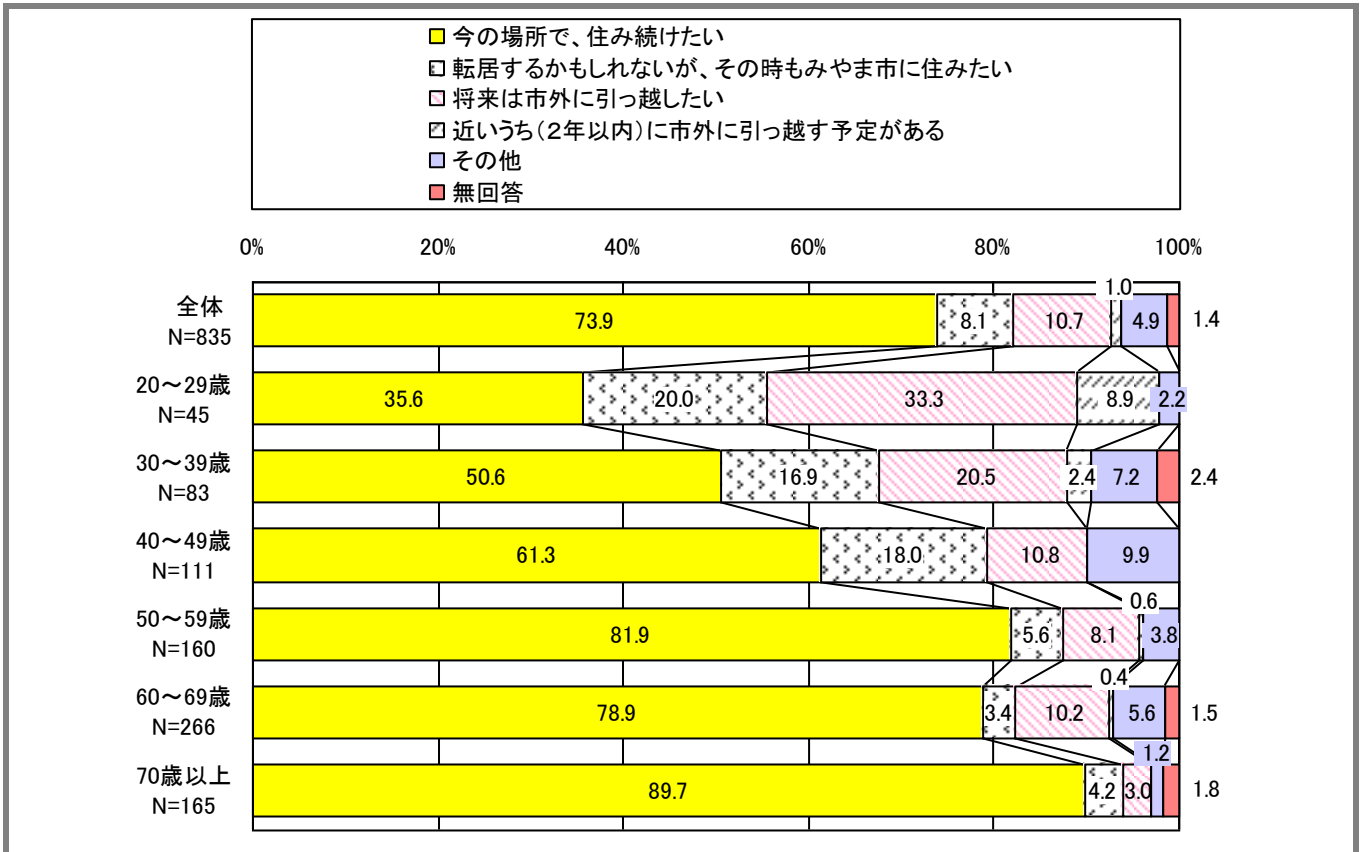


- みやま市は「住みやすい」と回答した人の割合は全体の32.5%で、「どちらかといえば住みやすい」（49.2%）を合わせると81.7%となる。
- 年齢階層別に見ると、「20～29歳」と「30～39歳」は他の年齢階層に比べ「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の割合が高くなっている。
- 居住地区別に見ると、「住みやすい」と回答した人の割合が最も高かったのは「下庄」（44.7%）、逆に「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人の割合が最も高かったのは「山川南部」（40.0%）となっている（次ページ参照）。

【居住地区別クロス集計結果】

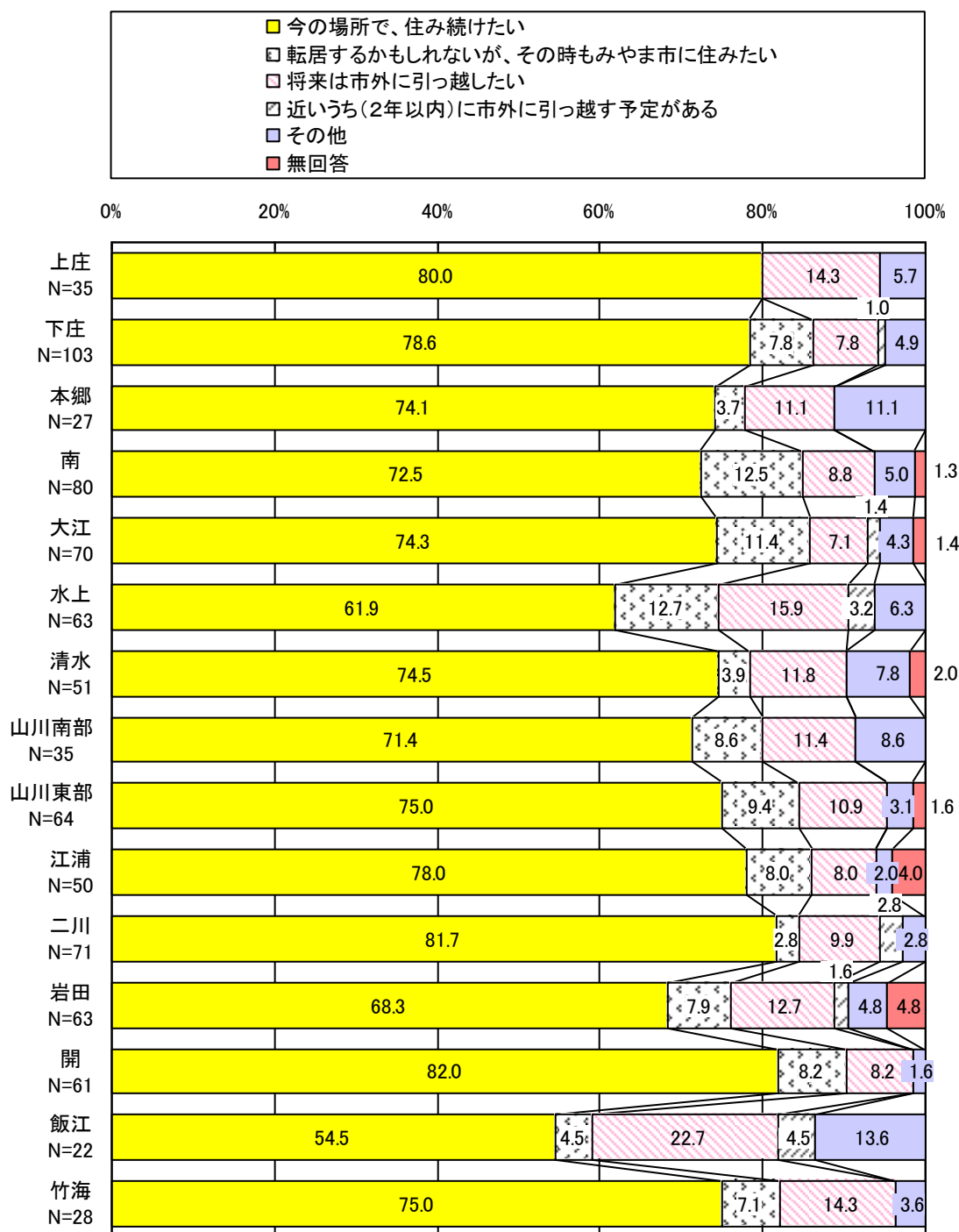


問10 あなたは今後もみやま市に住み続けたいですか。（1つに○印）

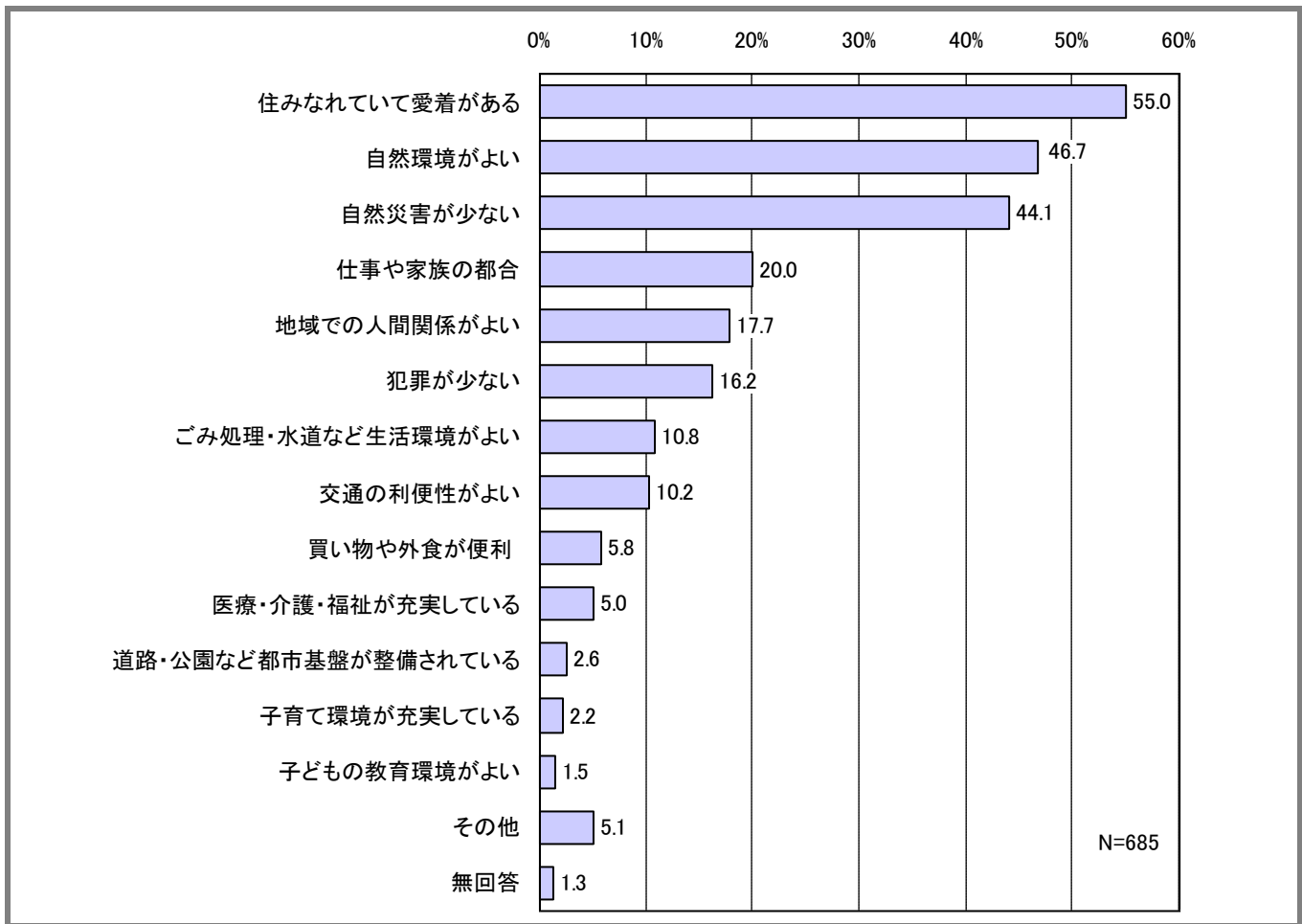


- 今後も「今の場所で、住み続けたい」と回答した人は全体の73.9%と多くなっているが、年齢階層別に見ると、年齢階層が低くなるにつれてその割合が低くなっており、「20~29歳」では3人に1人が「将来は市外に引っ越したい」と回答している。
- 居住地区別に見ると、「今の場所で、住み続けたい」と回答した人の割合が高かったのは「開」（82.0%）、「二川」（81.7%）、「上庄」（80.0%）で、逆に「将来は市外に引っ越したい」「近いうち（2年以内）に市外に引っ越す予定がある」と回答した人の割合が高かったのは「飯江」（27.2%）、「水上」（19.1%）となっている（次ページ参照）。

【居住地区別クロス集計結果】

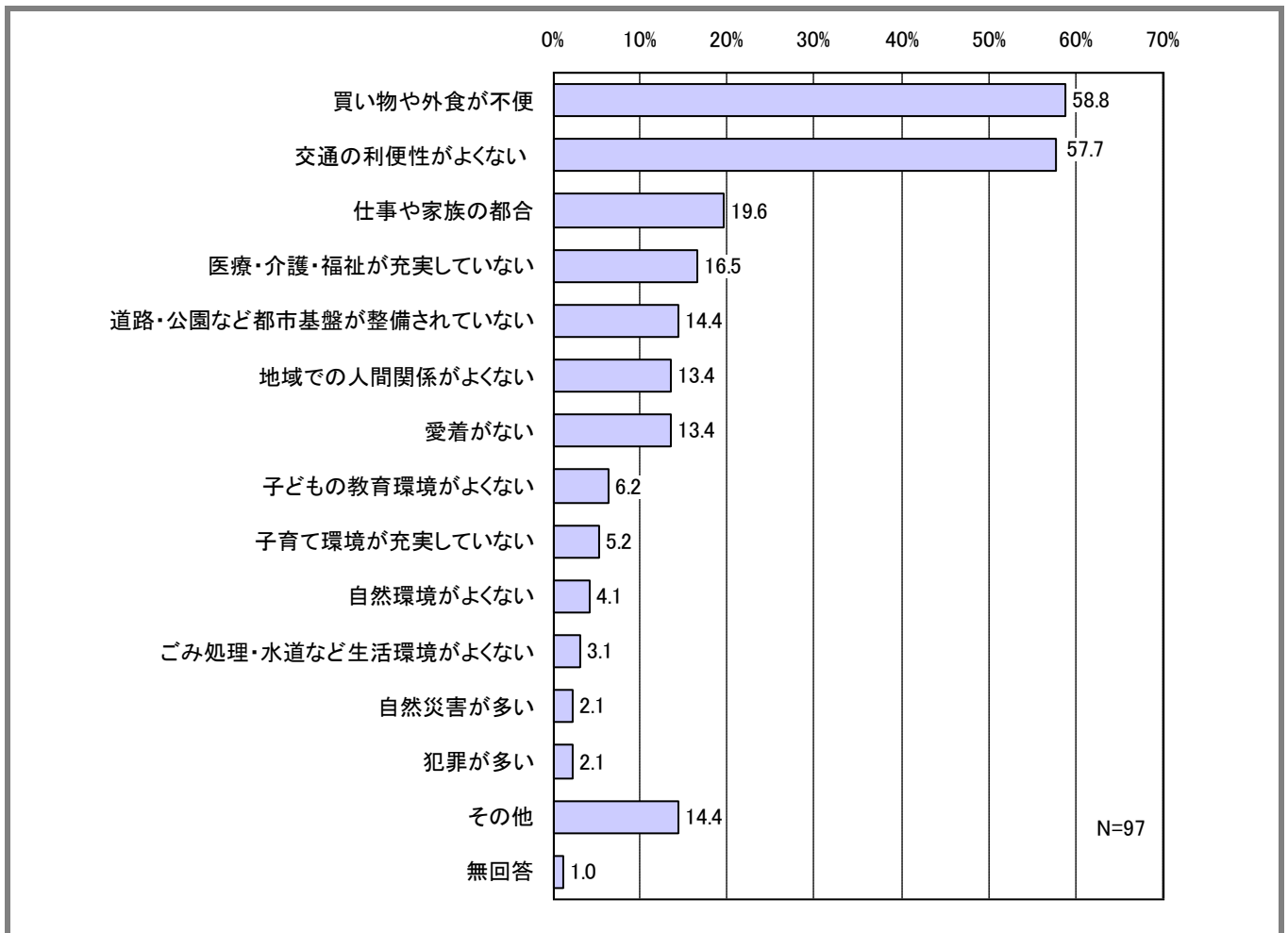


問11 問10で、1. 2.（住み続けたい）とお答えの方にお聞きします。みやま市に住み続けたい理由は何ですか。（○印は3つまで）



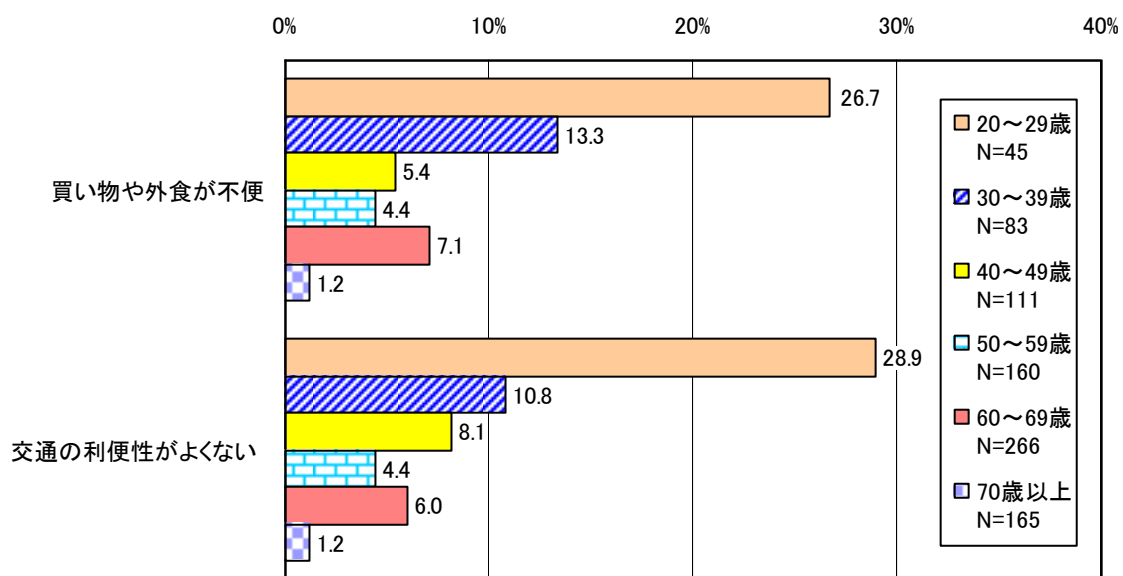
- 問10でみやま市に「住み続けたい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「住み慣れていて愛着がある」が55.0%と最も多く、以下、「自然環境がよい」（46.7%）、「自然災害が少ない」（44.1%）と続いている。

問12 問10で、3. 4.（引っ越したい）とお答えの方にお聞きします。みやま市から引っ越したい理由は何ですか。（〇印は3つまで）



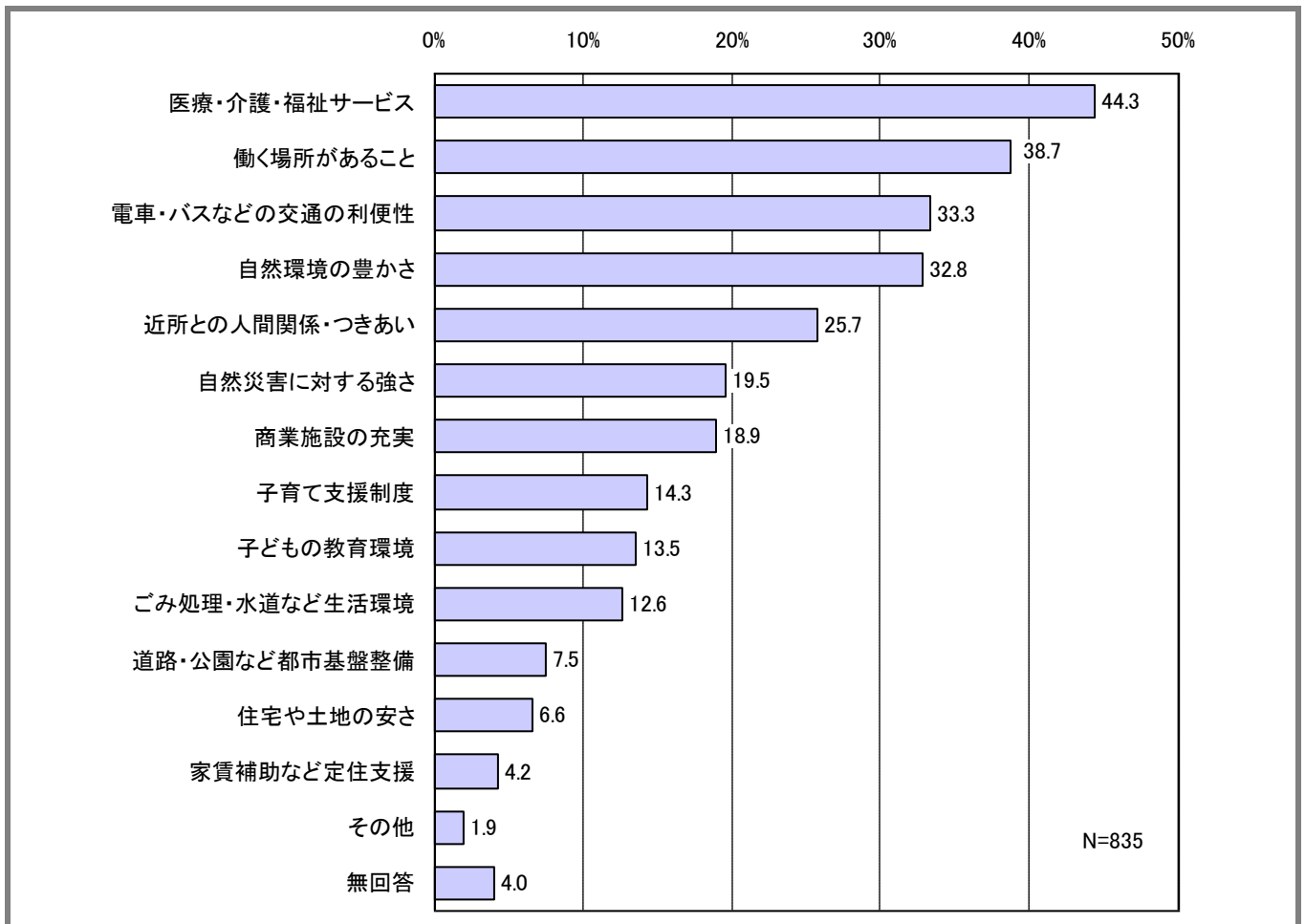
- 問10で市外に引っ越したいと回答した人にその理由を尋ねたところ、「買い物や外食が不便」が58.8%、「交通の利便性がよくない」が57.7%と、ともに高い割合となっている。
- 上位2項目について、問10の回答結果と合わせて考察するため、問10の有効回答者に対する年齢階層別の割合を見ると、他の年齢階層に比べ「20～29歳」の割合が高くなっており（次ページ参照）、「買い物や外食が不便」「交通の利便性がよくない」という理由で「将来は市外へ引っ越したい」と考える人の割合が高いのは「20～29歳」で、40歳以上についてはそれを理由に市外への引っ越しまで考える人はそれほど多くないことがわかる。

【年齢階層別クロス集計結果（上位2項目のみ）】



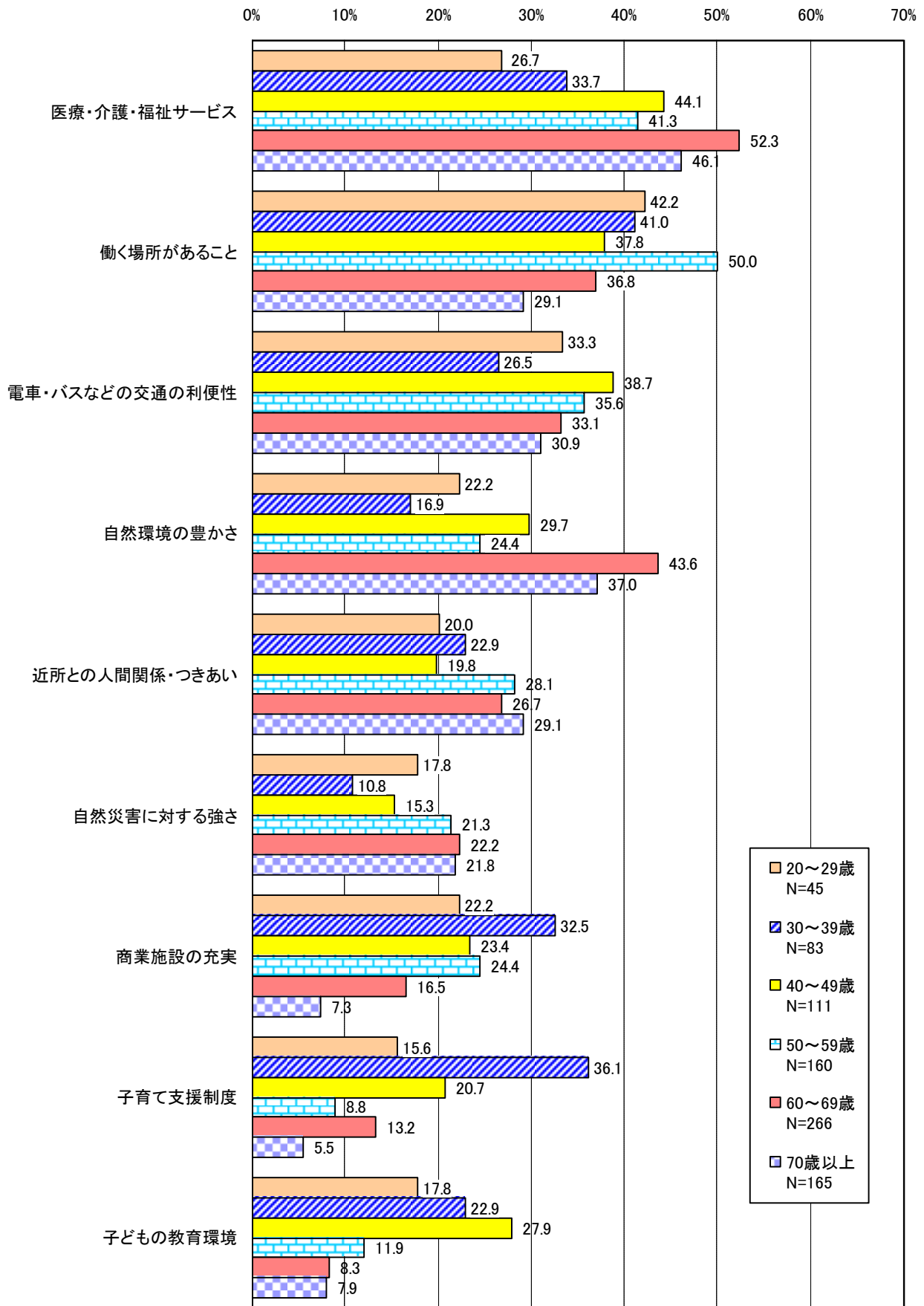
※上記グラフの回答割合は、全回答者の中での回答割合を見るため、問12ではなく、問10の有効回答者数に対する割合で表記している。

問13 住むところを決めるうえで、どのような項目が特に重要だと思いますか。（○印は3つまで）

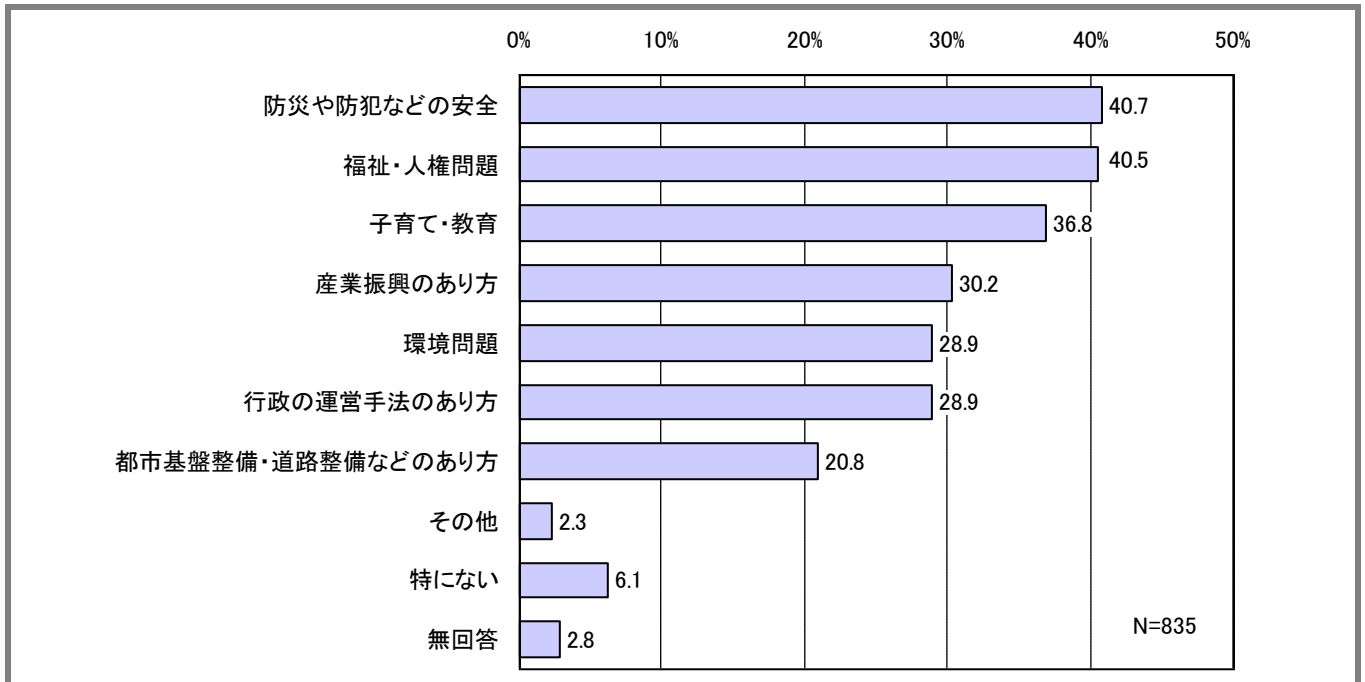


- 住むところを決めるうえで、特に重要だと思う項目としては、「医療・介護・福祉サービス」が44.3%と最も多く、以下、「働く場所があること」（38.7%）、「電車・バスなどの交通の利便性」（33.3%）、「自然環境の豊かさ」（32.8%）と続いている。
- 年齢階層別に見ると、「20～29歳」と「30～39歳」、「50～59歳」では「働く場所があること」、「40～49歳」と「60～69歳」、「70歳以上」では「医療・介護・福祉サービス」の回答割合が最も高くなっている。また、「30～39歳」では、「子育て支援制度」が「働く場所があること」に次いで、2番目に高い割合となっている。（次ページ参照）

【年齢階層別クロス集計結果（上位9項目）】

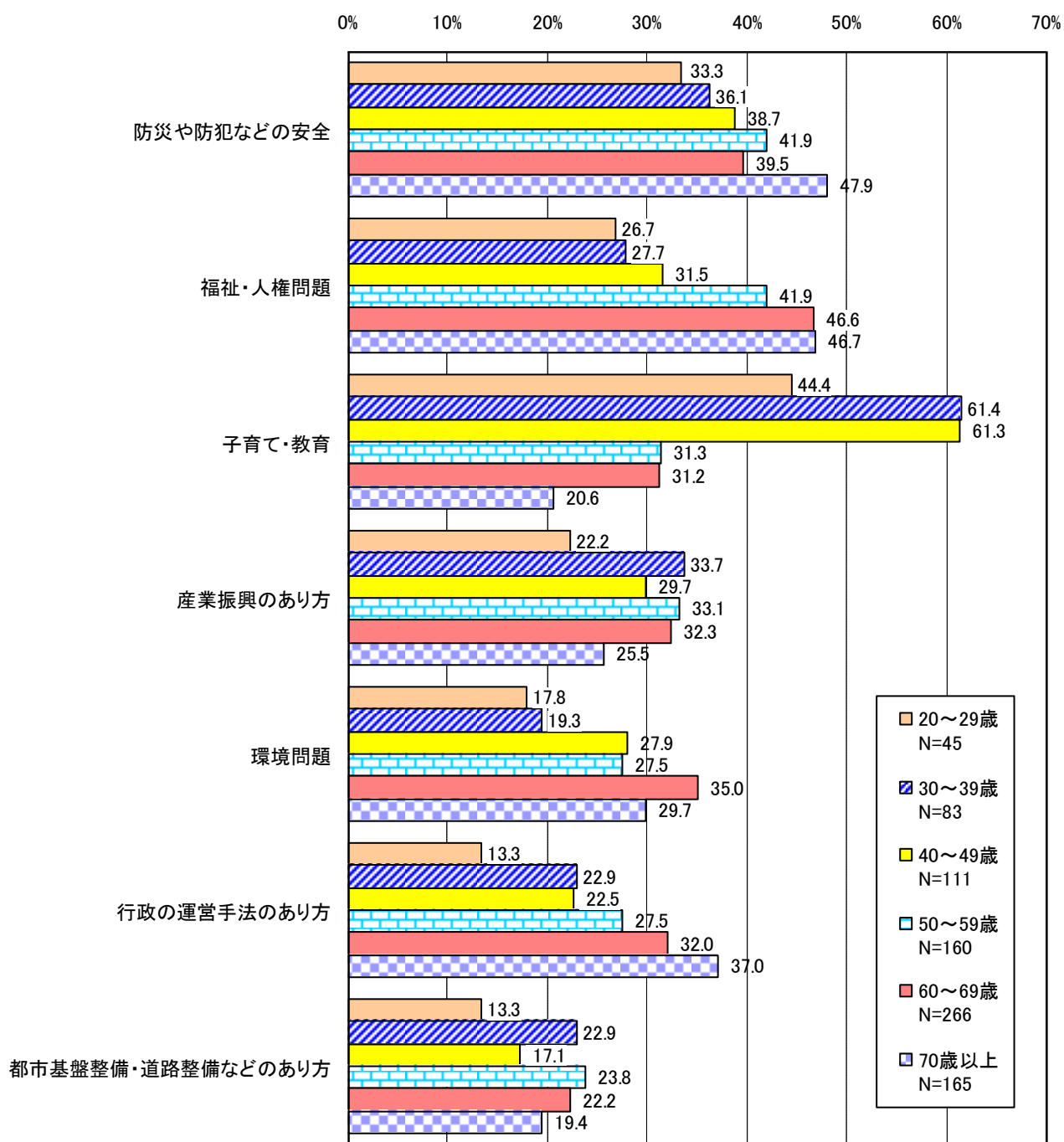


問14 あなたが、関心をお持ちの行政問題などは主にどのようなことですか。（〇印は3つまで）

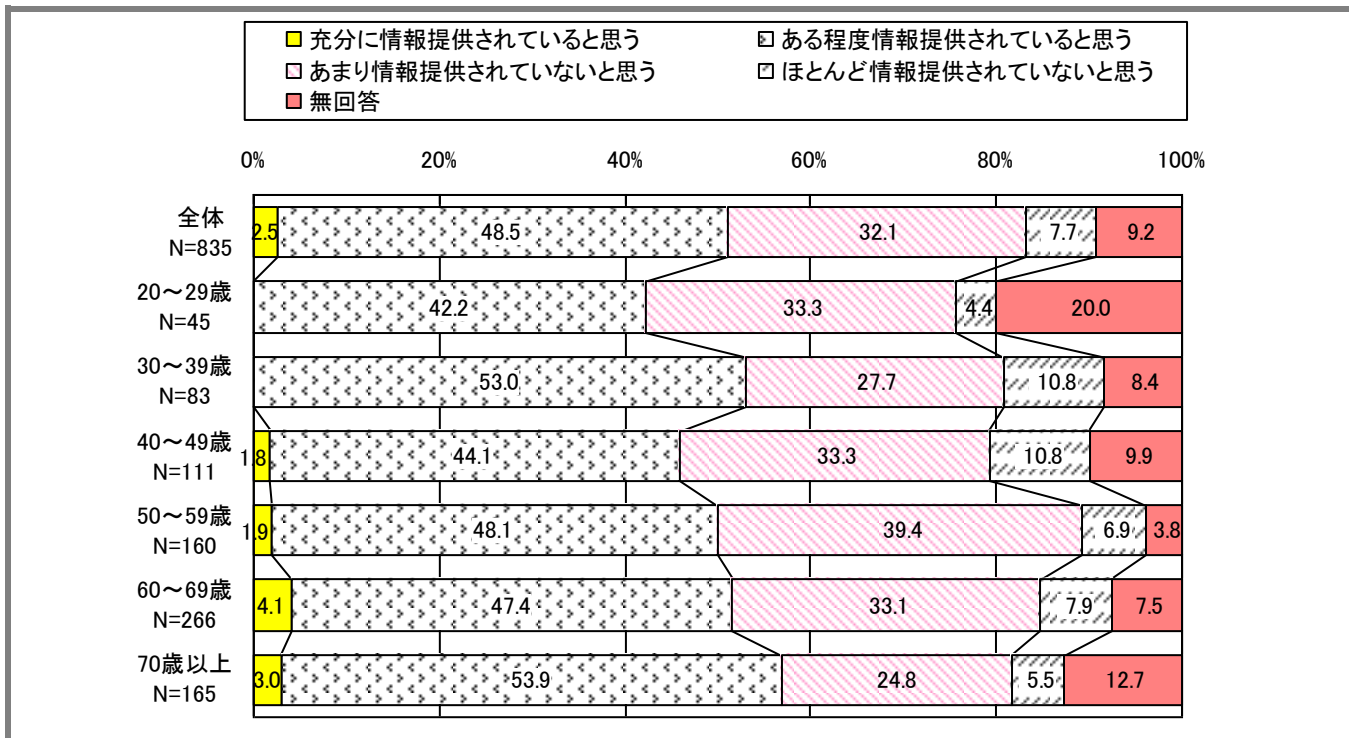


- 関心を持っている行政問題としては、「防災や防犯などの安全」（40.7%）、「福祉・人権問題」（40.5%）、「子育て・教育」（36.8%）などの回答割合が高くなっている。
- 年齢階層別に見ると、50歳未満の若い世代では「子育て・教育」の回答割合が最も高くなっている。（次ページ参照）

【年齢階層別クロス集計結果】

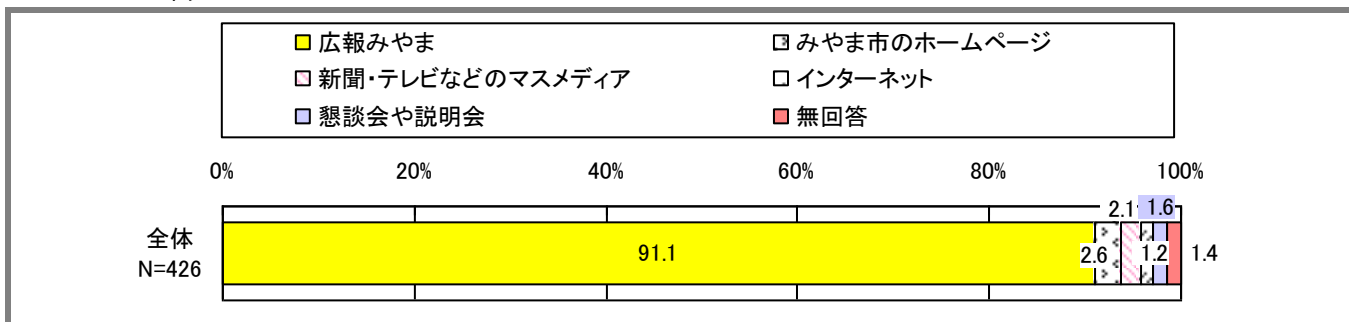


問 15 あなたが問 14 で関心を持っているとされた行政問題などについて、市行政から、その取り組み内容や方針などの情報は、どの程度提供されていると思いますか。（1つに○印）



● 市から行政問題の取り組み内容や方針などが「十分に情報提供されていると思う」と回答した人の割合は全体の2.5%で、「あまり情報提供されていないと思う」（32.1%）、「ほとんど情報提供されていないと思う」（7.7%）を合わせ、ほぼ4割の人は情報提供に不満のあることがわかる。

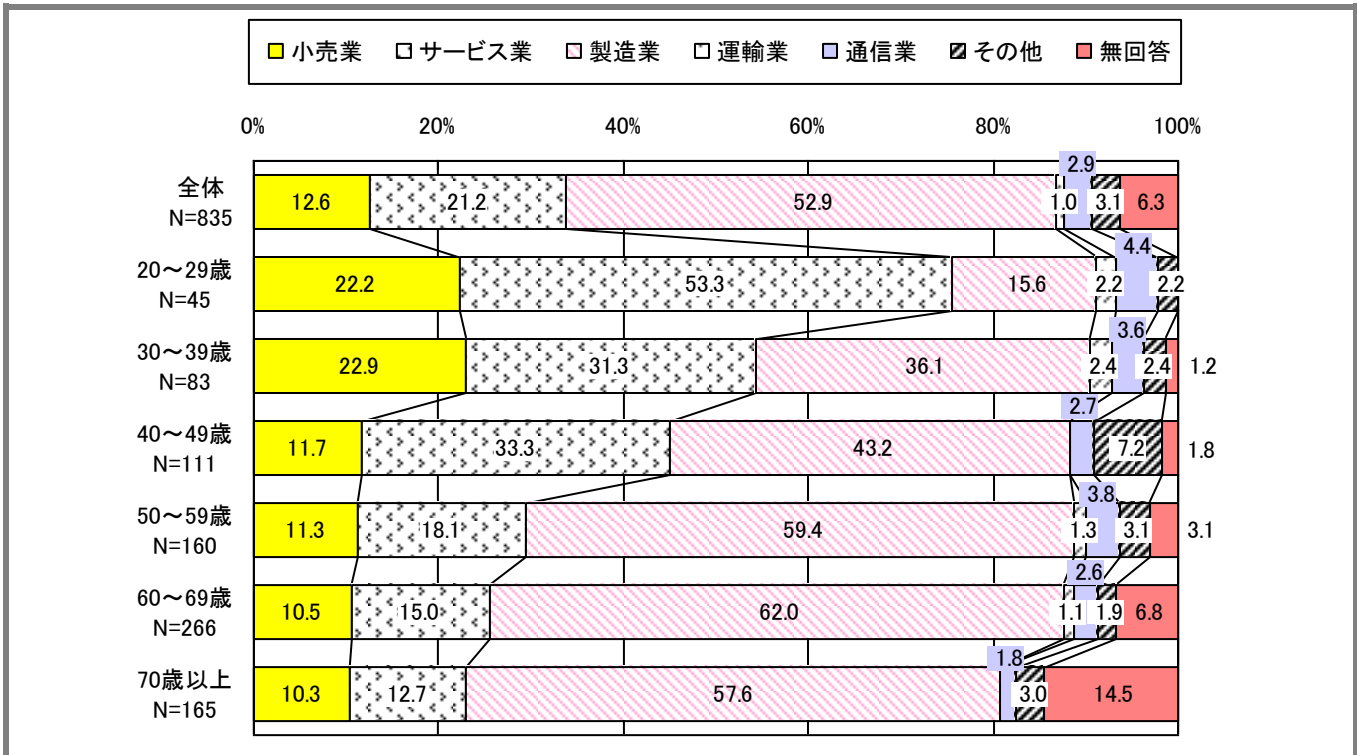
問 15-1 それらのみやま市からの情報を主にどのような方法で入手していますか。（1つに○印）



● 市からの情報入手方法としては、「広報みやま」が91.1%と大半を占めている。

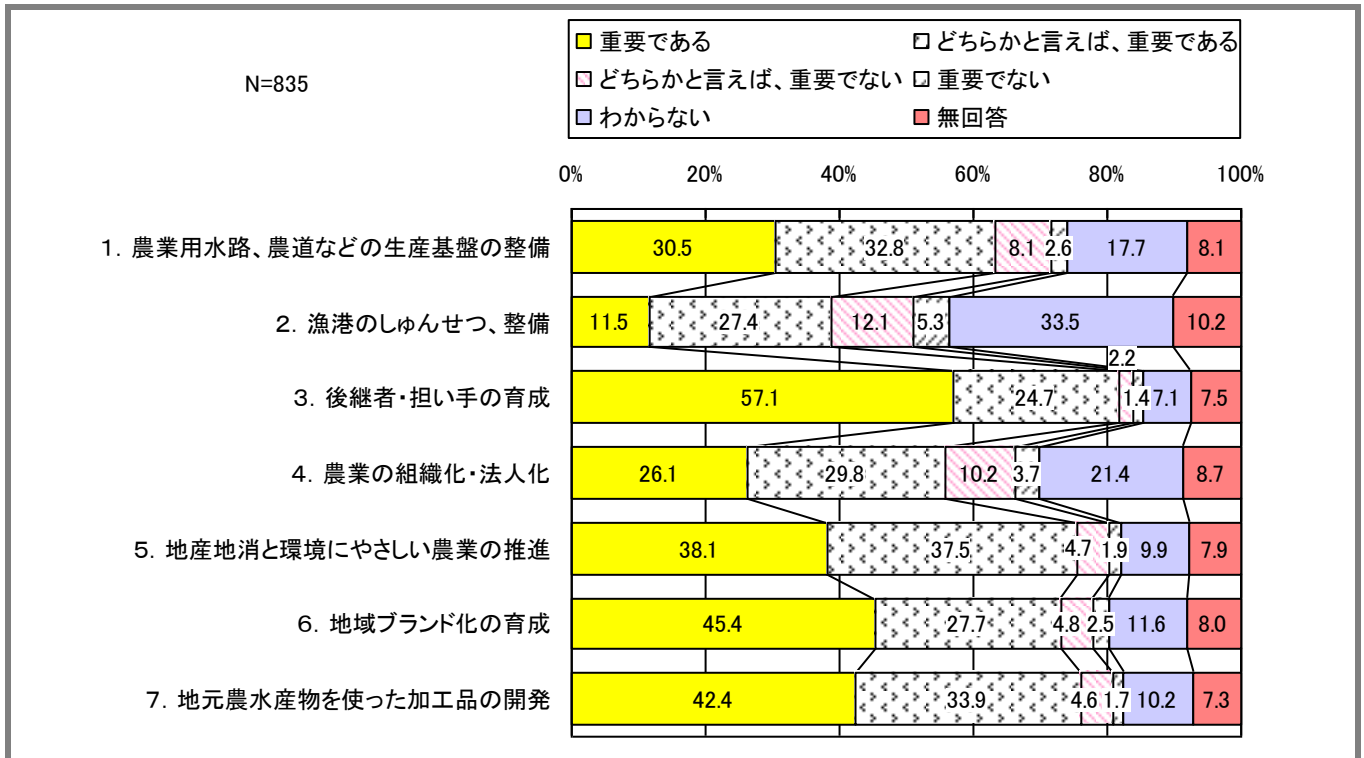
Ⅲ みやま市に移り住んでもらうための仕事づくりについて

問 16 みやま市に企業誘致をする際、どんな業種の企業に来てほしいですか。（1つに○印）



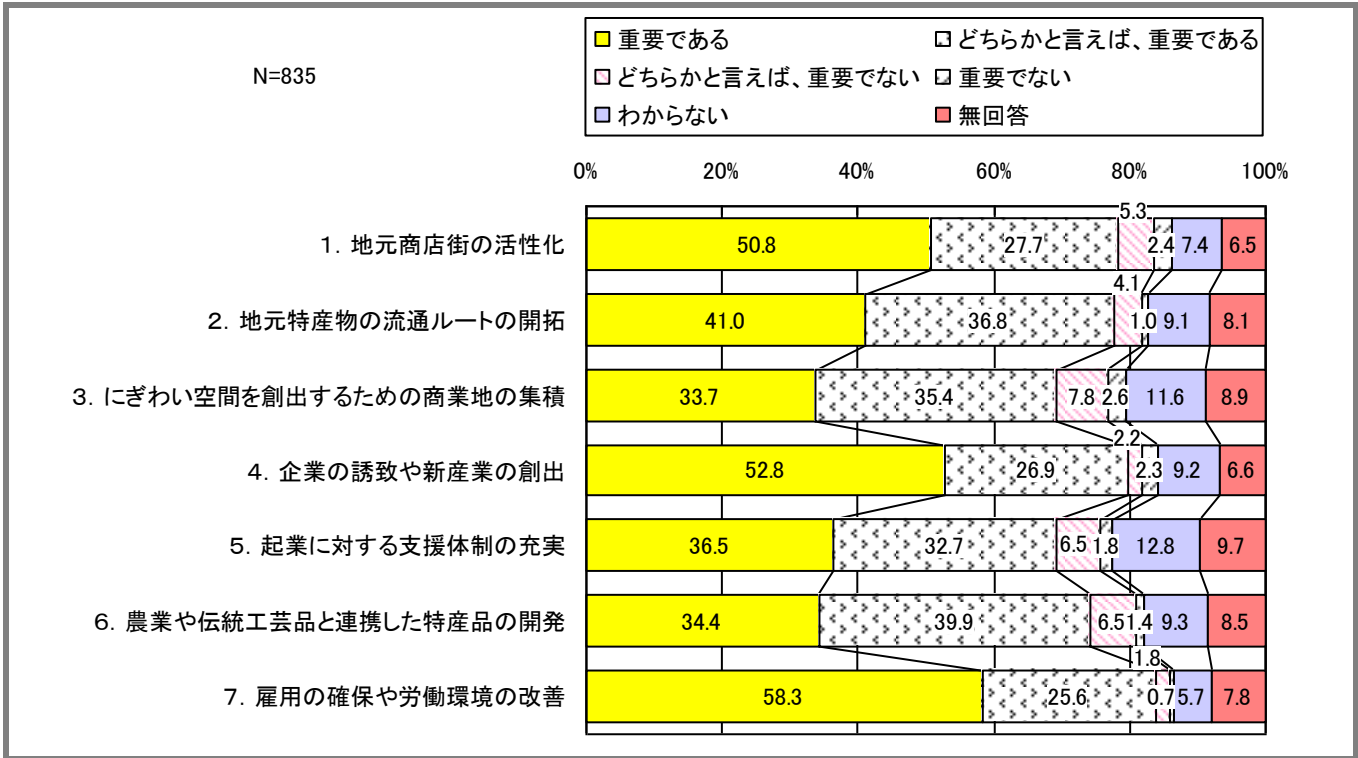
- 企業誘致の際、来てきてほしい企業の業主としては、「製造業」と回答した人が全体の52.9%と最も多くなっているが、「20～29歳」では「サービス業」が53.3%と最も多くなっている。

問 17 みやま市の基幹産業である農漁業を振興していくために特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。(すべての項目について該当するところに○印を1つ)



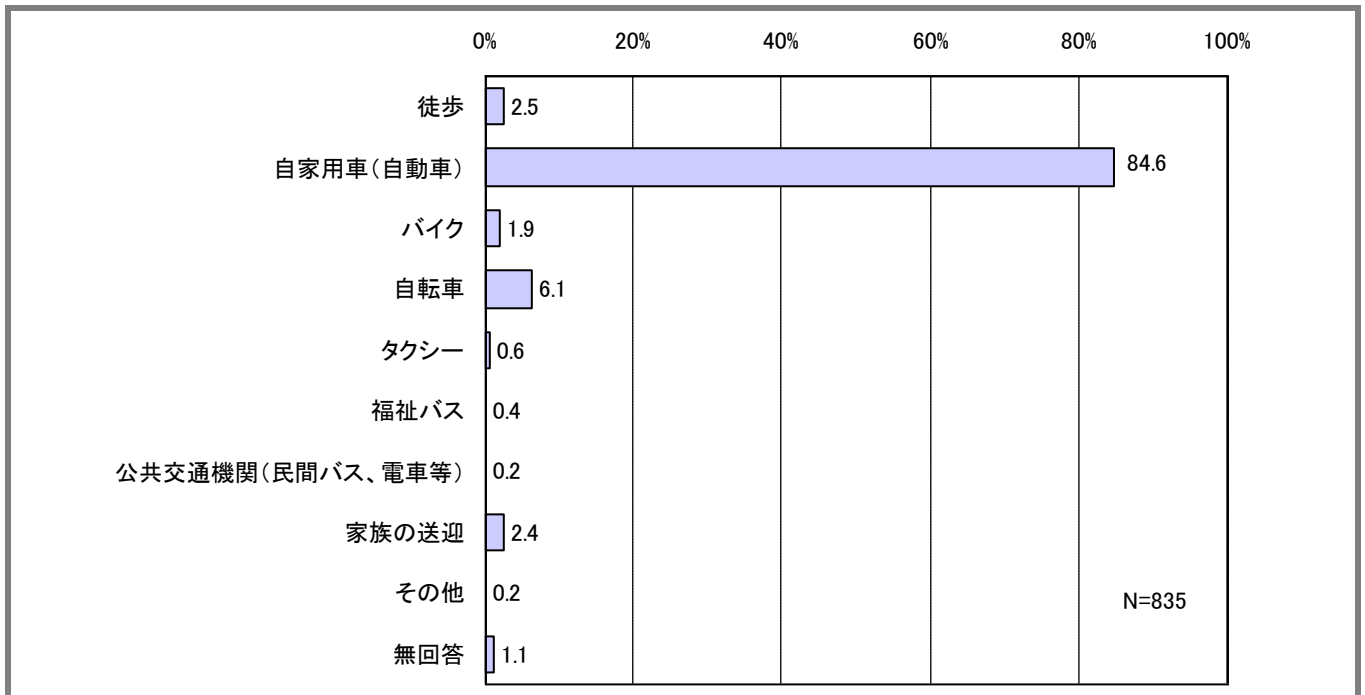
- 市の農漁業を振興していくために「重要である」と回答した人の割合が最も高かったのは、「3. 後継者・担い手の育成」(57.1%)で、「6. 地域ブランド化の育成」(45.4%)がそれに続いている。

問 18 みやま市の商工業を振興していくために特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。（すべての項目について該当するところに○印を1つ）



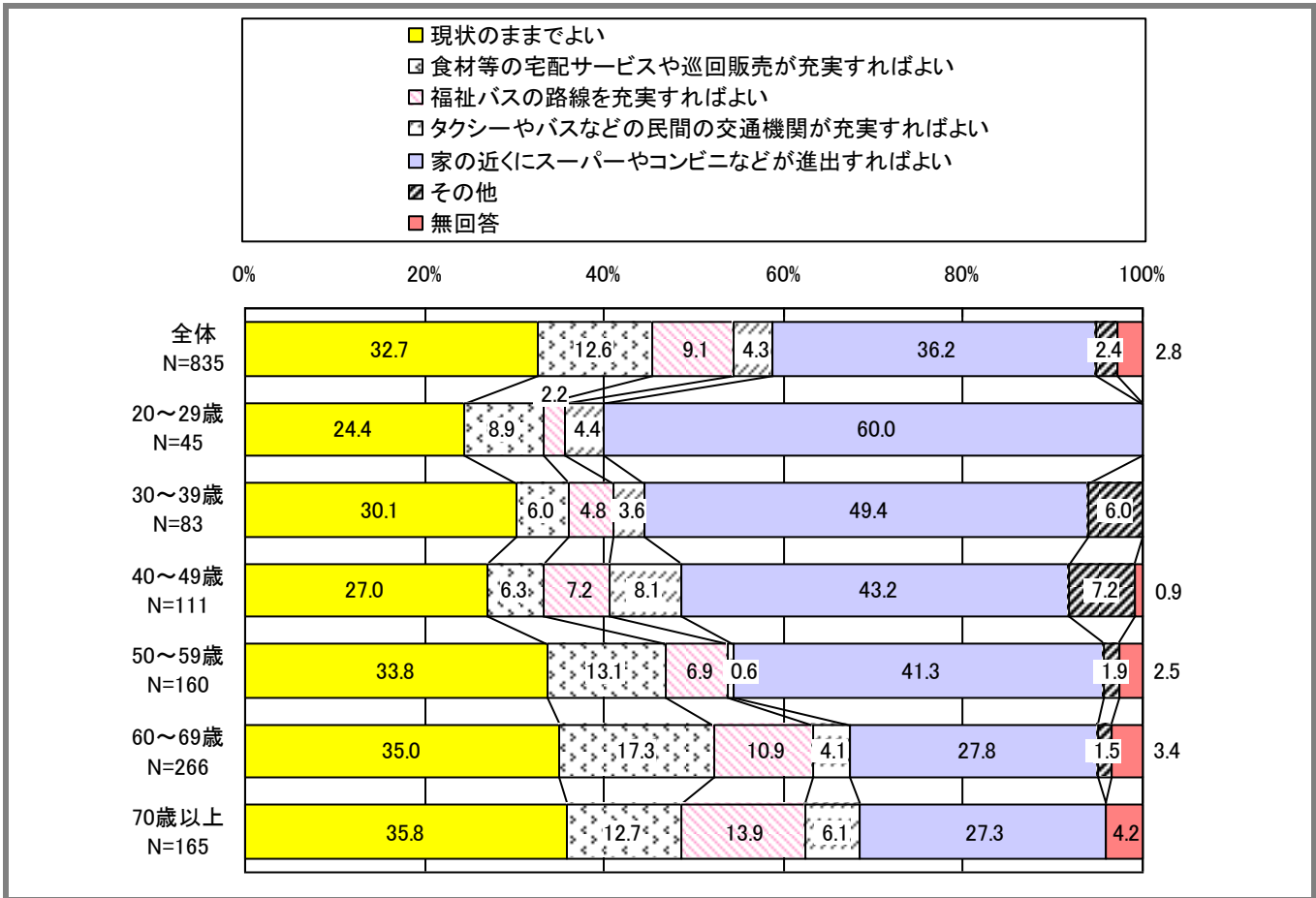
- 市の商工業を振興していくために「重要である」と回答した人の割合が最も高かったのは、「7. 雇用の確保や労働環境の改善」（58.3%）で、「4. 企業の誘致や新産業の創出」（52.8%）、「1. 地元商店街の活性化」（50.8%）がそれに続いている。

問19 あなたが買い物へ行くとき、主にどのような移動手段を使っていますか。（1つに○印）



- 買い物に行くときの交通手段は、「自家用車（自動車）」が 84.6%と、圧倒的に高い割合となっている。

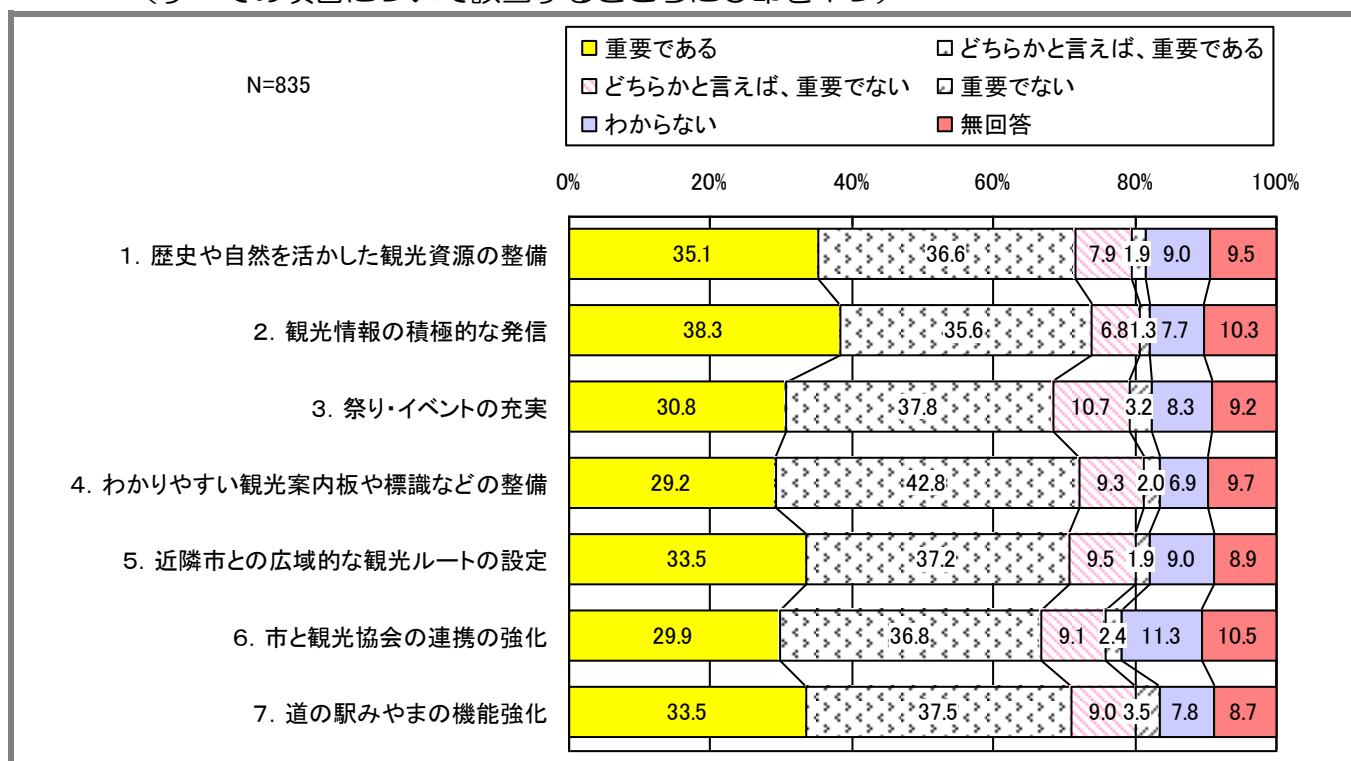
問20 あなたの現在の買い物をする環境はどうすればよくなると思いますか。（1つに○印）



● 買い物の環境をよくするためには、「家の近くにスーパーやコンビニなどが進出すればよい」という回答が全体の36.2%と最も多くなっているが、60歳以上の世代では「食材等の宅配サービスや巡回販売が充実すればよい」や「福祉バスの路線を充実すればよい」という回答も比較的多くなっている。

IV みやま市を訪ねてもらうための施策について

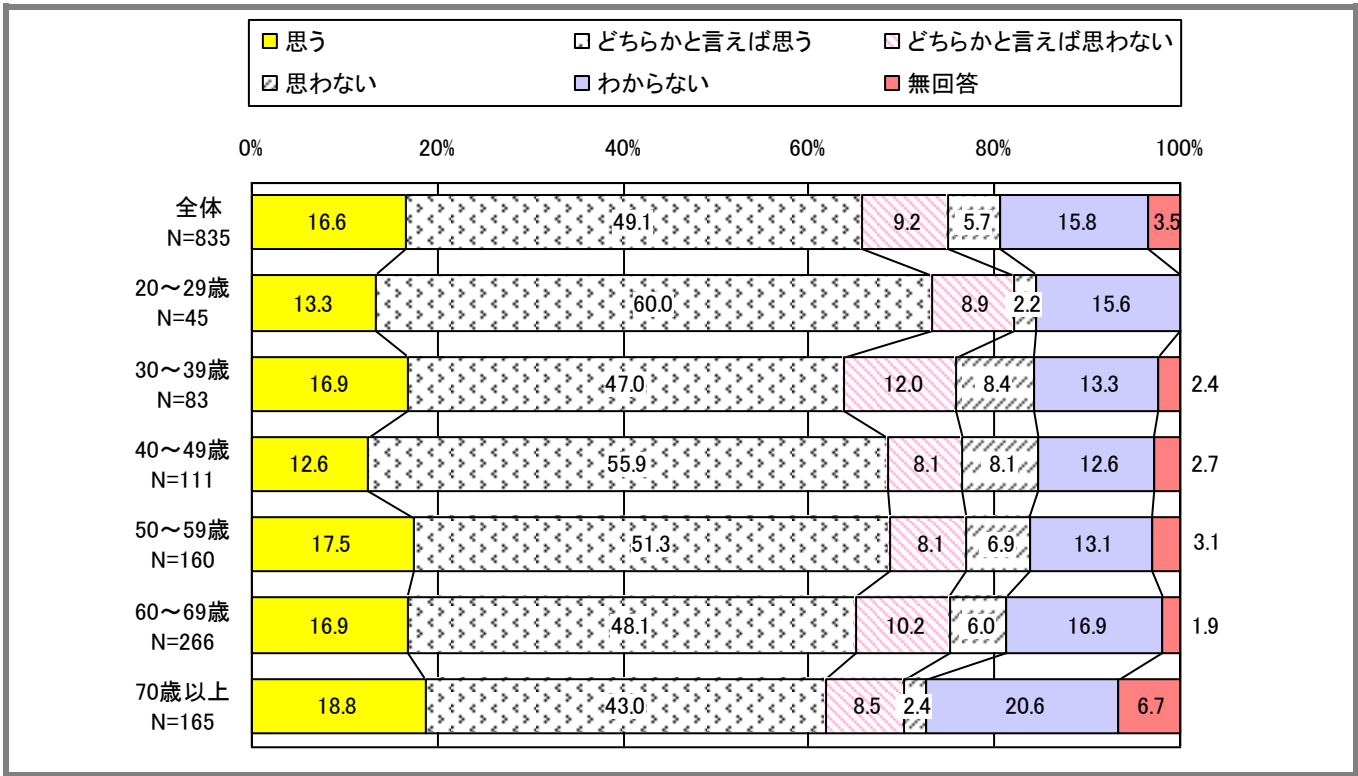
問21 みやま市の観光振興を図るために特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。
（すべての項目について該当するところに○印を1つ）



- みやま市の観光振興を図るために「重要である」という回答割合が最も高かったのは「2. 観光情報の積極的な発信」（38.3%）であったが、他の項目についてもほぼ同じような回答傾向となっている。

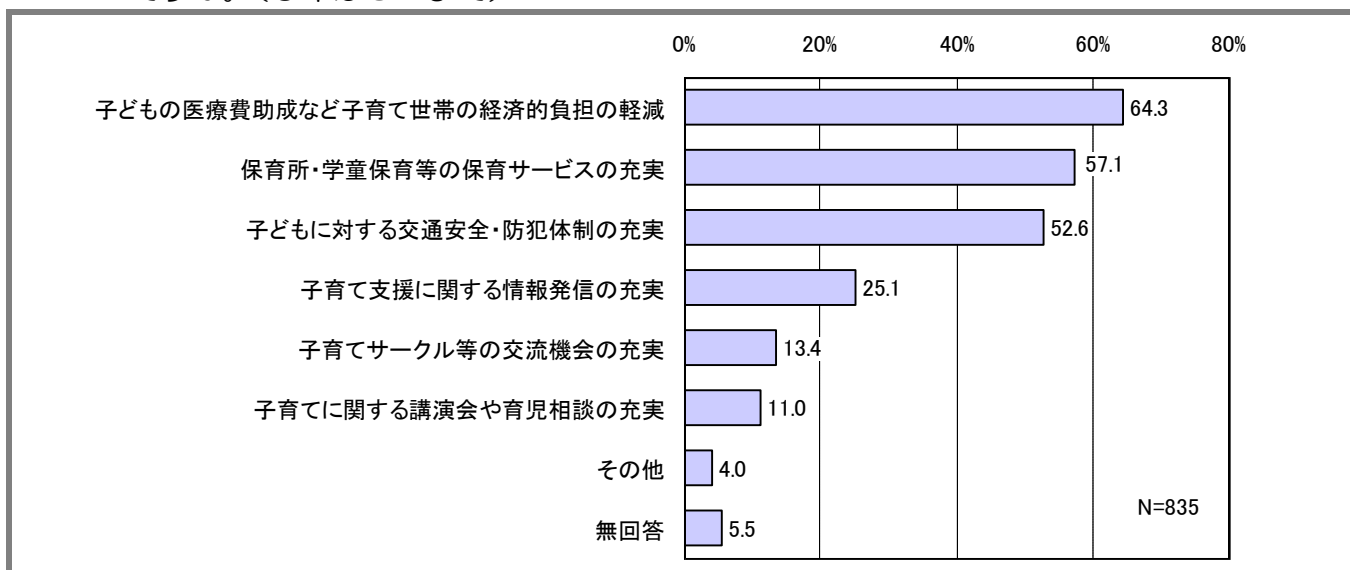
V みやま市の子育て支援について

問22 みやま市は、「安心して子育てをできるまち」と思えますか。（1つに○印）



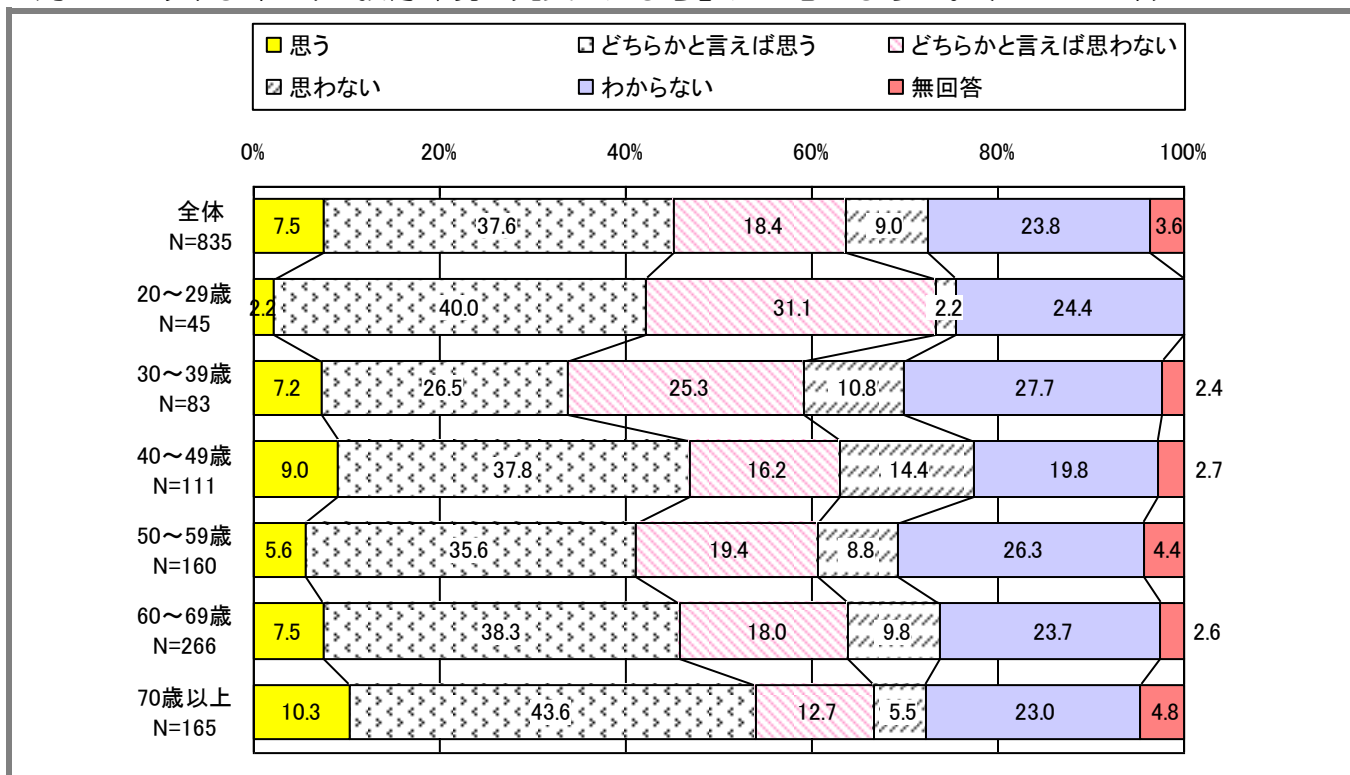
- みやま市は、「安心して子育てをできるまち」と「思う」と回答した人の割合は全体の16.6%で、「どちらかと言えば思う」（49.1%）を合わせると65.7%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（9.2%）、「思わない」（5.7%）を合わせ14.9%の人は何らかの不満を抱えていることがわかる。

問23 安心して子育てを行うため、充実したほうがよいと思うものは、次の項目のうちどれですか。（〇印は3つまで）



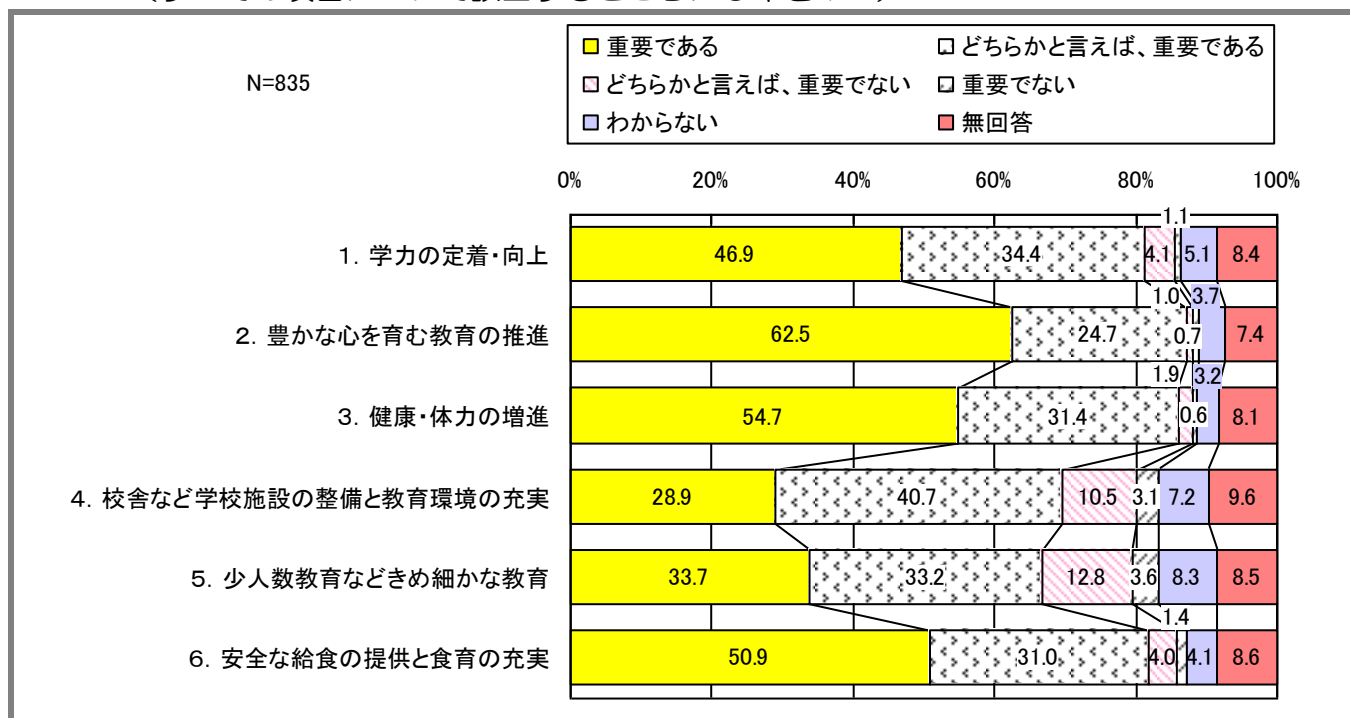
- 安心して子育てを行うため、充実したほうがよいと思うものとしては、「子どもの医療費助成など子育て世帯の経済的負担の軽減」が64.3%と最も回答割合が高く、以下、「保育所・学童保育等の保育サービスの充実」（57.1%）、「子どもに対する交通安全・防犯体制の充実」（52.6%）と続いている。

問24 みやま市は、「教育環境が充実したまち」だと思いますか。（1つに〇印）



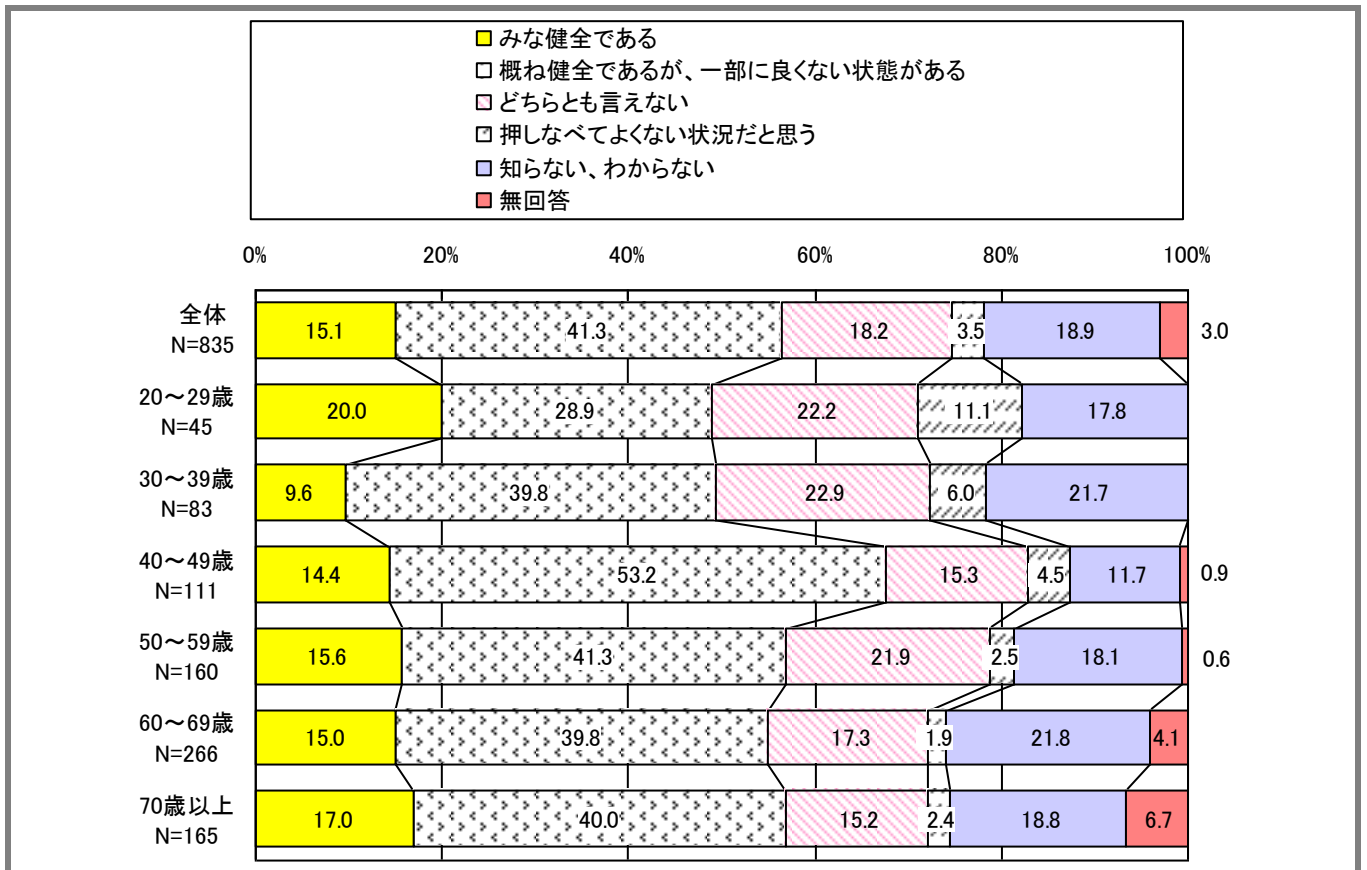
- みやま市は「教育環境が充実したまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の7.5%で、「どちらかと言えば思う」（37.6%）を合わせると45.1%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（18.4%）、「思わない」（9.0%）を合わせ27.4%の人は何らかの不満を抱えていることがわかる。

問25 学校教育環境の充実で、特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。
 （すべての項目について該当するところに○印を1つ）



● 学校教育環境の充実のために「重要である」という回答割合が最も高かったのは「2. 豊かな心を育む教育の推進」(62.5%)で、「3. 健康・体力の増進」(54.7%)がそれに続いている。

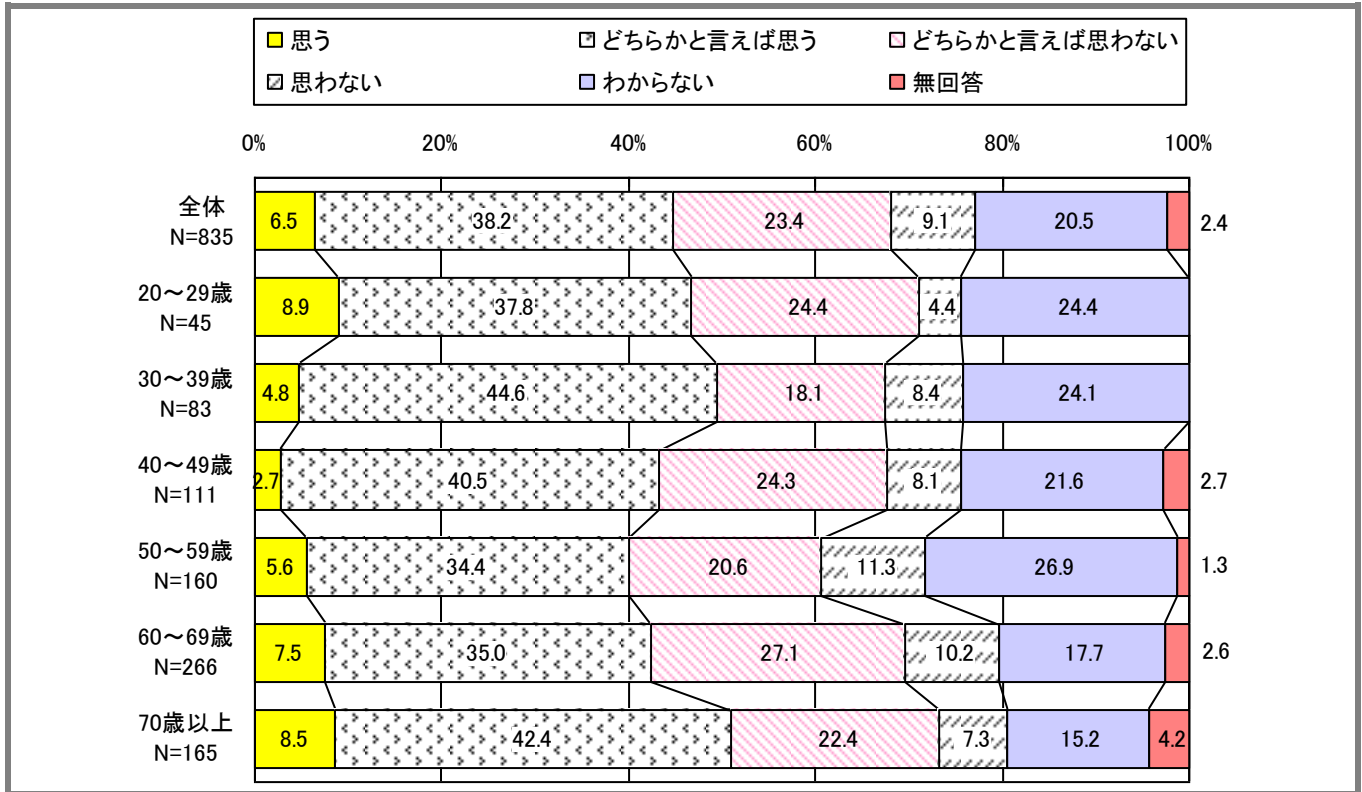
問26 あなたの地域において、青少年は健全であると思いますか。（1つに○印）



● 地域において、青少年は「みな健全である」と回答した人の割合は全体の15.1%にとどまり、「概ね健全であるが、一部に良くない状態がある」という回答が41.3%と最も多くなっている。

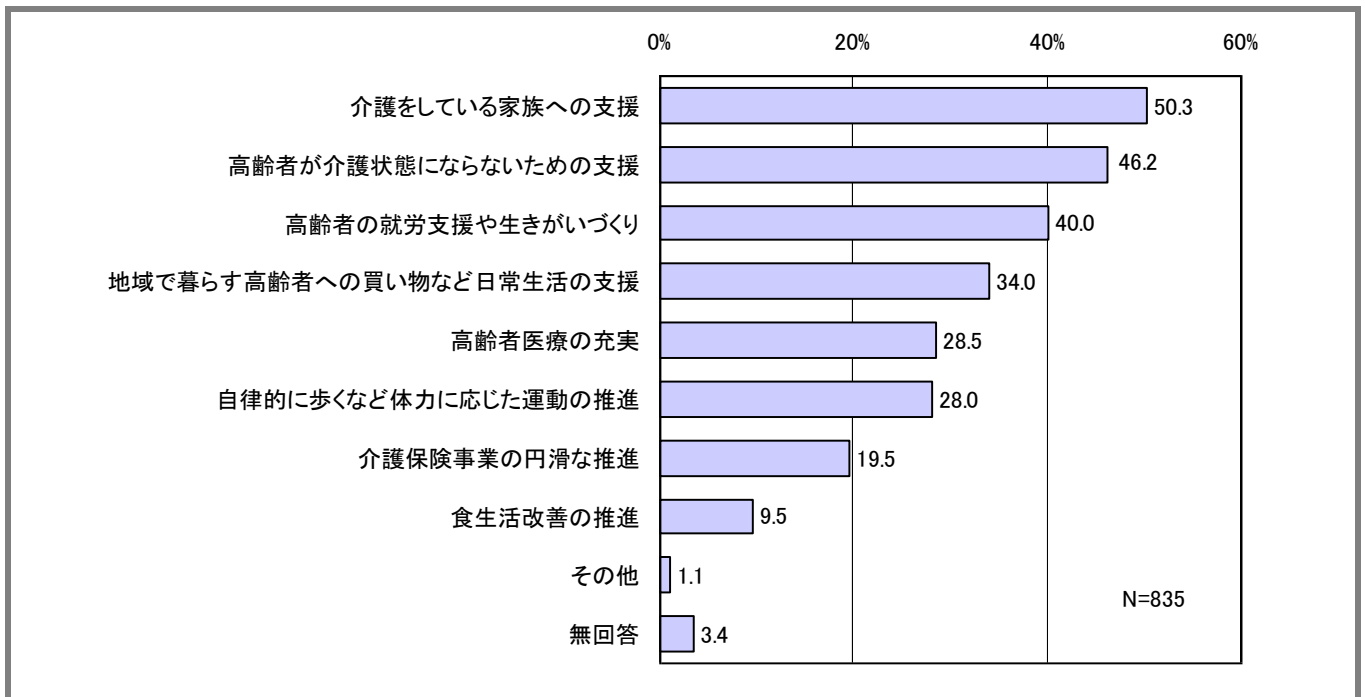
VI みやま市の健康寿命を延ばす施策について

問 27 みやま市は、「高齢者が生きがいをもって生活しているまち」だと思いますか。（1つに○印）



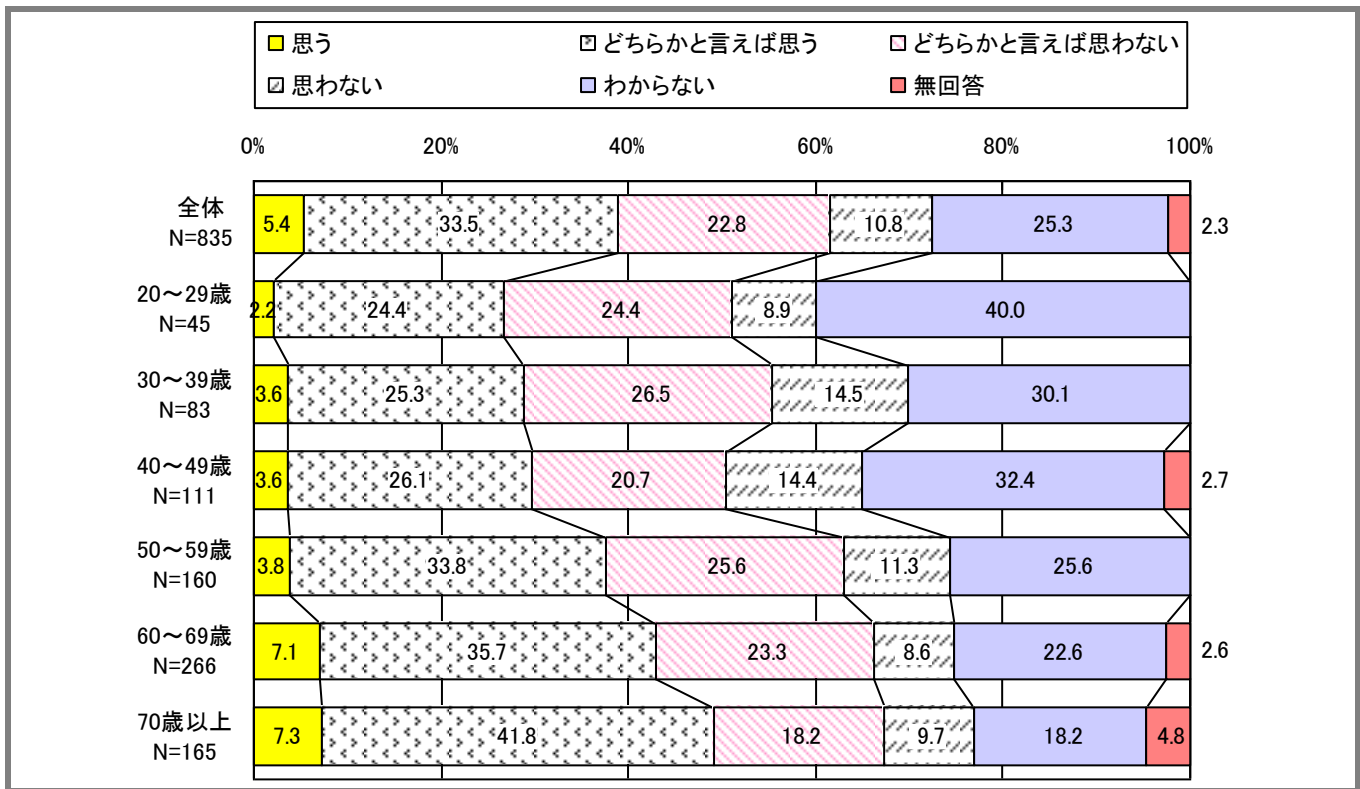
- みやま市は「高齢者が生きがいをもって生活しているまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の 6.5%で、「どちらかと言えば思う」(38.2%) を合わせると 44.7%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」(23.4%)、「思わない」(9.1%) を合わせ 32.5%の人は何らかの不満を抱えていることがわかる。

問 28 高齢者福祉を充実させ、健康寿命を延ばすために特に必要だと思うものは、次の項目のうちどれですか。（〇印は3つまで）



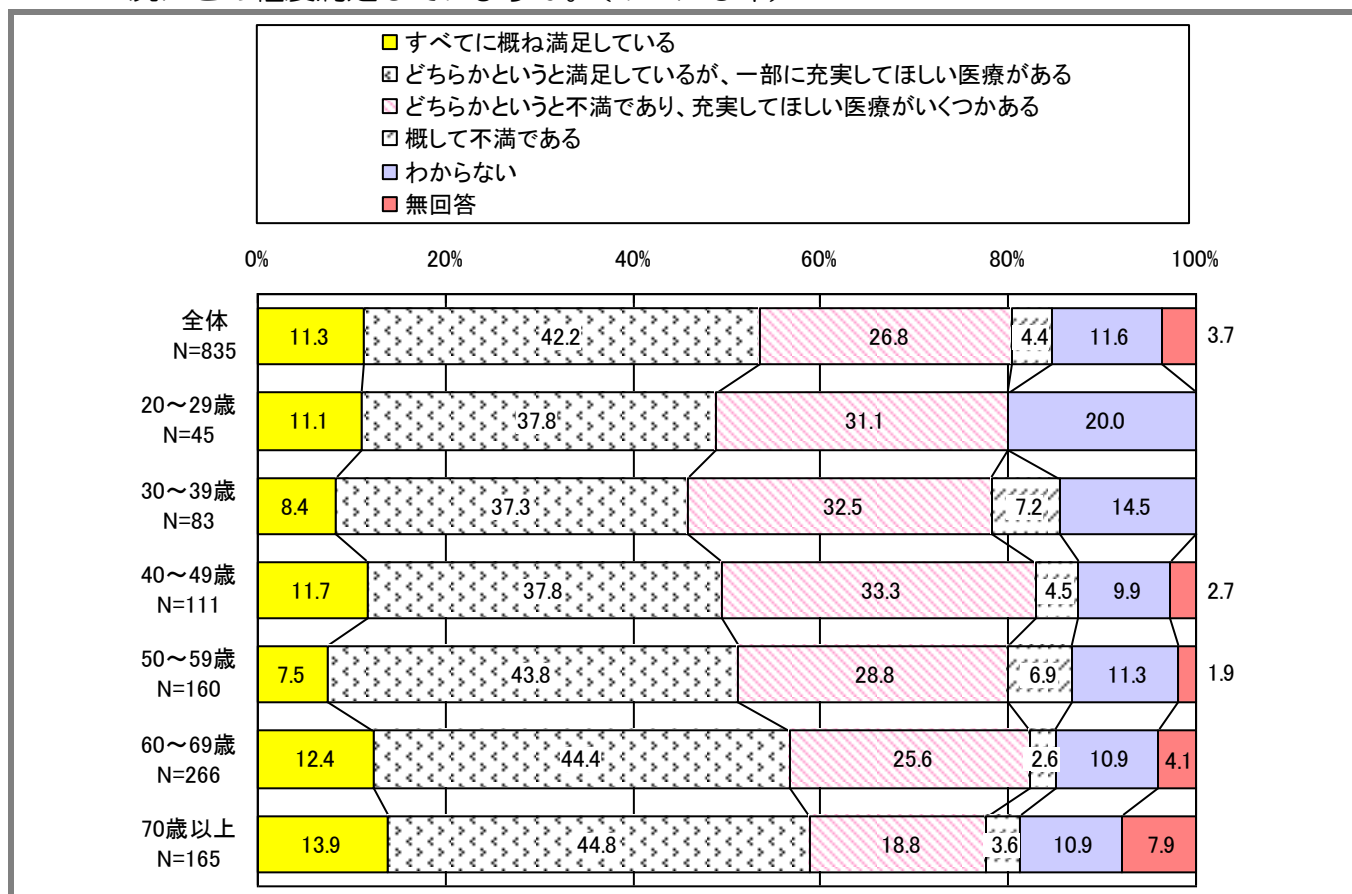
- 高齢者福祉を充実させ、健康寿命を延ばすために特に必要だと思うものとしては、「介護をしている家族への支援」が 50.3%と最も多く、以下、「高齢者が介護状態にならないための支援」（46.2%）、「高齢者の就労支援や生きがいづくり」（40.0%）、「地域で暮らす高齢者への買い物など日常生活の支援」（34.0%）と続いている。

問29 みやま市は、「健康づくりや健康保持のための対策（施設や支援体制）が充実したまち」であると思いますか。（1つに○印）



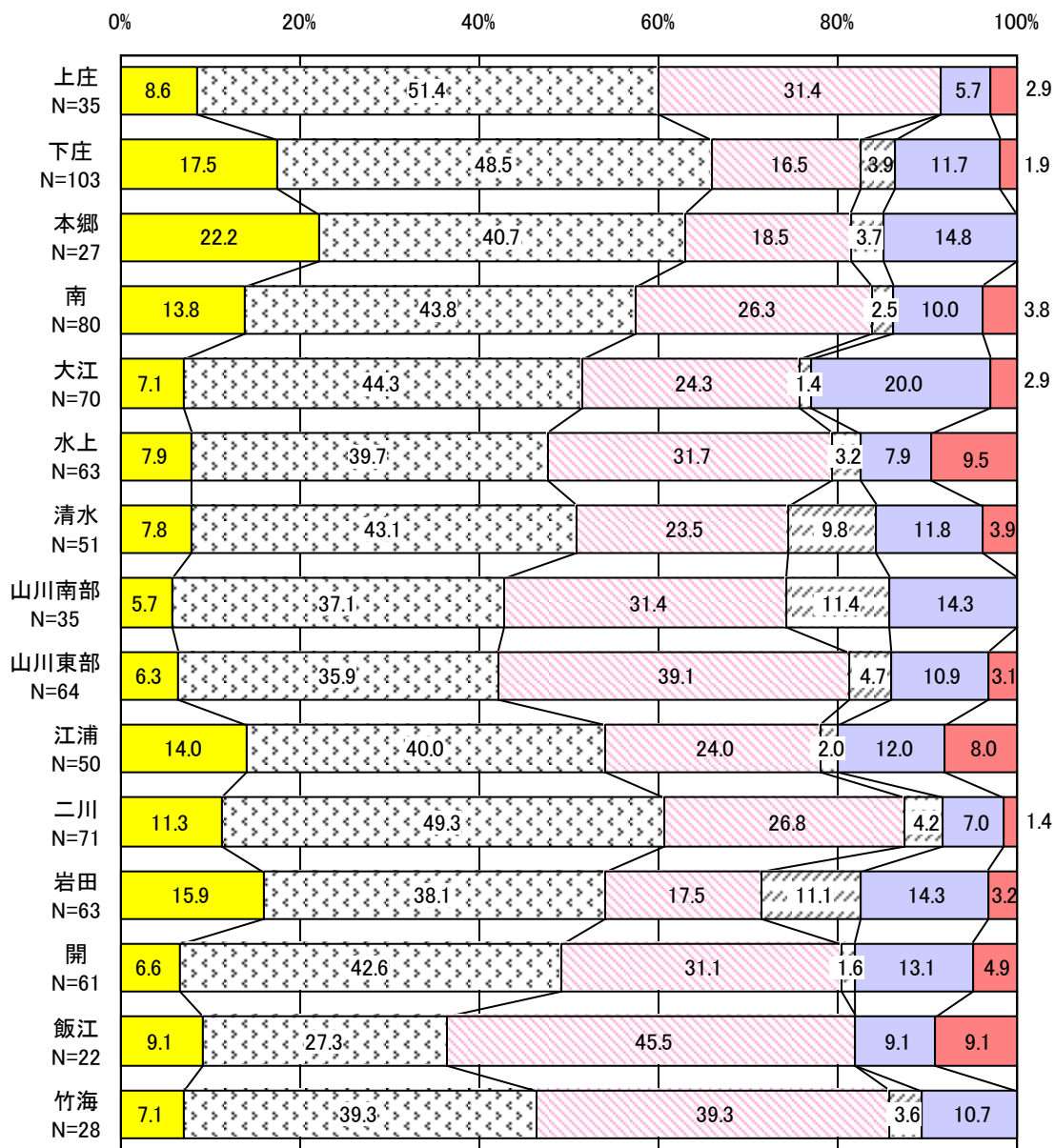
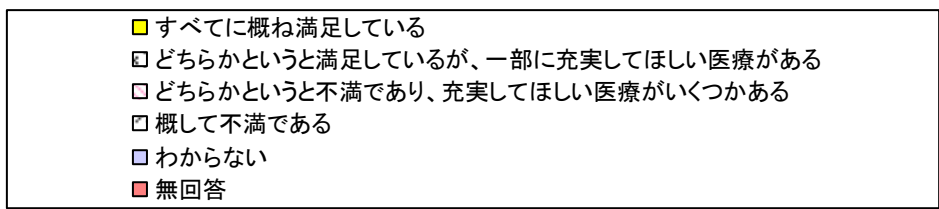
- みやま市は「健康づくりや健康保持のための対策（施設や支援体制）が充実したまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の 5.4%で、「どちらかと言えば思う」（33.5%）を合わせると 38.9%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（22.8%）、「思わない」（10.8%）を合わせ 33.6%の人は何らかの不満を抱えていることがわかる。

問30 あなたは、市内や近隣の地域を含めて考えたとき、地域の各種医療機関の数や整備状況にどの程度満足していますか。（1つに○印）

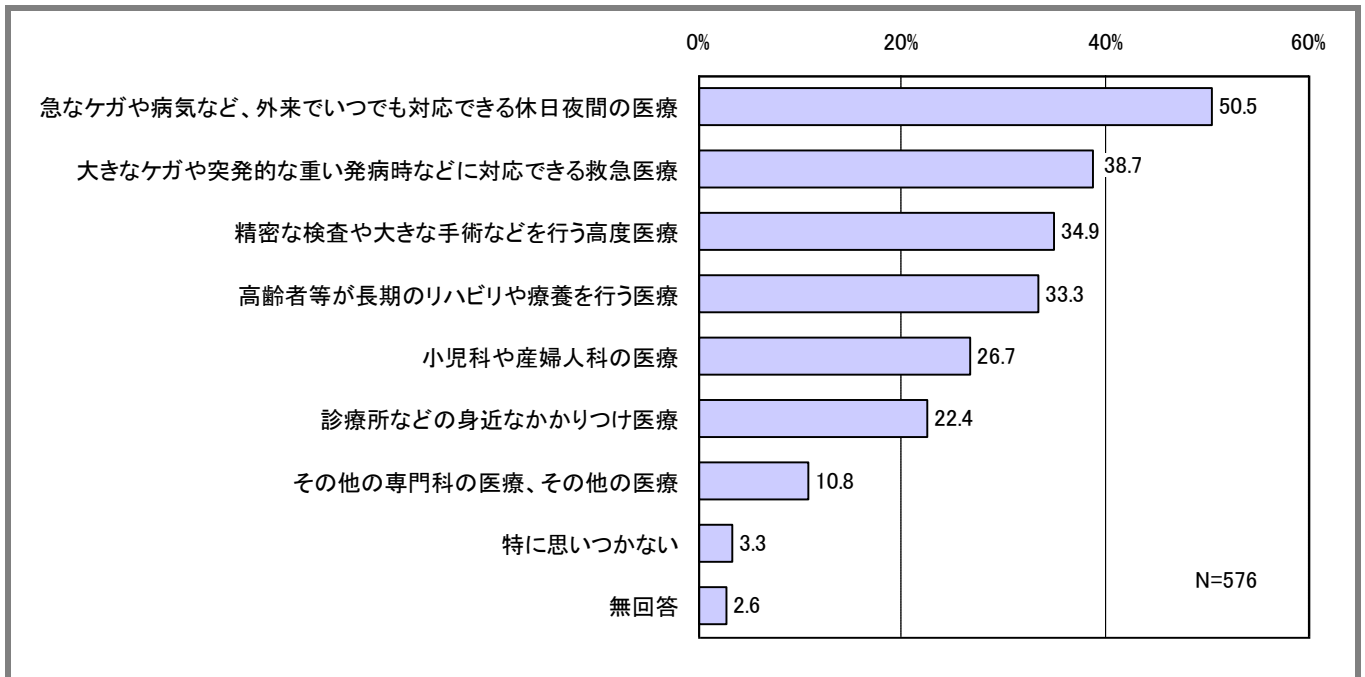


- 地域の各種医療機関の数や整備状況「すべてに概ね満足している」回答した人の割合は全体の11.3%で、「どちらかという満足しているが、一部に充実してほしい医療がある」（42.2%）を合わせると53.5%となるが、一方で「どちらかという不満であり、充実してほしい医療がいくつかある」（26.8%）、「概して不満である」（4.4%）を合わせ31.2%の人は不満を抱えていることがわかる。
- 居住地区別に見ると、「すべてに概ね満足している」と回答した人の割合が最も高いのは「本郷」（22.2%）で、「どちらかという不満であり、充実してほしい医療がいくつかある」「概して不満である」と回答した人の割合が高いのは「飯江」（45.5%）、「山川東部」（43.8%）、「竹海」（42.9%）、「山川南部」（42.8%）となっている（次ページ参照）。

【居住地区別クロス集計結果】



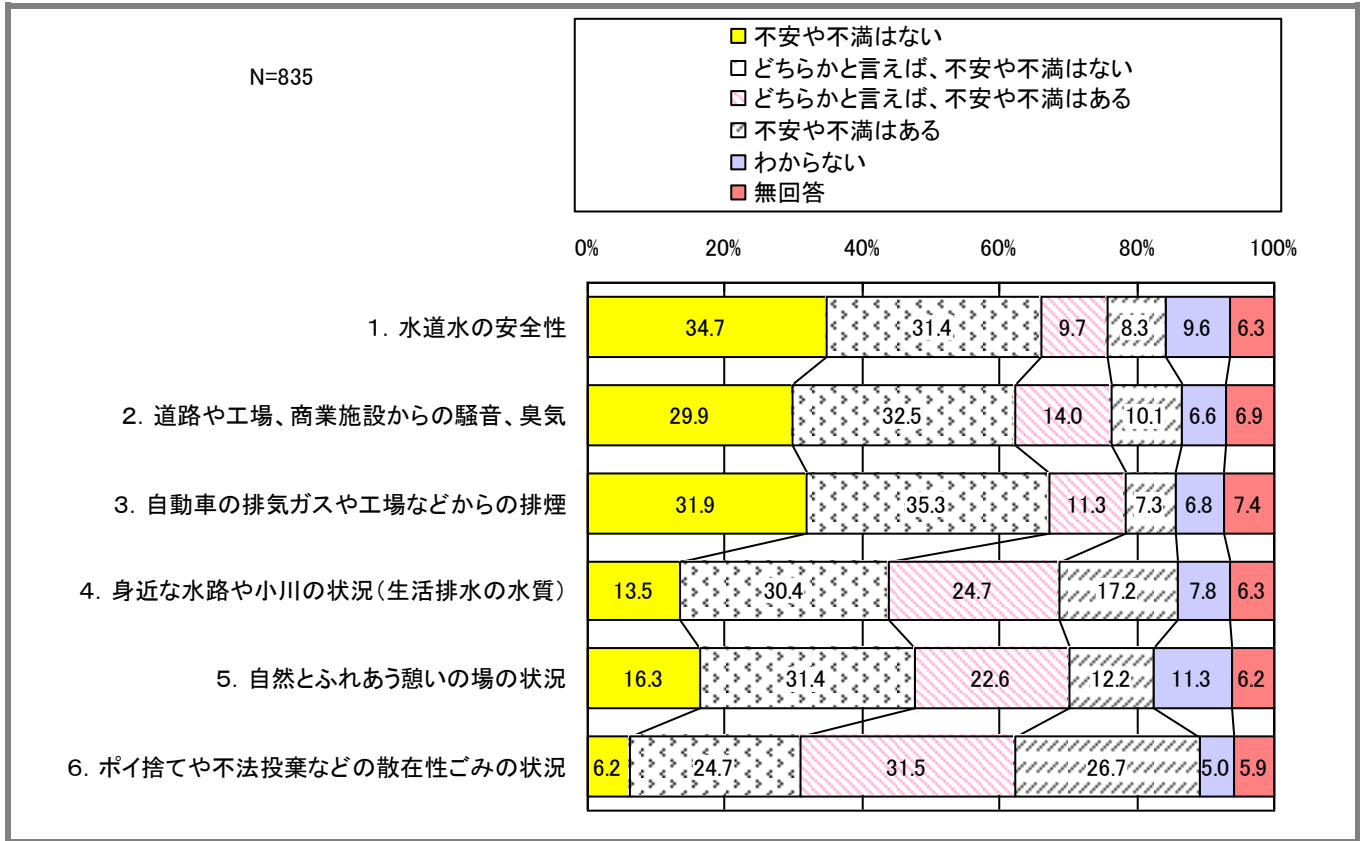
問 30-1 あなたは、どのような医療の充実を望んでいますか。（○印は3つまで）



- どのような医療の充実を望んでいるかについては、「急なケガや病気など、外来でいつでも対応できる休日夜間の医療」という回答が 50.5%と最も多く、次いで「大きなケガや突発的な重い発病時などに対応できる救急医療」が 38.7%、「精密な検査や大きな手術などを行う高度医療」が 34.9%、「高齢者等が長期のリハビリや療養を行う医療」が 33.3%で続いている。

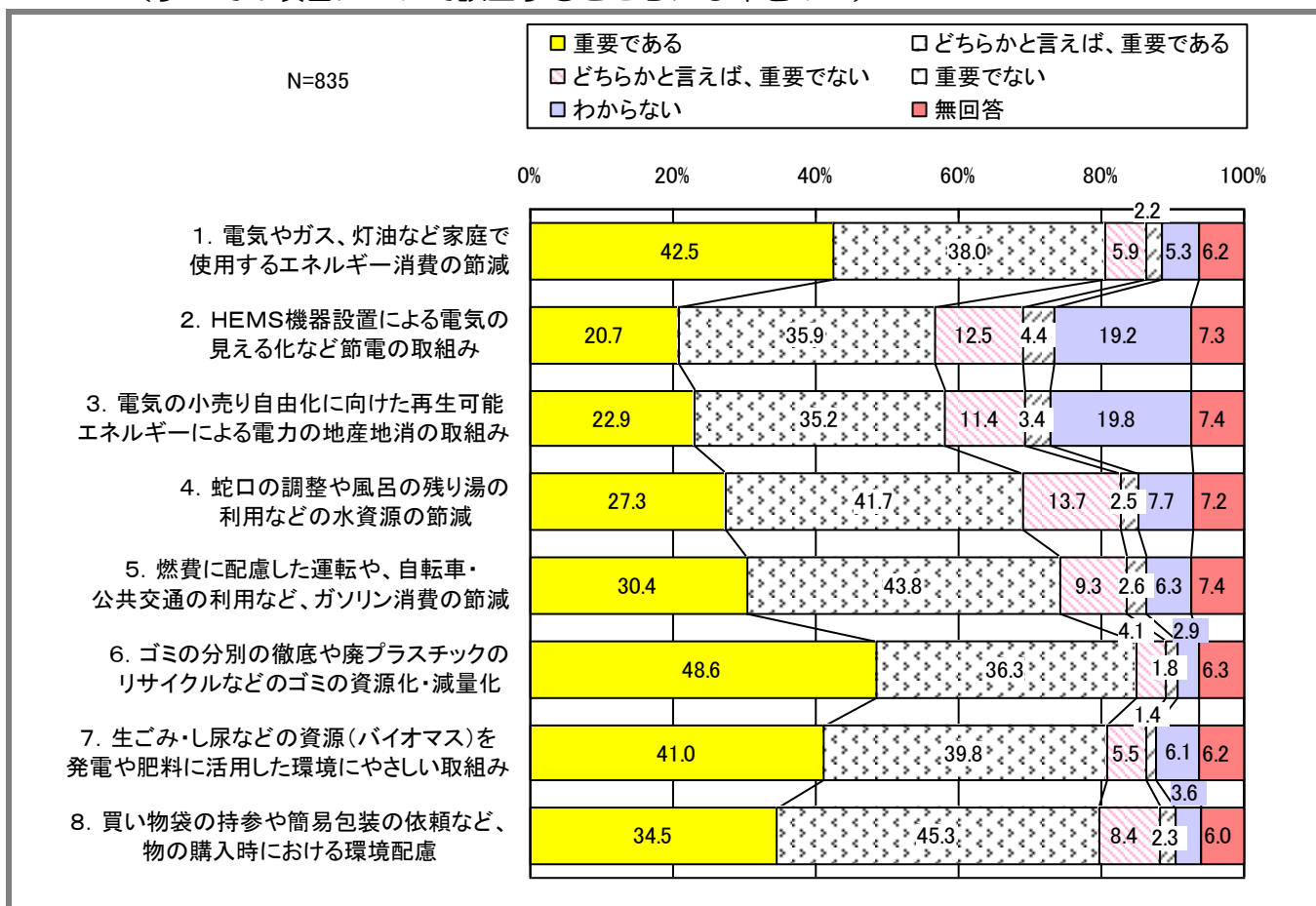
Ⅶ みやま市に住み続けてもらうための施策について

問31 あなたの日常の生活環境を考えた場合、次の項目について、不安や不満がありますか。
（すべての項目について該当するところに○印を1つ）



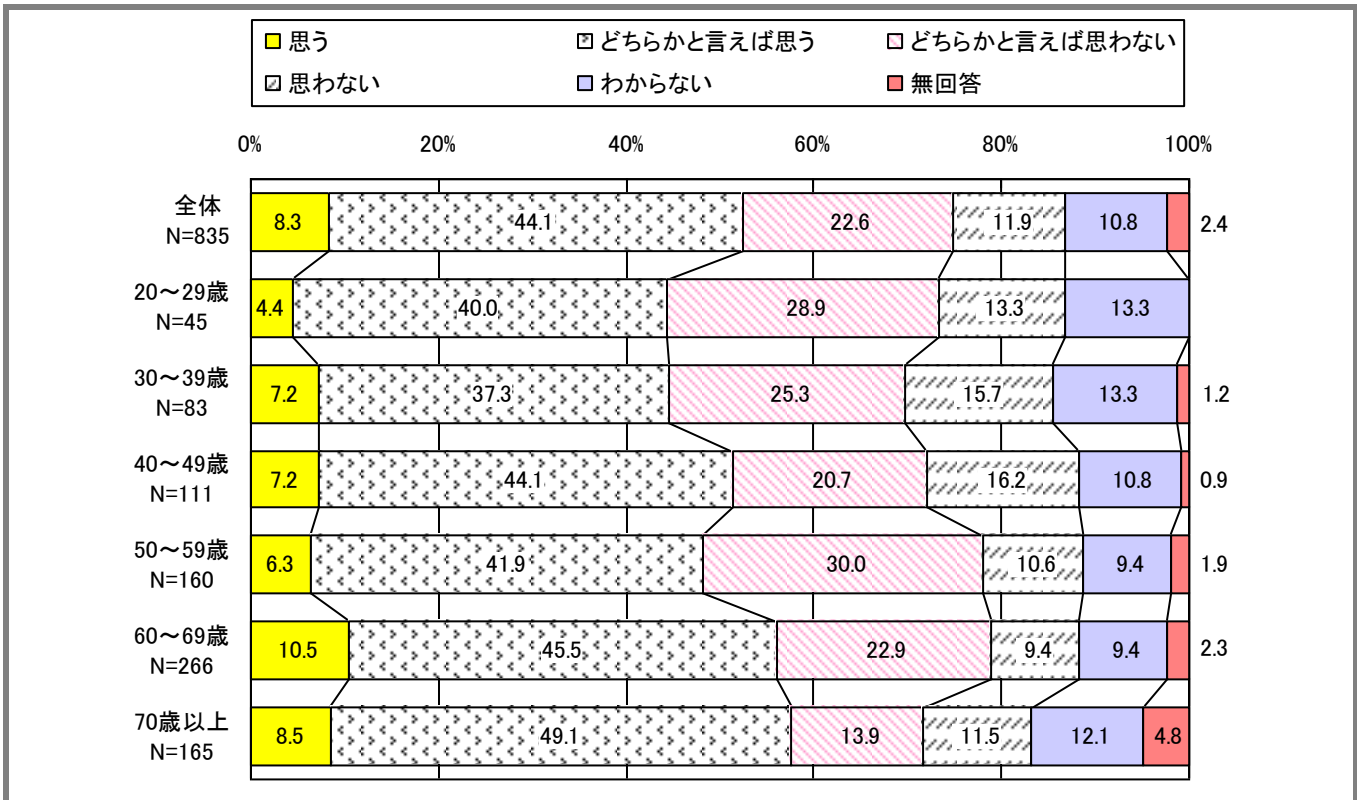
- 日常の生活環境について、「不安や不満はない」という回答割合が最も高かったのは、「1. 水道水の安全性」(34.7%)で、「3. 自動車の排気ガスや工場などからの排煙」(31.9%)や「2. 道路や工場、商業施設からの騒音、臭気」(29.9%)も比較的高い割合で続いている。
- 一方、「不安や不満はある」という回答割合が最も高かったのは、「6. ポイ捨てや不法投棄などの散在性ごみの状況」(26.7%)であった。

問 32 みやま市における省エネの取組みで、あなたが重要だと思うものはどれですか。
(すべての項目について該当するところに○印を1つ)



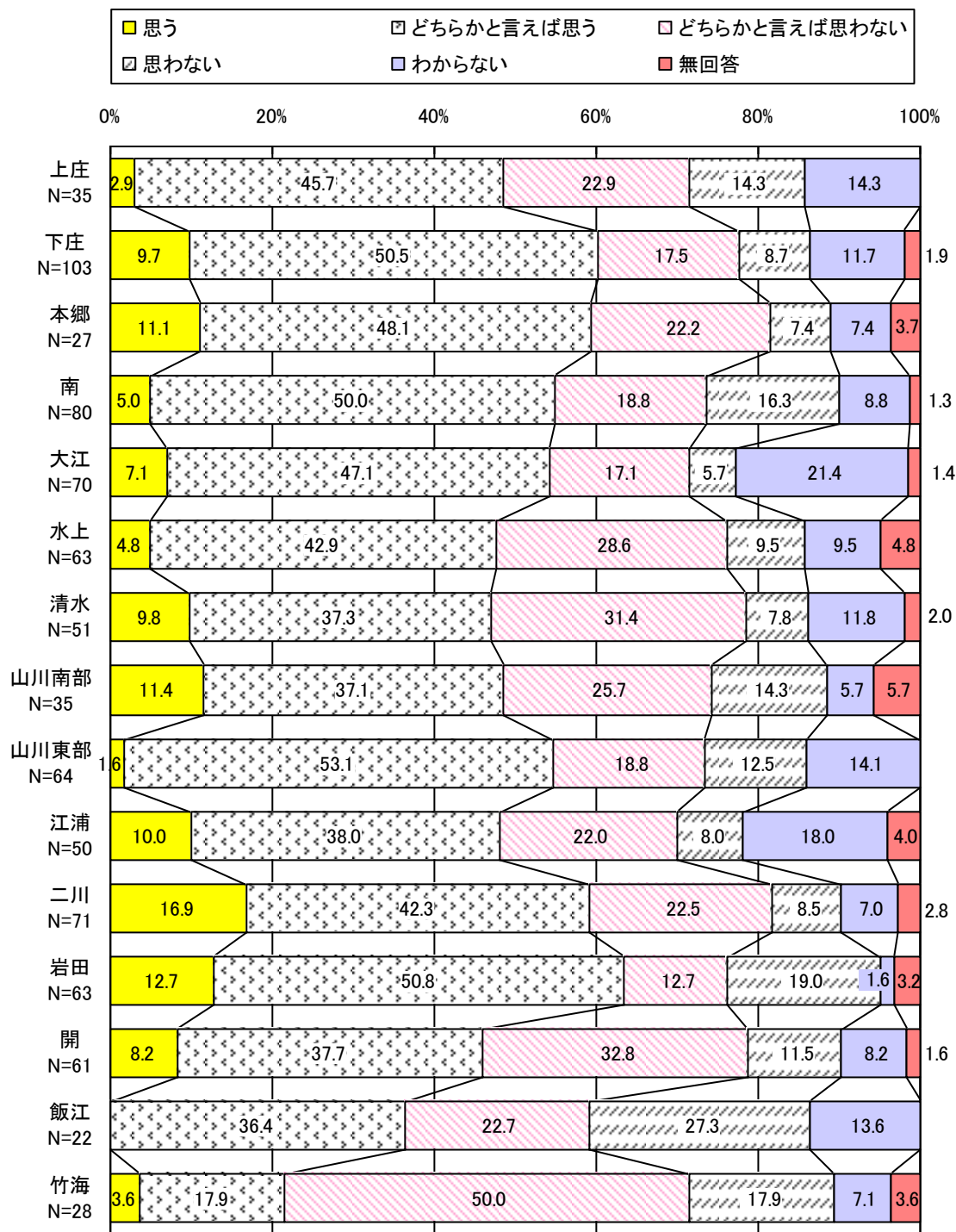
- 省エネの取組みのうち、「重要である」という回答割合が最も高かったのは「6. ゴミの分別の徹底や廃プラスチックのリサイクルなどのゴミの資源化・減量化」(48.6%)で、「1. 電気やガス、灯油など家庭で使用するエネルギー消費の節減」(42.5%)や「7. 生ごみ・し尿などの資源(バイオマス)を発電や肥料に活用した環境にやさしい取組み」(41.0%)がそれに続いている。

問33 あなたの住まいの地域は、災害や犯罪に対する予防対策ができており、安全で安心して暮らせていると思いますか。（1つに○印）

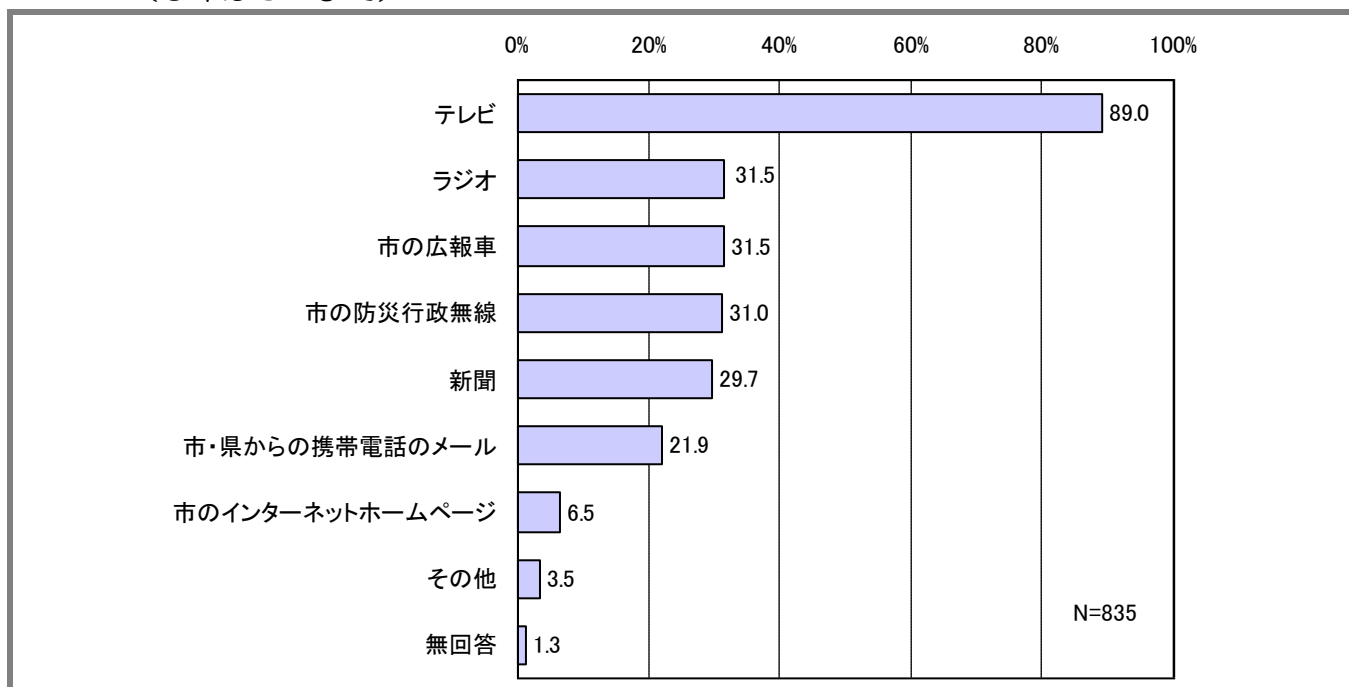


- 地域で災害や犯罪に対する予防対策ができており、安全で安心して暮らせていると「思う」と回答した人の割合は全体の 8.3%で、「どちらかと言えば思う」（44.1%）を加えると 52.4%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（22.6%）、「思わない」（11.9%）と回答とした人の割合も合わせて 34.5%と比較的高い割合となっている。
- 居住地区別に見ると、「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した人の割合が高いのは「岩田」（63.5%）、「下庄」（60.2%）、「本郷」（59.2%）で、「どちらかと言えば思わない」「思わない」と回答した人の割合が高いのは「竹海」（67.9%）、「飯江」（50.0%）となっている（次ページ参照）。

【居住地区別クロス集計結果】

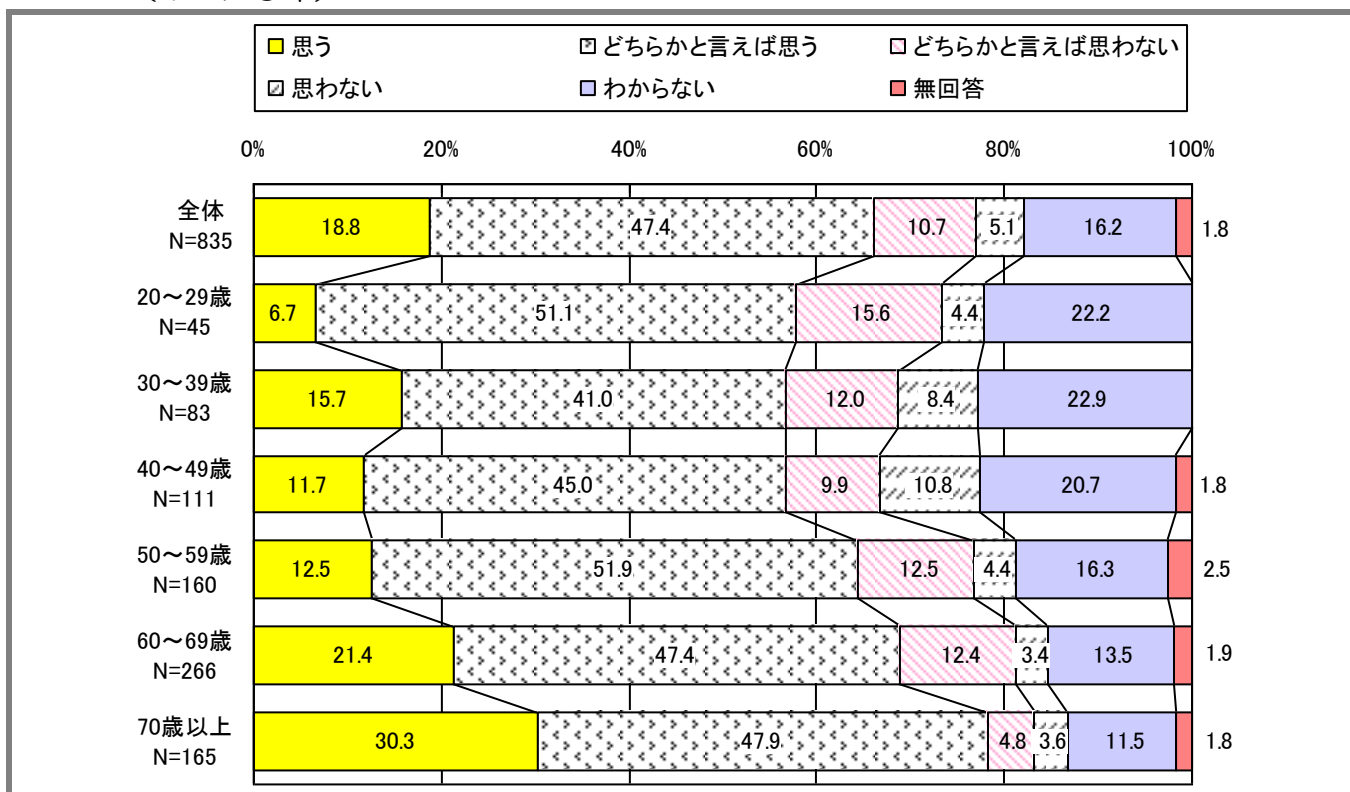


問34 災害時に情報入手する方法や手段として、あなたは主に何を使っていますか。
（〇印は3つまで）



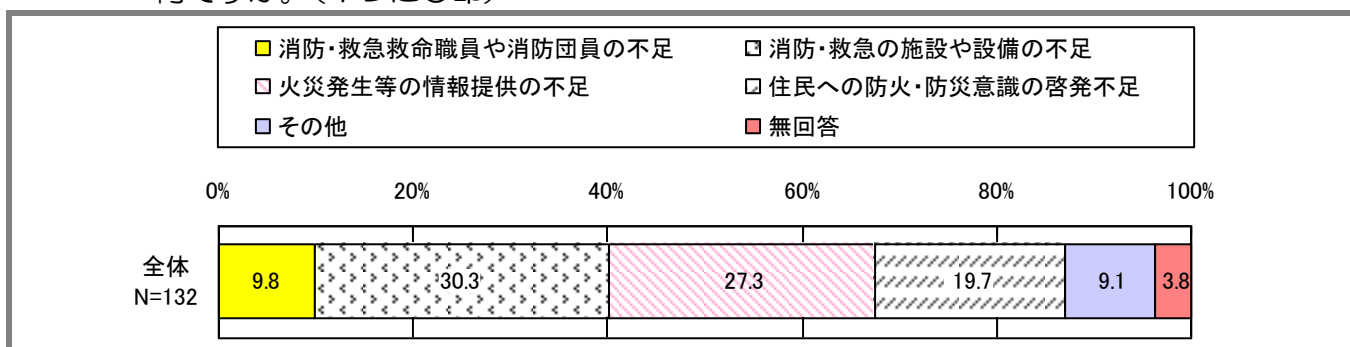
- 災害時に情報入手する方法や手段としては、「テレビ」が89.0%と圧倒的に高い割合となっている。

問 35 みやま市は、「消防・救急救助体制の整備されたまち」であると思いますか。
（1つに○印）



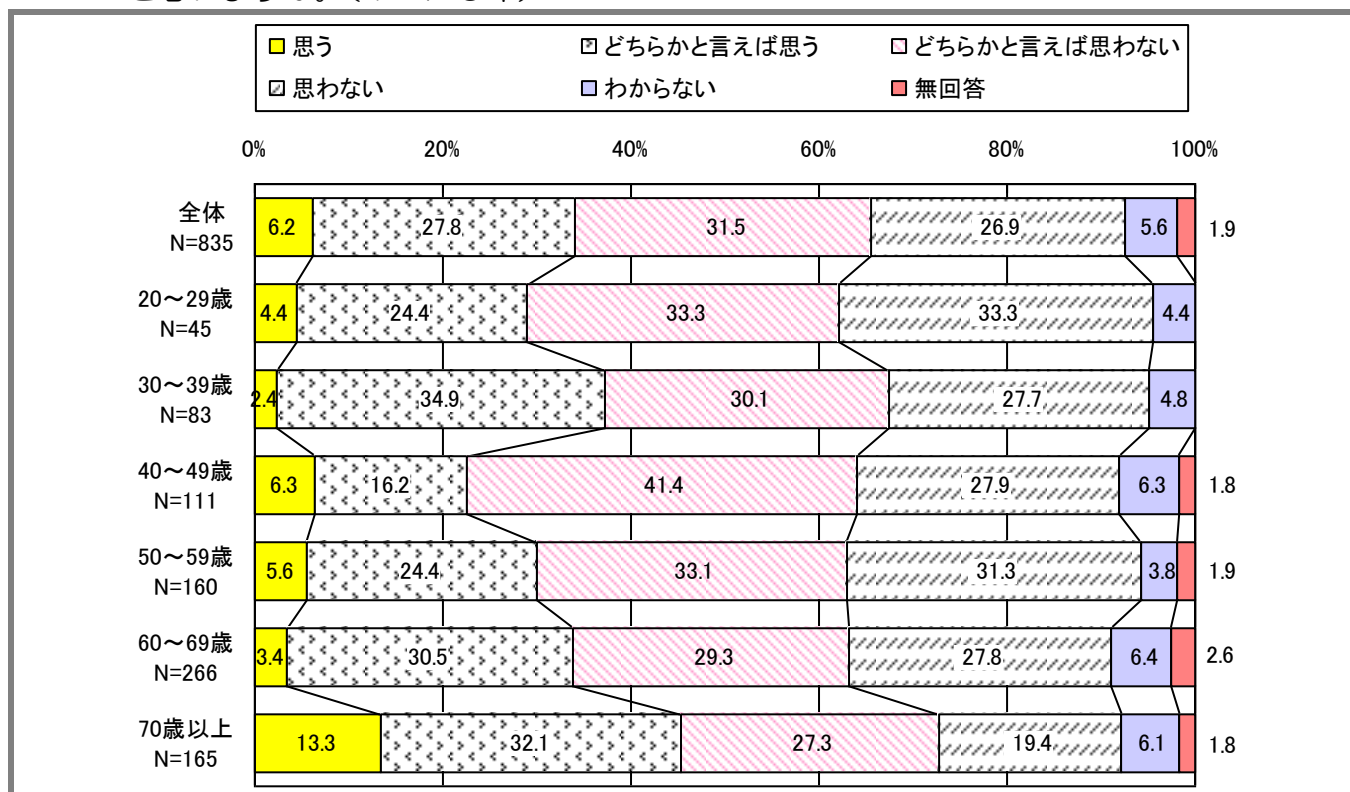
● みやま市は「消防・救急救助体制の整備されたまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の18.8%で、「どちらかと言えば思う」（47.4%）を合わせると66.2%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（10.7%）、「思わない」（5.1%）を合わせ15.8%の人は何らかの不満を抱えていることがわかる。

問 35-1 問 35 で3または4と回答された方にお聞きします。整備されていないと思う理由は何ですか。（1つに○印）



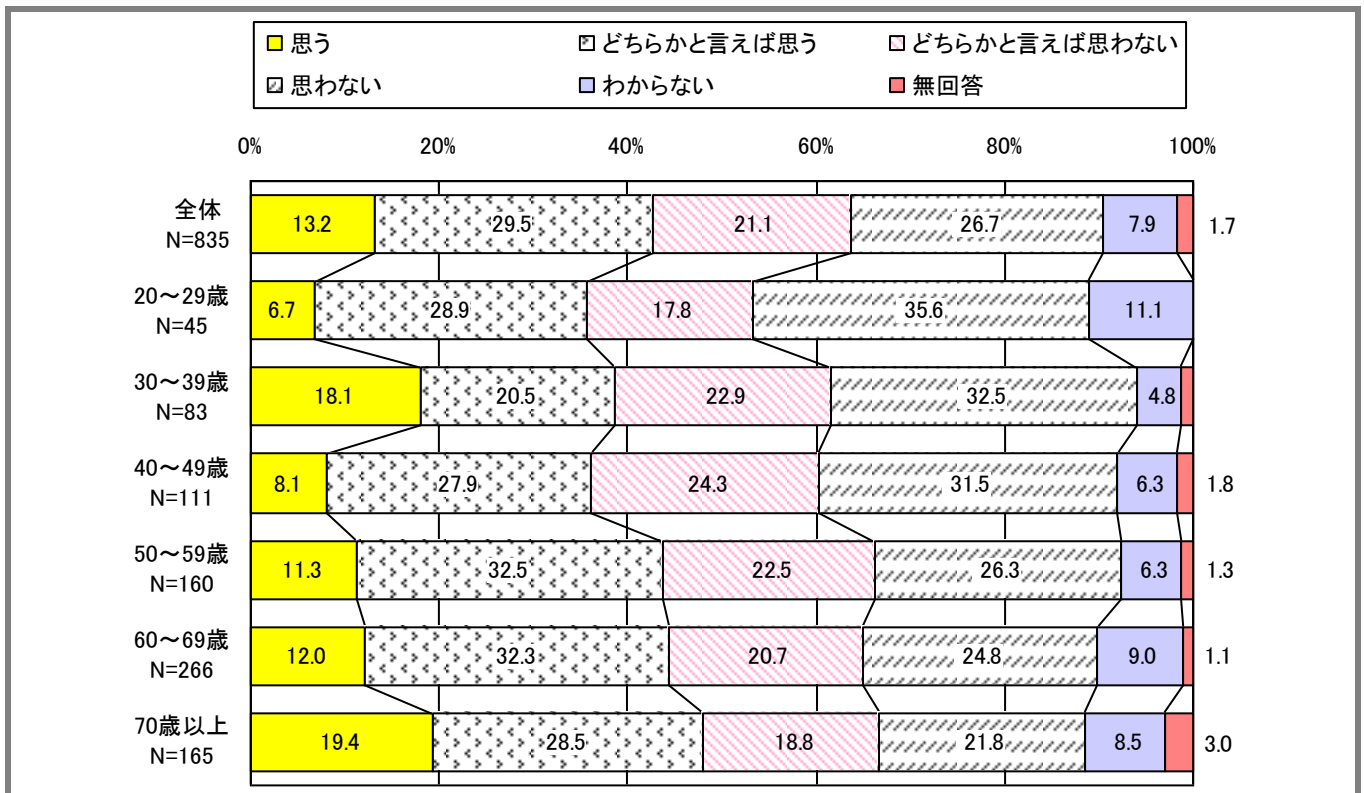
● 問 35 で「消防・救急救助体制の整備されたまち」だと思わないと回答した人にその理由を尋ねたところ、「消防・救急の施設や設備の不足」が30.3%と最も多く、「火災発生時の情報提供の不足」が27.3%で、それに続いています。

問36 みやま市全体の道路を見わたした場合、自動車・歩行者が快適に移動できる道路であると思いますか。（1つに○印）



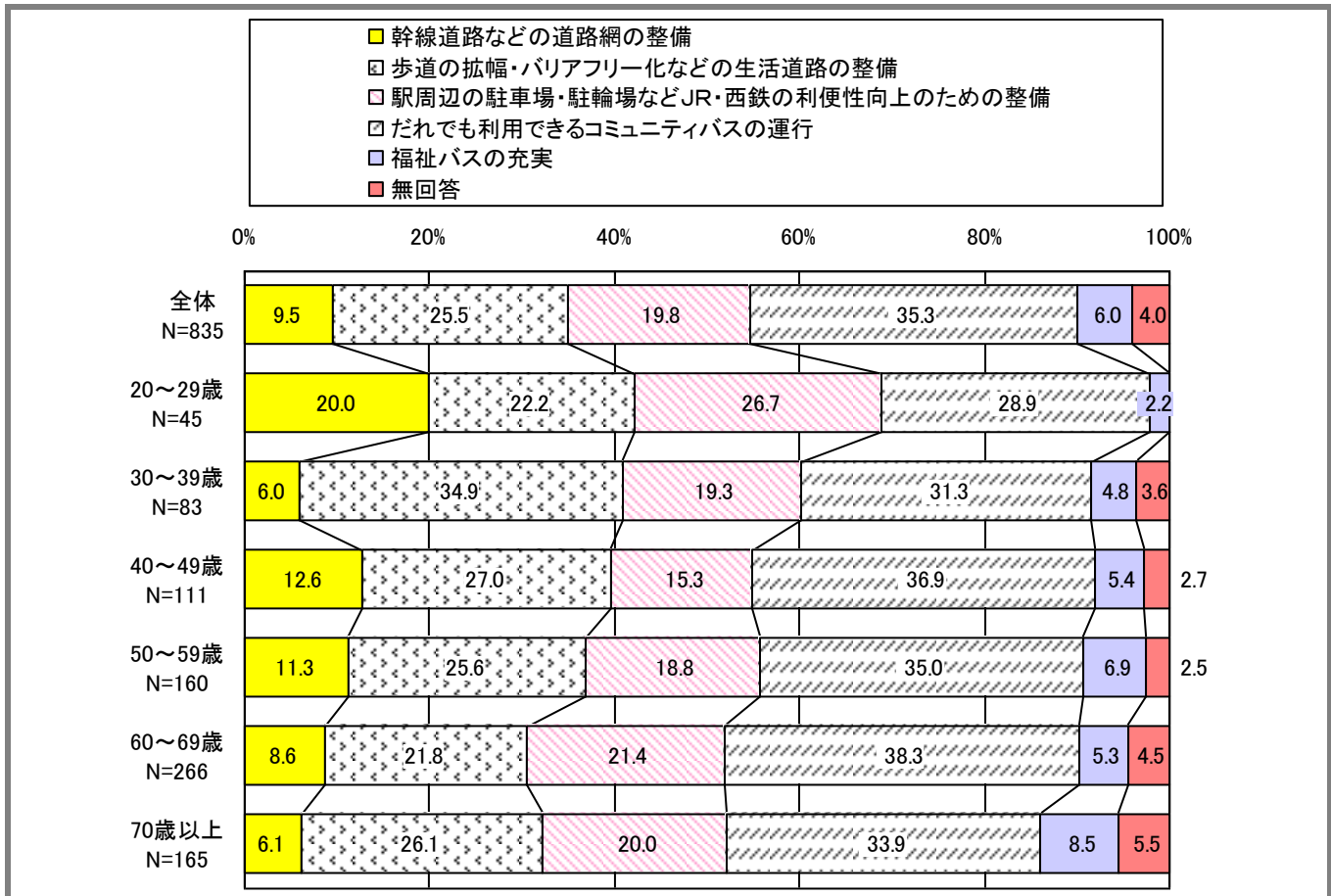
● みやま市全体の道路について、自動車・歩行者が快適に移動できる道路であると「思う」と回答した人の割合は全体の6.2%で、「どちらかと言えば思わない」(31.5%)、「思わない」(26.9%)を合わせ6割近い人が道路に不満を抱えていることがわかる。

問37 あなたは、みやま市でのJRや西鉄の利用について、便利で充実していると思いますか。
（1つに○印）



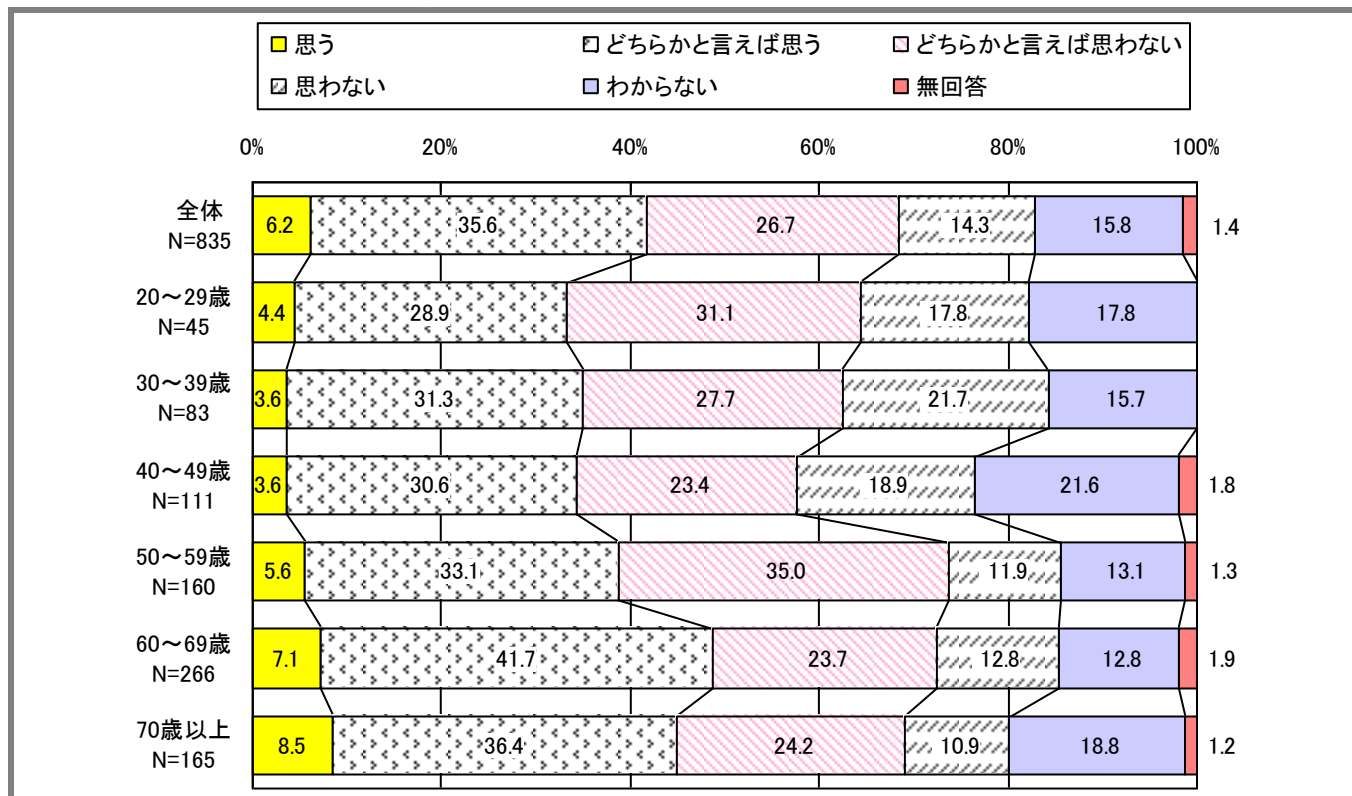
● みやま市でのJRや西鉄の利用について、便利で充実していると「思う」と回答した人の割合は全体の13.2%で、「どちらかと言えば思う」（29.5%）を合わせると42.7%となるが、「どちらかと言えば思わない」（21.1%）、「思わない」（26.7%）を合わせた47.8%を下回っている。

問38 みやま市の交通網の整備のうち、あなたが優先すべきだと思うものはどれですか。
（1つに○印）



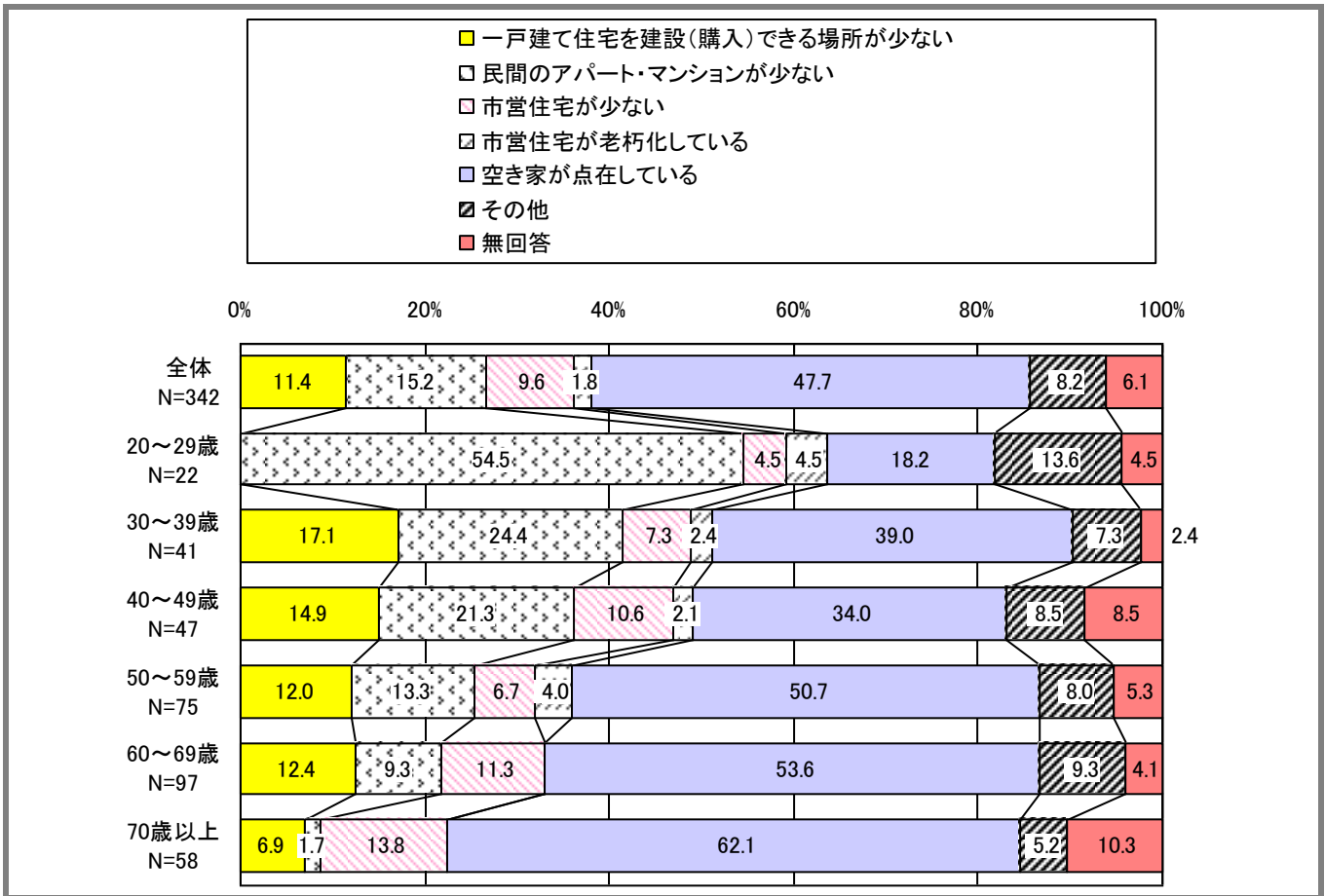
- みやま市の交通網の整備のうち、優先すべきだと思うものとして最も回答割合が高かったのは「だれでも利用できるコミュニティバスの運行」（35.3%）で、「歩道の拡幅・バリアフリー化などの生活道路の整備」（25.5%）がそれに続いています。

問39 みやま市は「居住環境が整備されたまち」だと思いますか。(1つに○印)



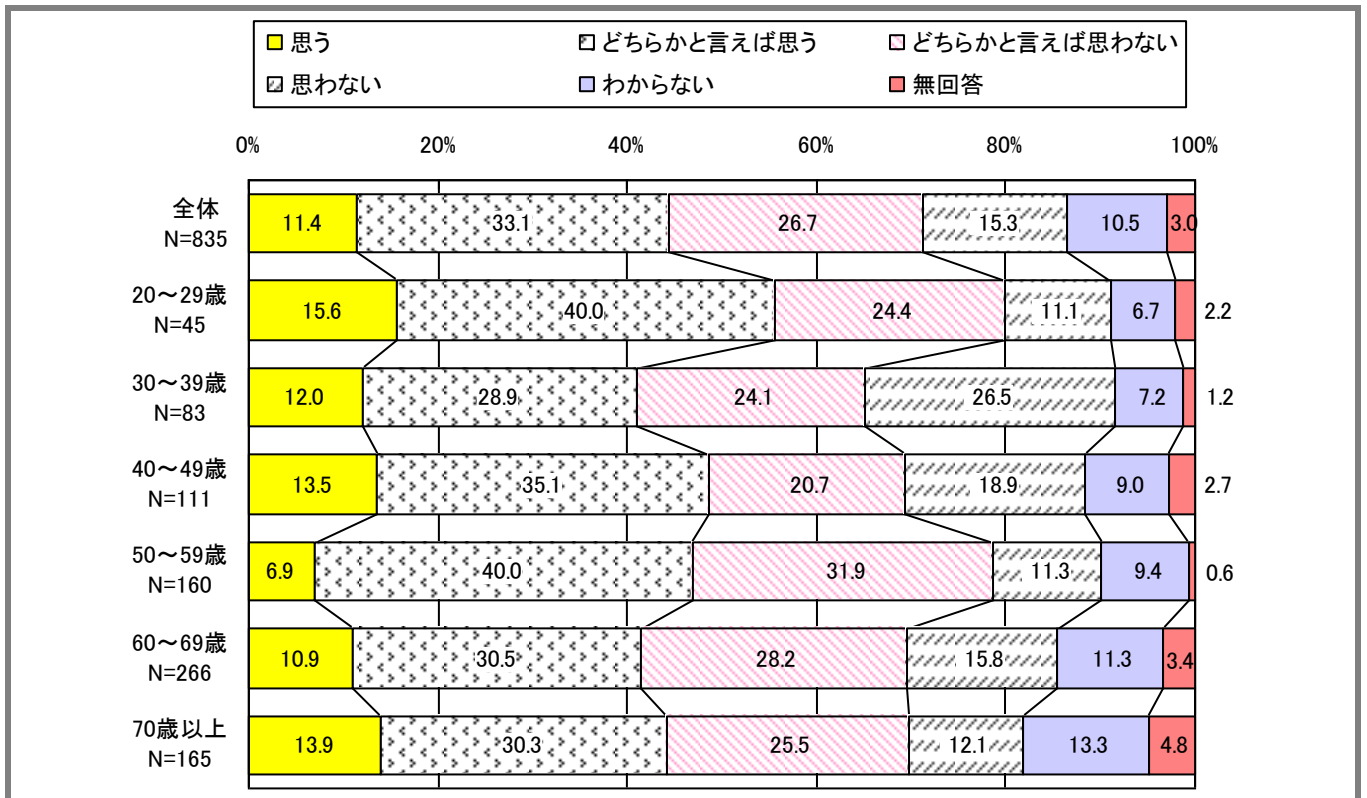
- みやま市は「居住環境が整備されたまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の6.2%で、「どちらかと言えば思う」(35.6%)を合わせると41.8%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」(26.7%)、「思わない」(14.3%)を合わせた割合(41.0%)も同じくらいの割合となっている。

問39-1 問39で3または4と回答された方にお聞きします。居住環境が整っていないと思う理由は何ですか。(1つに○印)



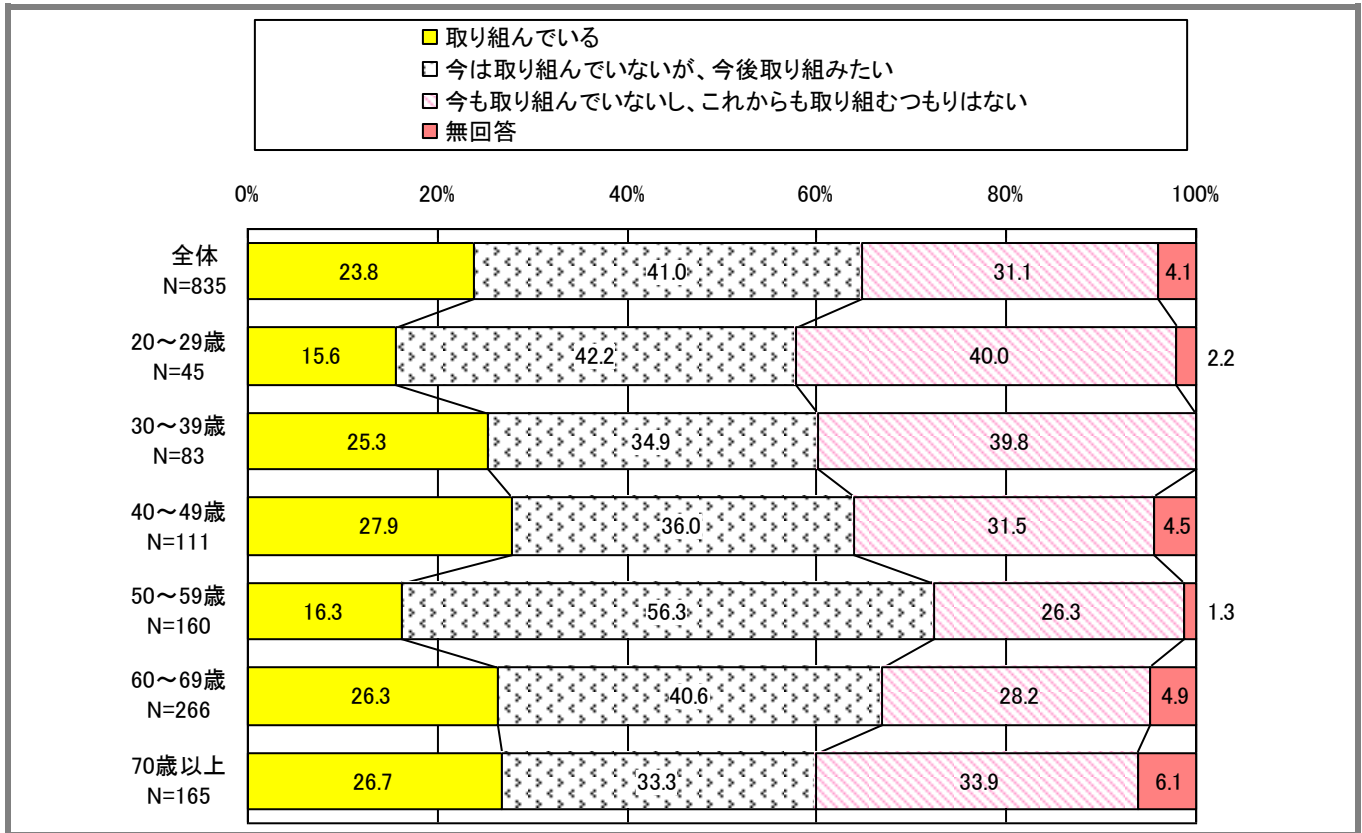
● 問39でみやま市は「居住環境が整備されたまち」だと思わないと回答した人にその理由を尋ねたところ、「空き家が点在している」が全体の47.7%と半数近くを占めているが、年齢階層別に見ると、特に「20~29歳」では「民間のアパート・マンションが少ない」(54.5%)という回答割合が高くなっている。

問40 みやま市は「公園、緑地の充実しているまち」だと思いますか。（1つに○印）



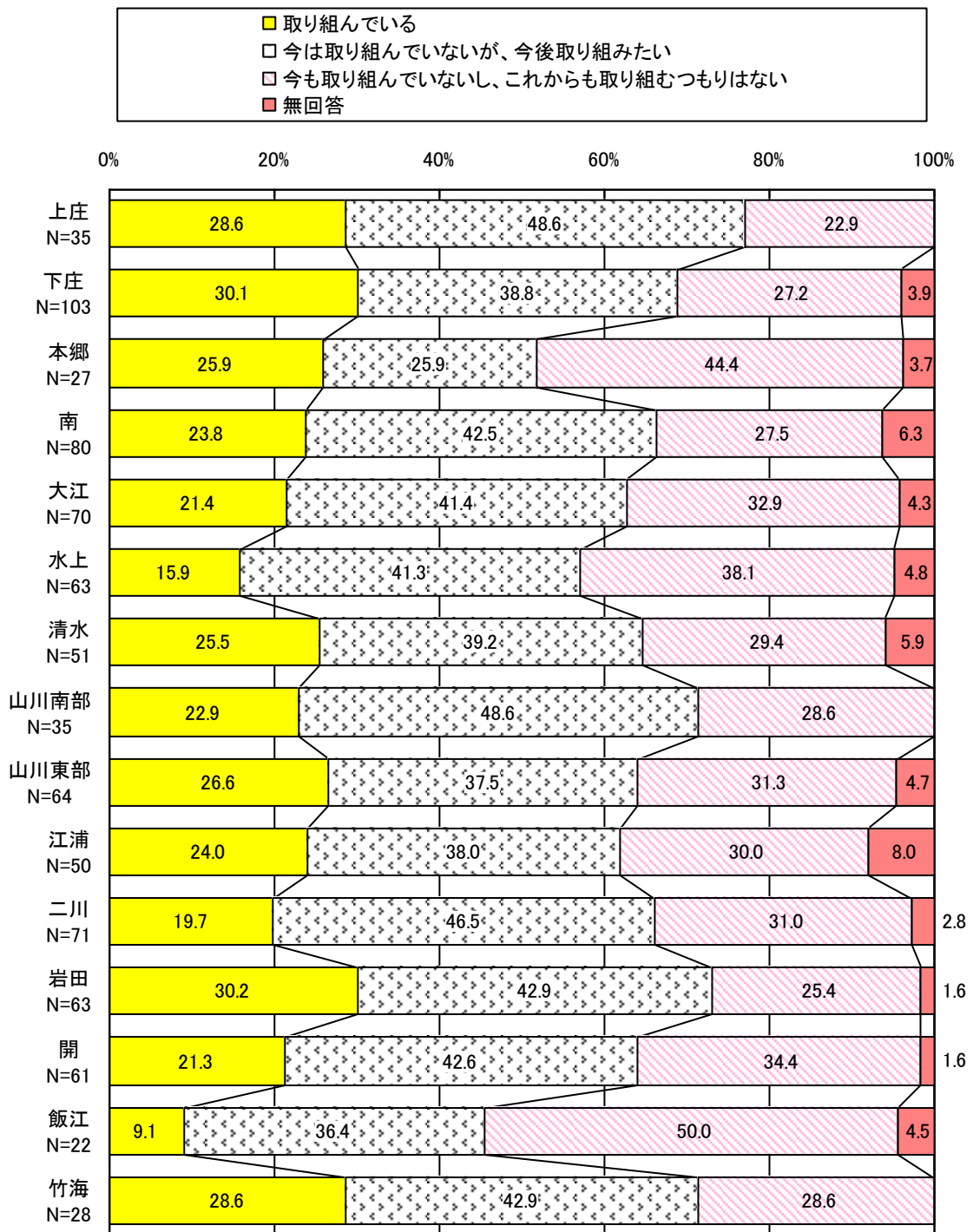
- みやま市は「公園、緑地の充実しているまち」だと「思う」と回答した人の割合は全体の11.4%で、「どちらかと言えば思う」（33.1%）を合わせると44.5%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」（26.7%）、「思わない」（15.3%）を合わせた割合（42.0%）もほぼ同じくらいの割合となっている。

問41 あなたは、文化・芸術・創作活動、教養講座・研究、スポーツ活動、ボランティアや地域活動などの自発的な生涯学習や市民活動について、個人またはサークル等を通じて、現在取り組んでいますか。（1つに○印）

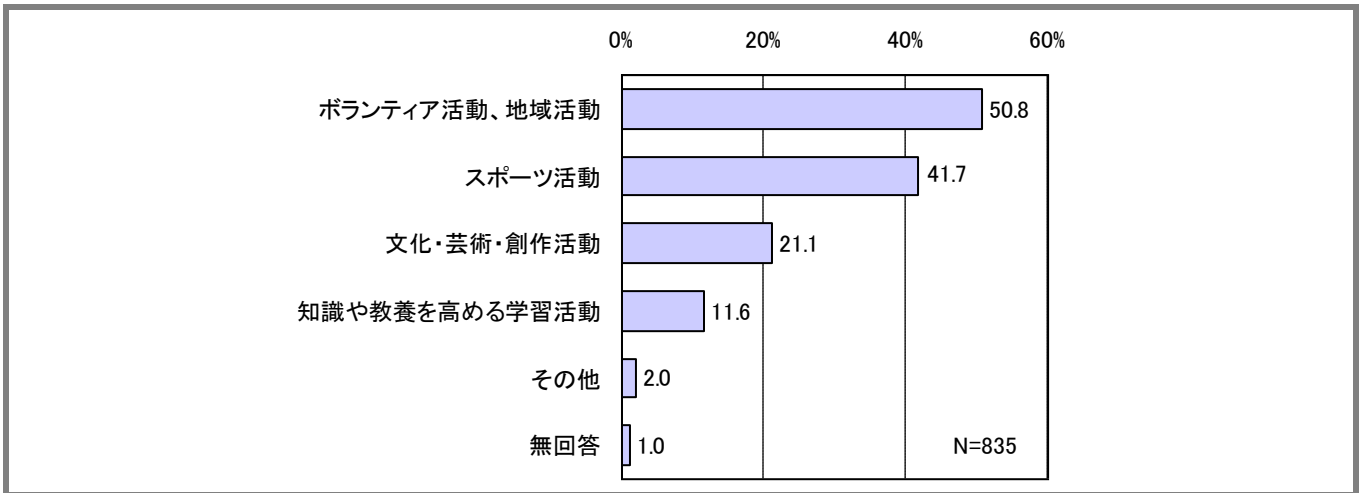


- 自発的な生涯学習や市民活動について、個人またはサークル等を通じて、「取り組んでいる」と回答した人の割合は全体の23.8%であるが、「今は取り組んでいないが、今後取り組みたい」と回答した人の割合は41.0%となっている。
- 居住地区別に見ると、「取り組んでいる」と回答した人の割合が高いのは「岩田」(30.2%)、「下庄」(30.1%)、「上庄」「竹海」(ともに28.6%)で、「今も取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない」と回答した人の割合が高いのは「飯江」(50.0%)、「本郷」(44.4%)となっている(次ページ参照)。

【居住地区別クロス集計結果】

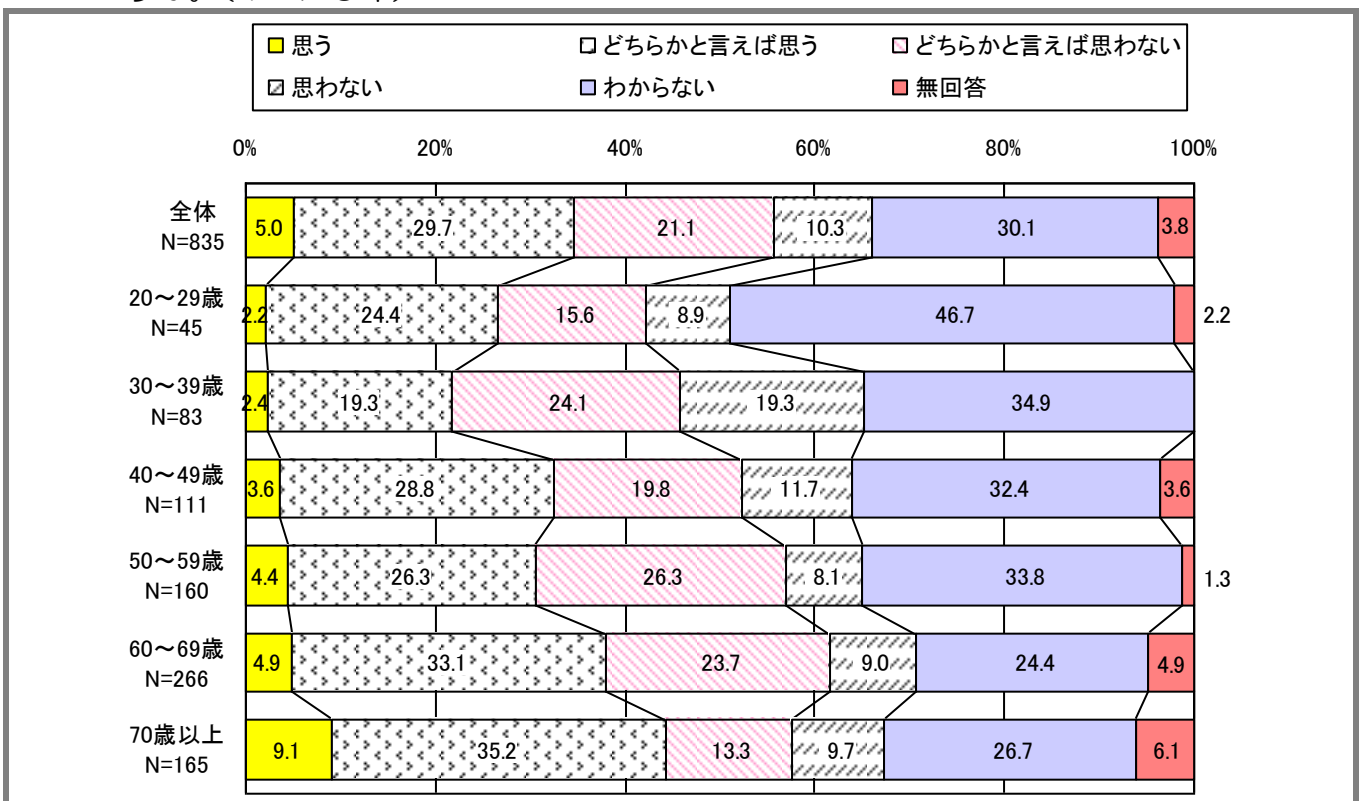


問 41-1 問 41 で1と回答した方にお聞きします。取り組んでいるのはどのような活動ですか。
（○印はいくつでも可）



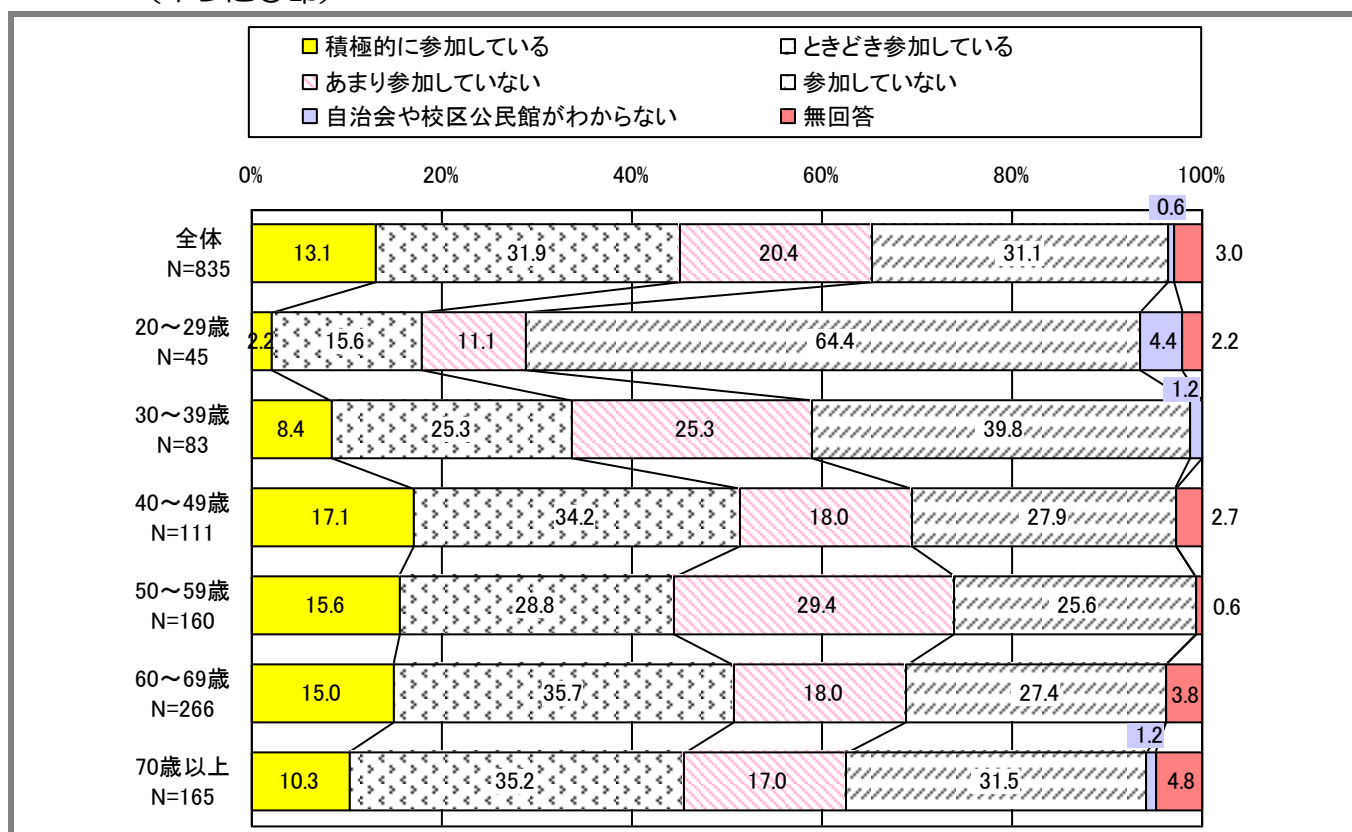
● 問 41 で「取り組んでいる」と回答した人に、どのような活動に取り組んでいるかを尋ねたところ、「ボランティア活動、地域活動」が 50.8%と最も多く、次いで「スポーツ活動」が 41.7%となっている。

問 42 みやま市は、行政のほか民間団体やボランティアによるものも含めて、生涯学習・生涯スポーツの支援（事業の開催や支援体制、施設の立地等）が充実したまちであると思いますか。（1つに○印）



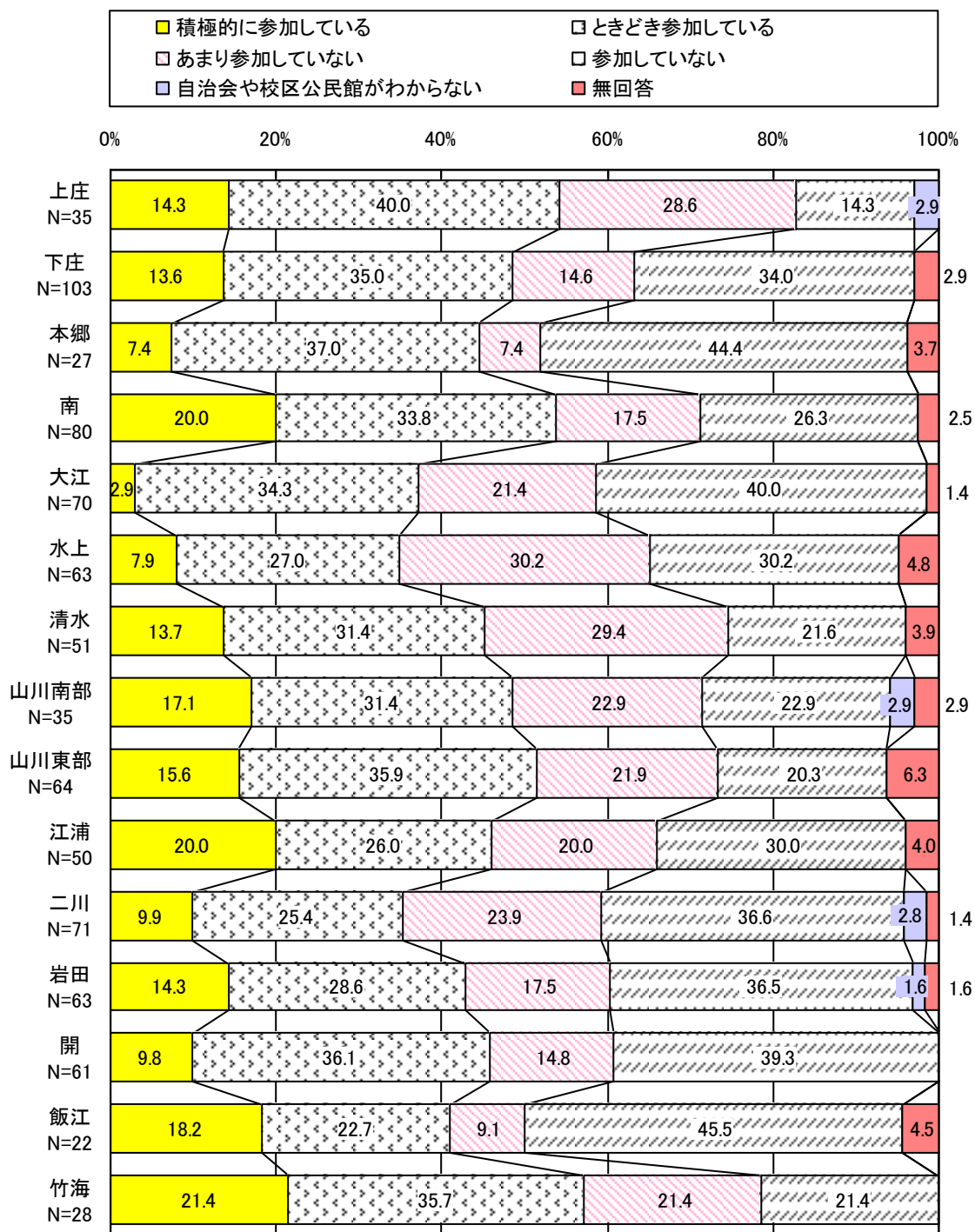
● みやま市は「生涯学習・生涯スポーツの支援（事業の開催や支援体制、施設の立地等）」が充実したまちだと「思う」と回答した人の割合は全体の 5.0%で、「どちらかと言えば思う」(29.7%)を合わせると 34.7%となるが、一方で「どちらかと言えば思わない」(21.1%)、「思わない」(10.3%)を合わせた割合 (31.4%) もほぼ同じくらいの割合となっている。

問43 あなたは、自治会や校区公民館などの地域コミュニティの活動に参加していますか。
（1つに○印）

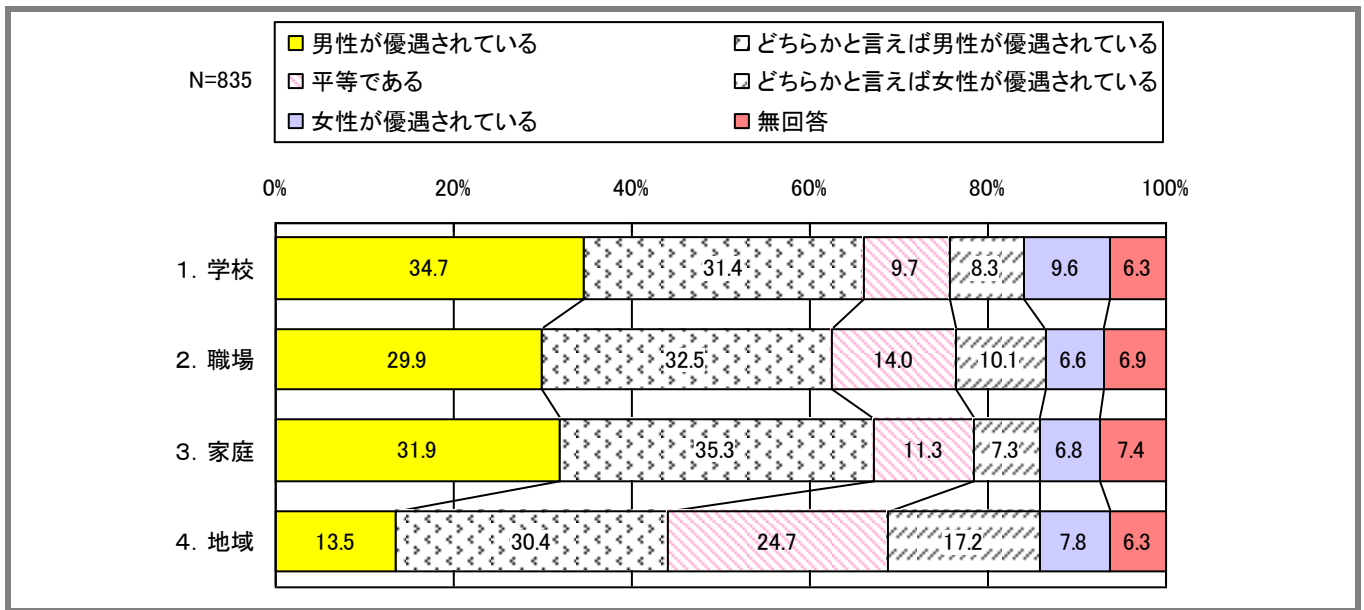


- 自治会や校区公民館などの地域コミュニティの活動に「積極的に参加している」と回答した人の割合は全体の13.1%で、「ときどき参加している」(31.9%)を合わせると45.0%となるが、一方で「あまり参加していない」(20.4%)、「参加していない」(31.1%)を合わせた割合(51.5%)を下回っている。
- 居住地区別に見ると、「積極的に参加している」と回答した人の割合が高いのは「竹海」(21.4%)、「南」「江浦」(ともに20.0%)で、「あまり参加していない」「参加していない」と回答した人の割合が高いのは「大江」(61.4%)、「水上」(60.4%)、「二川」(60.5%)となっている(次ページ参照)。

【居住地区別クロス集計結果】



問 44 次にあげる4つの分野で男女の地位は平等になっていると感じますか。
 （各項目ごとに該当するところに○印を1つ）

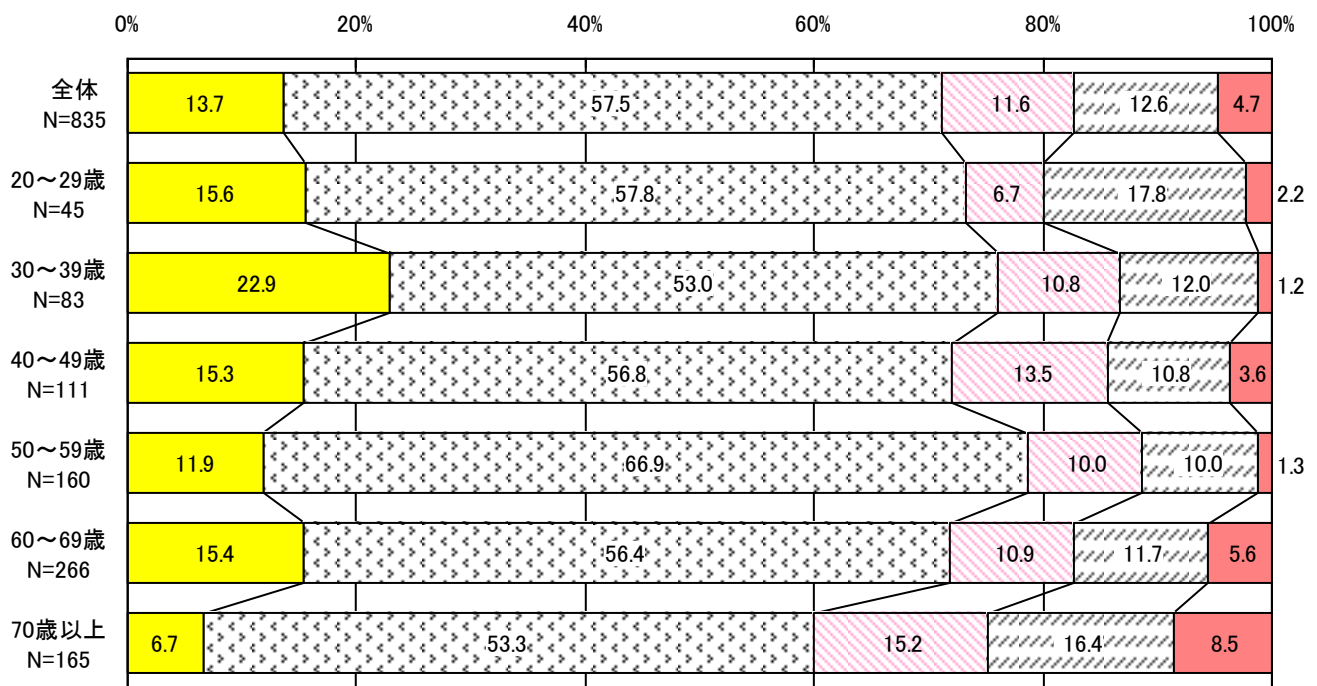


- 学校、職場、家庭、地域の4つの分野のうち、男女の地位が「平等である」と回答した人の割合が最も高かったのは「地域」の24.7%で、学校、職場、家庭に比べると高い割合となっている。

Ⅷ みやま市の行財政について

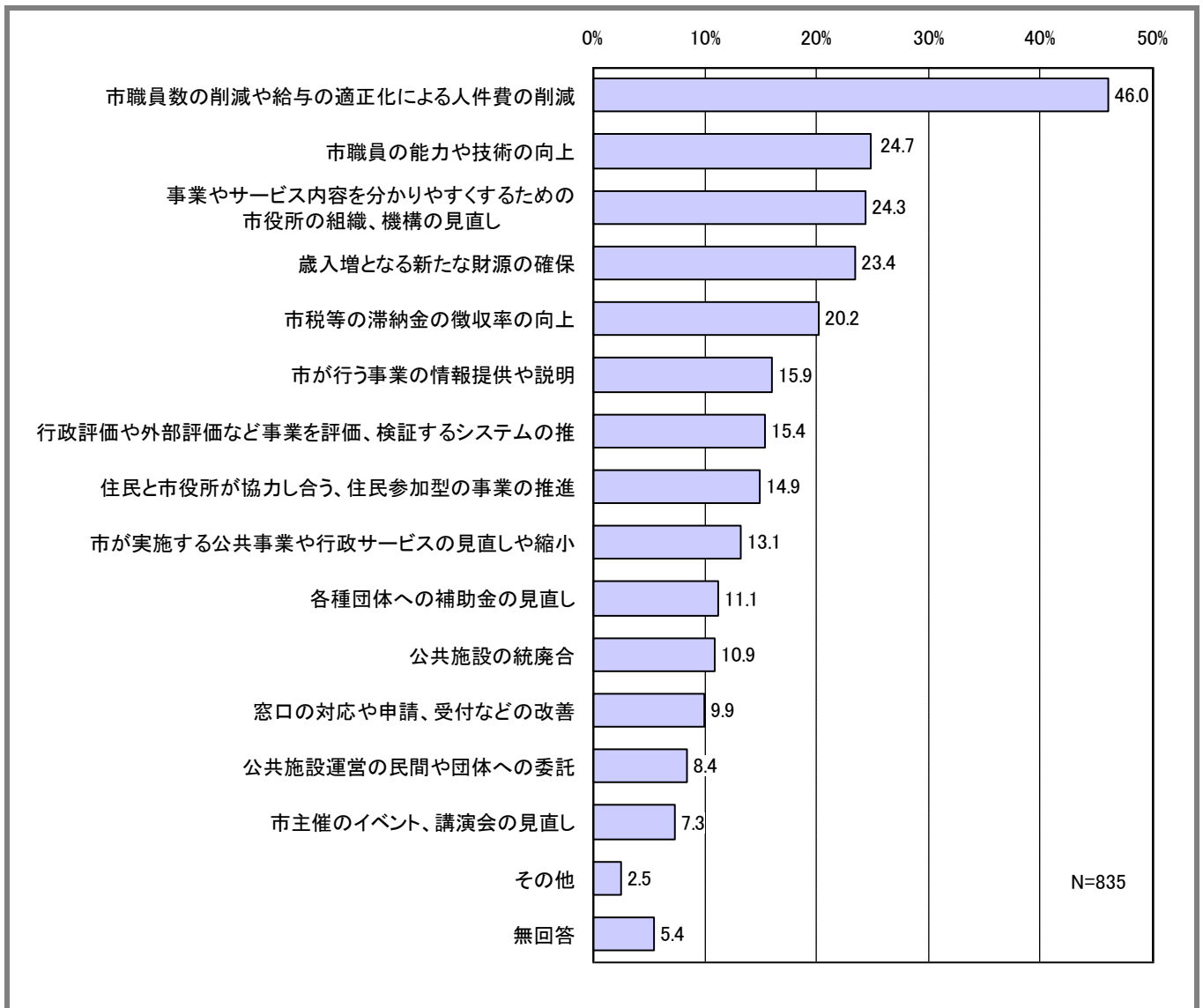
問 45 行財政改革を進めていく際の、行政サービスの水準と市民の負担とのバランスについて、あなたのお考えに近いものを選んでください。（1つに○印）

- 行政サービスの維持・充実に優先すべきで税など市民全体の負担が増えることはやむを得ない
- 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきではない
- 行政サービスの低下はやむをえず、税など市民の負担は増やすべきではない
- わからない
- 無回答



- 行政サービスの水準と市民の負担とのバランスについては、「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきではない」という考えに近い人が全体の 57.5%と最も多くなっている。

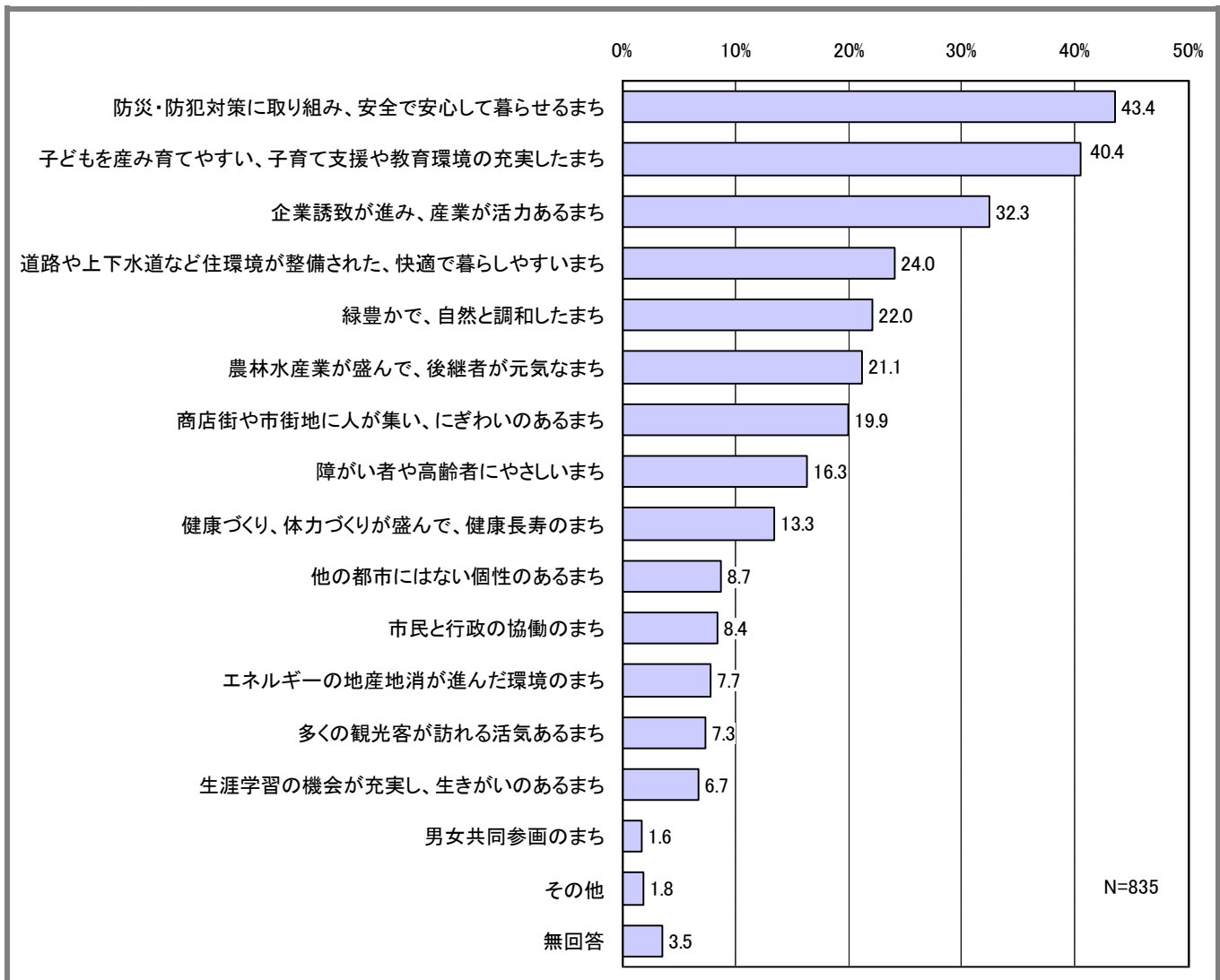
問 46 あなたは、行政の効率化や財政の健全化のために、次のどれが重要だと思いますか。
（○印は3つまで）



- 行政の効率化や財政の健全化のために重要だと思うことについては、「市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減」という回答割合が46.0%と最も高く、以下、「市職員の能力や技術の向上」(24.7%)、「事業やサービス内容を分かりやすくするための市役所の組織、機構の見直し」(24.3%)、「歳入増となる新たな財源の確保」(23.4%)と続いている。

Ⅸ 将来のみやま市について

問47 将来のみやま市はどのようなまちになったらいいと思いますか。（○印は3つまで）



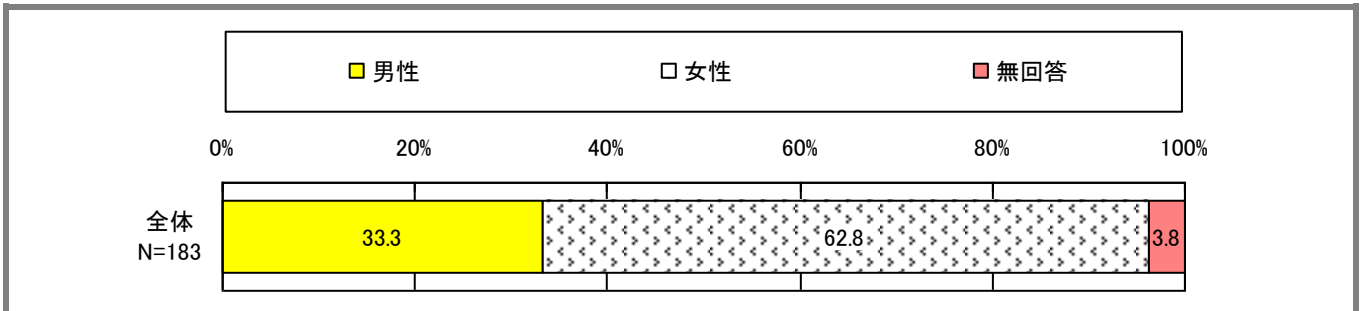
- なったらいいと思うみやま市の将来像については、「防災・防犯対策に取り組み、安全で安心して暮らせるまち」という回答割合が43.4%と最も高く、以下、「子どもを産み育てやすい、子育て支援や教育環境の充実したまち」(40.4%)、「企業誘致が進み、産業が活力あるまち」(32.3%)と続いている。

第2章 結婚・子育て意識調査

I 回答者の基本属性について

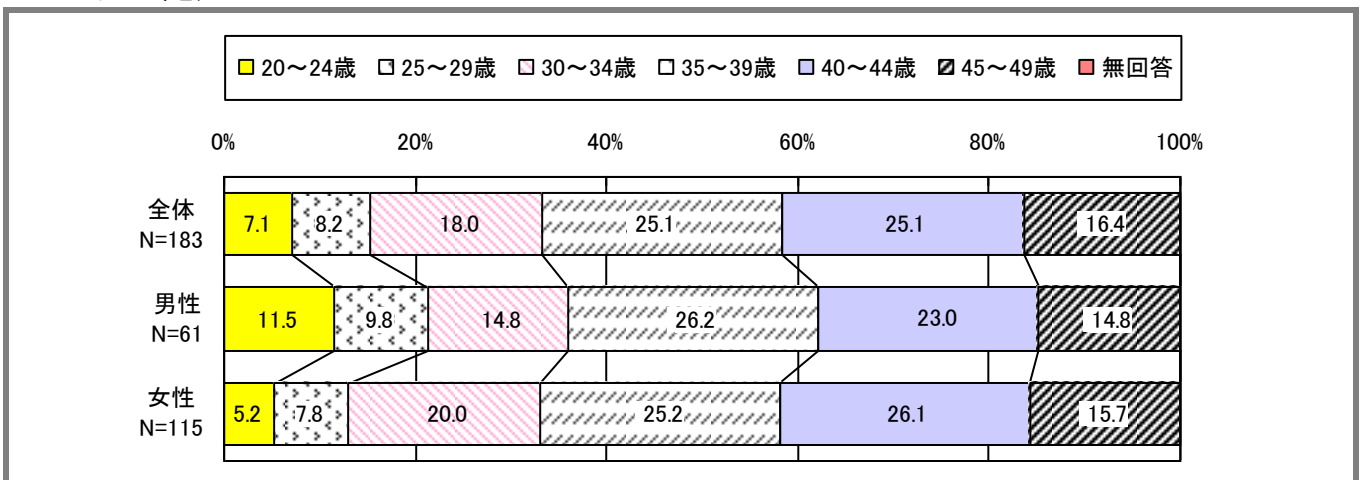
問1 次のア～オについて、それぞれお答えください。

ア 性別



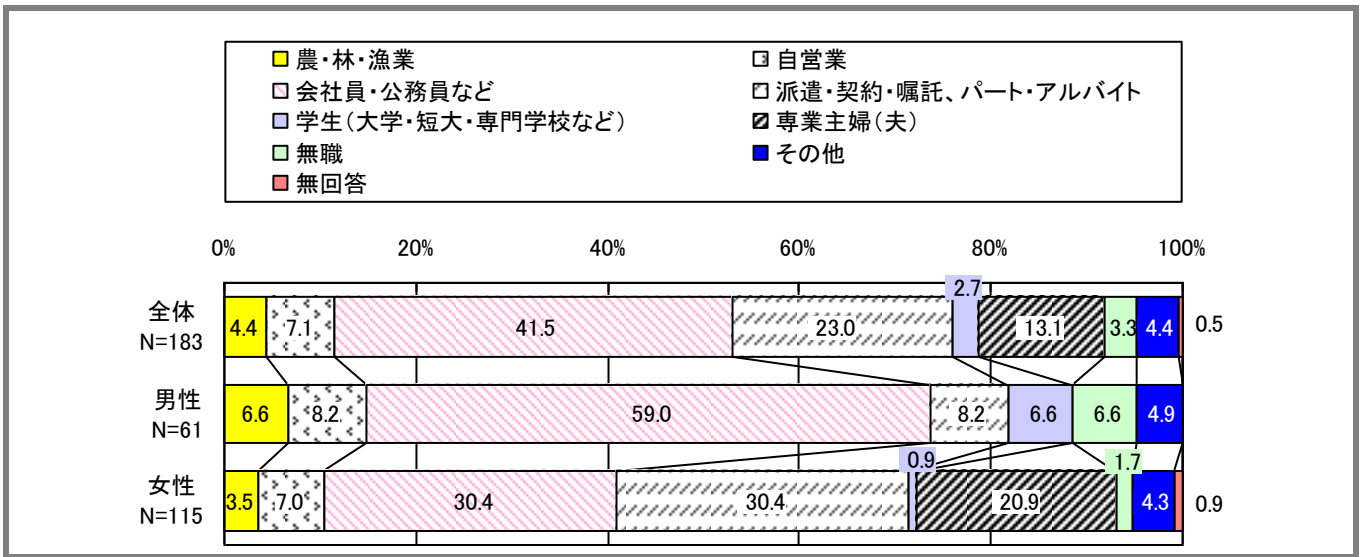
- 回答者の性別については、男性が33.3%、女性が62.8%となっている。

イ 年齢



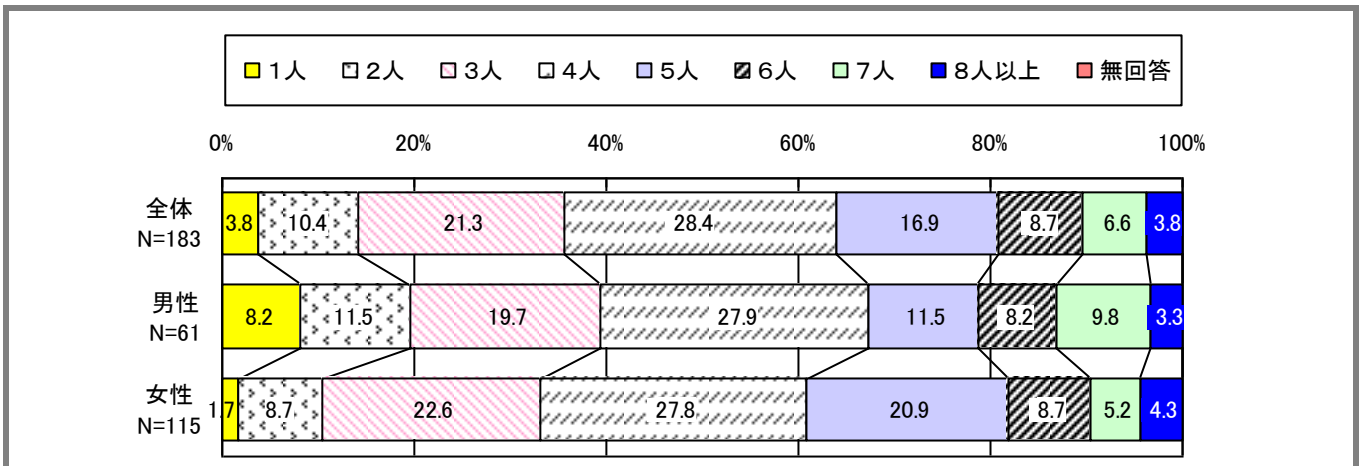
- 回答者の年齢構成は上のおりで、全体では「35~39歳」と「40~44歳」の割合がともに25.1%と高くなっている。

ウ お勤めの状況



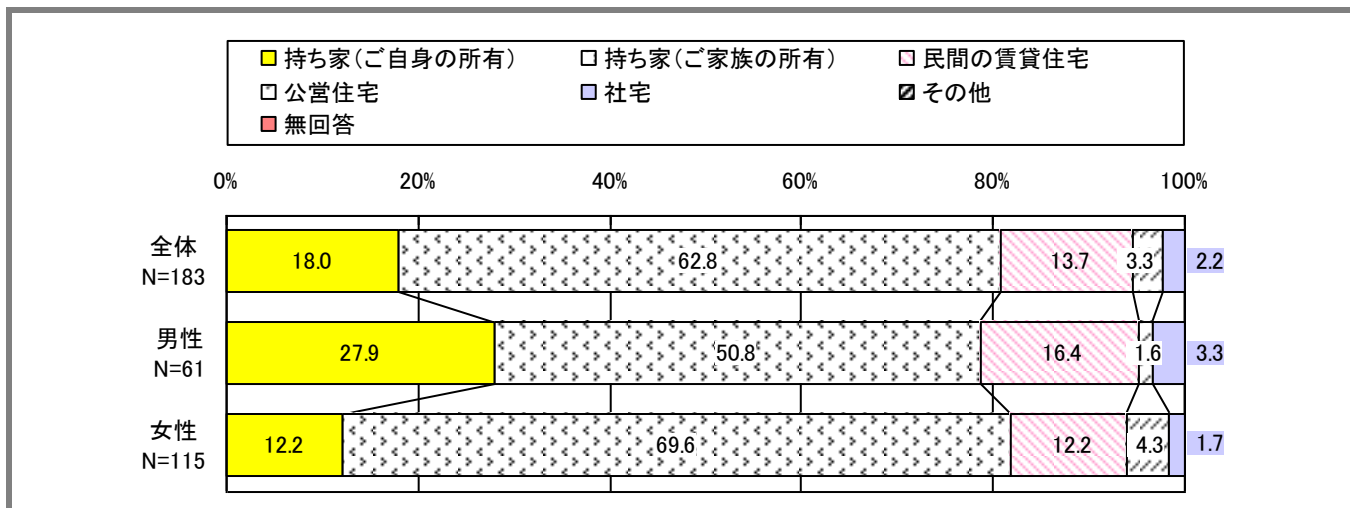
- 男性は「会社員・公務員など」が59.0%と最も多くなっている。
- 女性は「会社員・公務員など」と「派遣・契約・嘱託、パート・アルバイト」がともに30.4%と多く、「専業主婦」も20.9%となっている。

エ 世帯人員



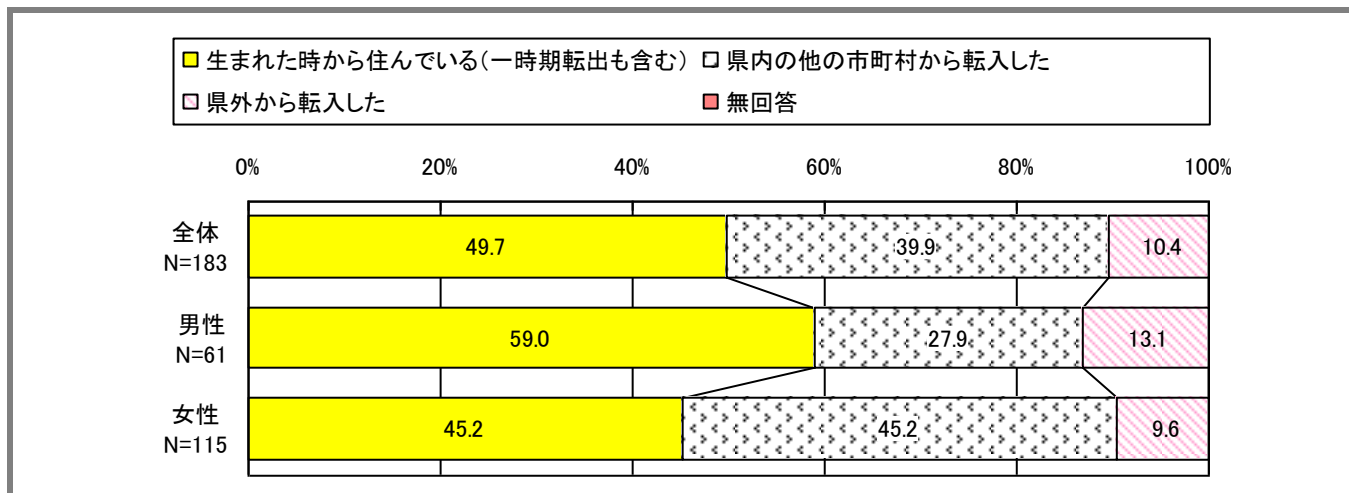
- 世帯人員については、男女ともに「4人」の割合が最も高くなっている。

オ 住宅の状況



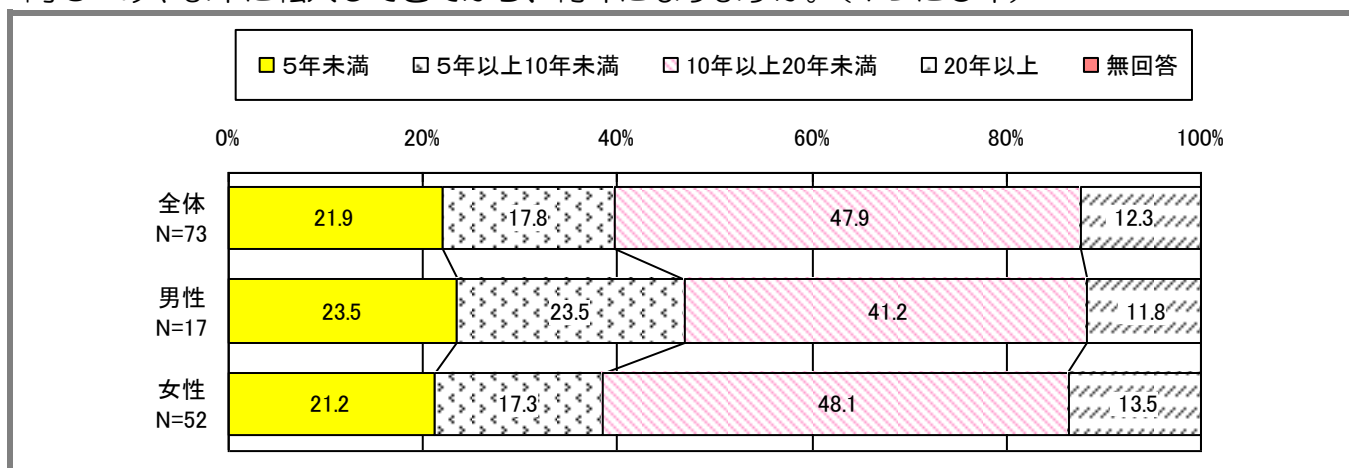
● 住宅については、男女ともに「持ち家（ご家族の所有）」の割合が最も高くなっている。

問2 いつからみやま市にお住まいですか。(1つに○印)



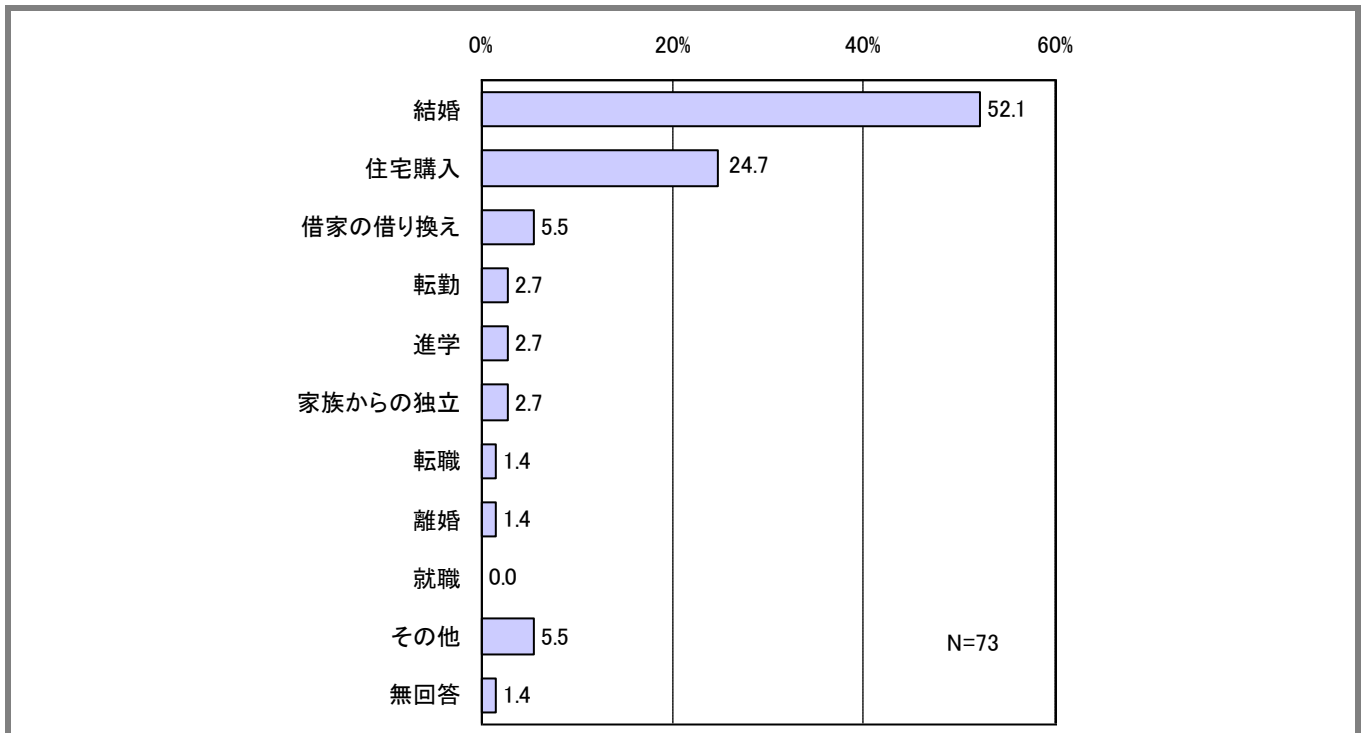
- 男性は「生まれた時から住んでいる」人の割合 (59.0%) が最も高くなっているが、女性は「生まれた時から住んでいる」人と「県内の他市町村から転入した」人がともに 45.2%となっている。

(問3～4は、問2で「2. 県内の他の市町村から転入した」とお答えの方にお聞きします。)
問3 みやま市に転入してきてから、何年になりますか。(1つに○印)



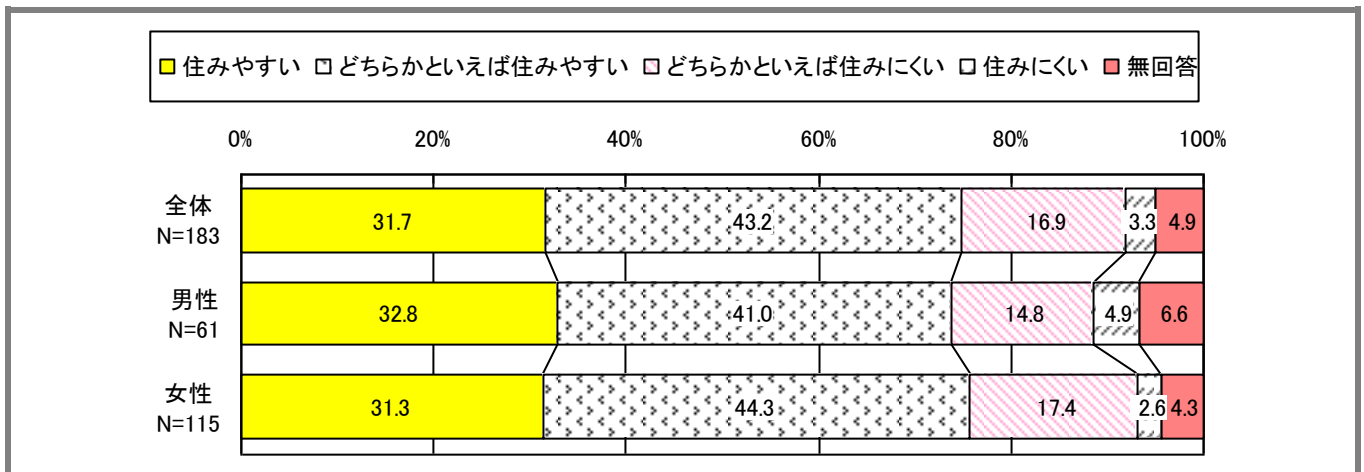
- 問2で「県内の他の市町村から転入した」と回答した人に、転入してから何年になるか尋ねたところ、男女ともに「10年以上20年未満」という回答割合が最も高くなっている。

問4 みやま市に最初に転入することになった最も大きな要因は何ですか。(1つに○印)



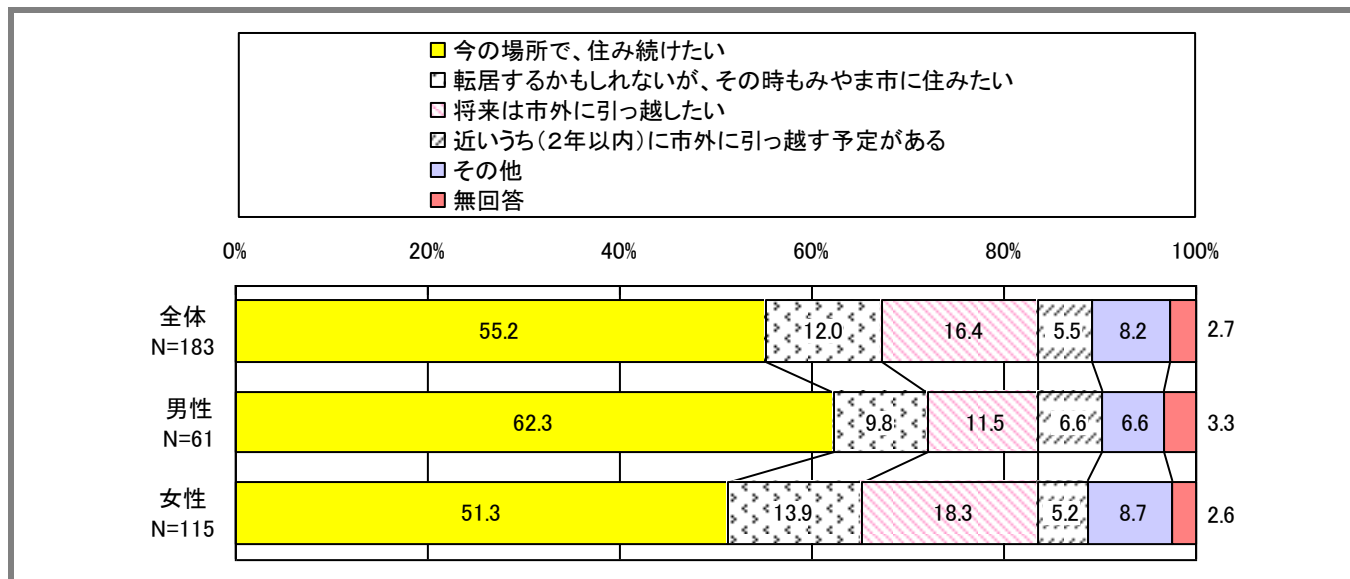
- みやま市に最初に転入することになった最も大きな要因については、「結婚」が全体の 52.1%と最も多く、次いで「住宅購入」が 24.7%で続いている。

問5 あなたにとってみやま市は住みやすいですか。(1つに○印)



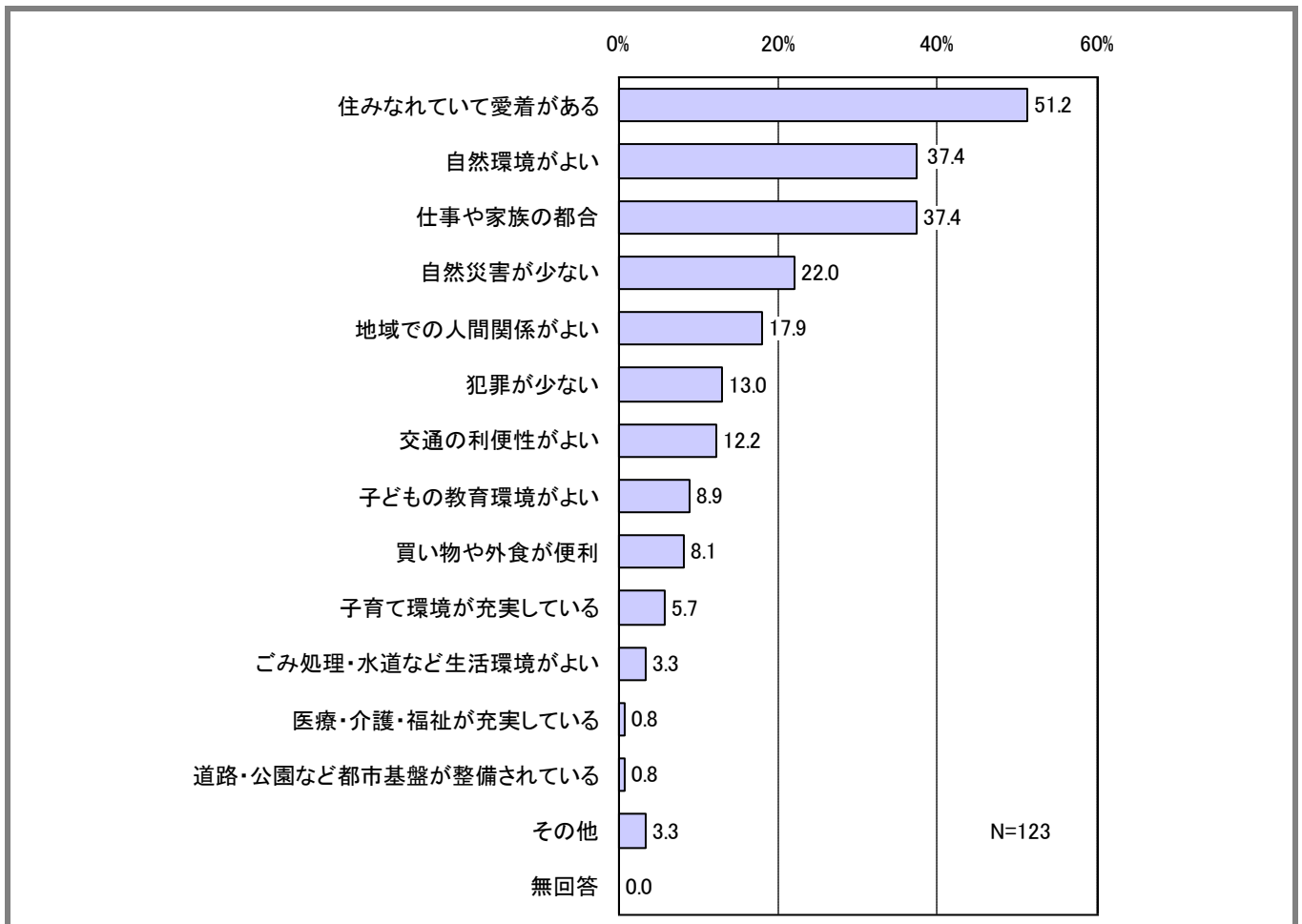
- みやま市は「住みやすい」と回答した人の割合は全体の 31.7%で、「どちらかといえば住みやすい」(43.2%)を加えると 74.9%となるが、一方で「どちらかといえば住みにくい」(16.9%)、「住みにくい」(3.3%)を合わせ 20.2%は何らかの住みにくさを感じていることがわかる。

問6 あなたは今後もみやま市に住み続けたいですか。(1つに○印)



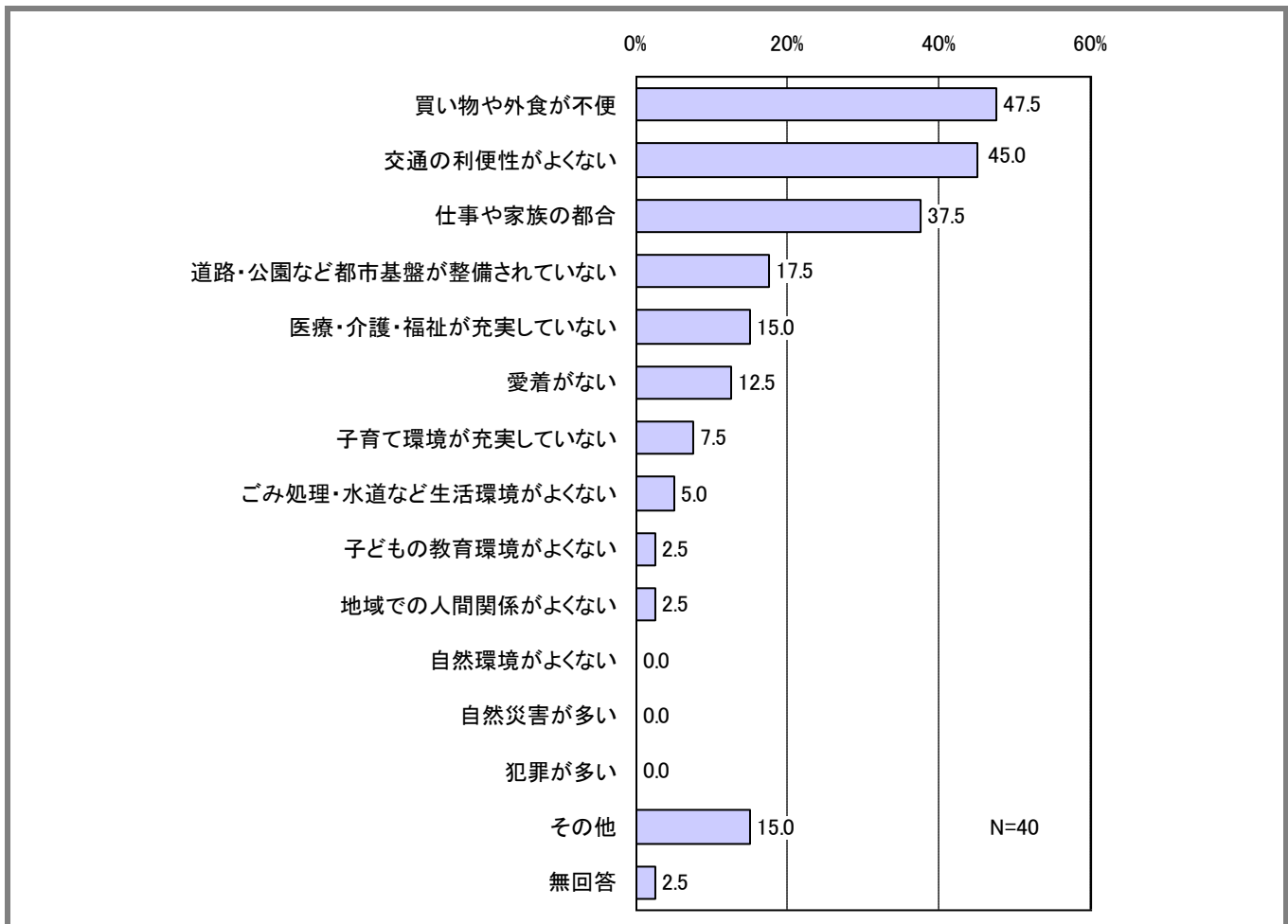
● 今後も「今の場所で、住み続けたい」と回答した人は全体の 55.2%と多くなっているが、男女別に見ると、「将来は市外に引っ越したい」という回答割合は女性の方が高くなっている。

(問7は、問6で「1.」または「2.」の住み続けたいとお答えの方にお聞きします。)
 問7 その理由をお答えください。(○印は3つまで)



- 問6でみやま市に「住み続けたい」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「住み慣れていて愛着がある」が51.2%と最も多く、以下、「自然環境がよい」「仕事や家族の都合」(ともに37.4%)と続いている。

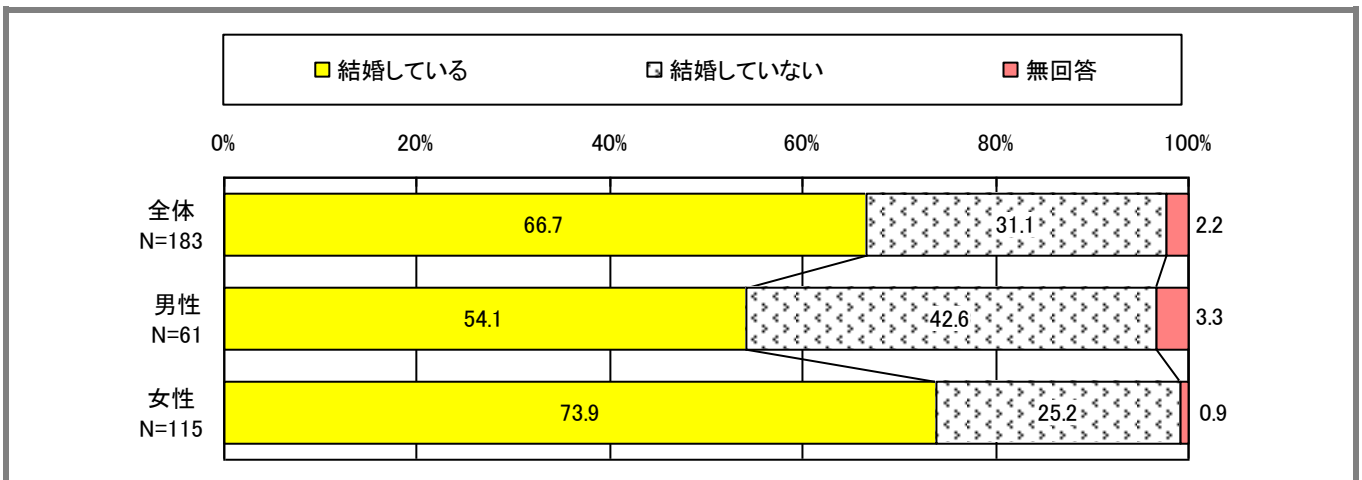
（問8は、問6で「3.」または「4.」の引っ越したいとお答えの方にお聞きします。）
 問8 その理由をお答えください。（〇印は3つまで）



- 問6で市外に引っ越したいと回答した人にその理由を尋ねたところ、「買い物や外食が不便」が47.5%、「交通の利便性がよくない」が45.0%と、ともに高い割合となっている。

II 結婚について

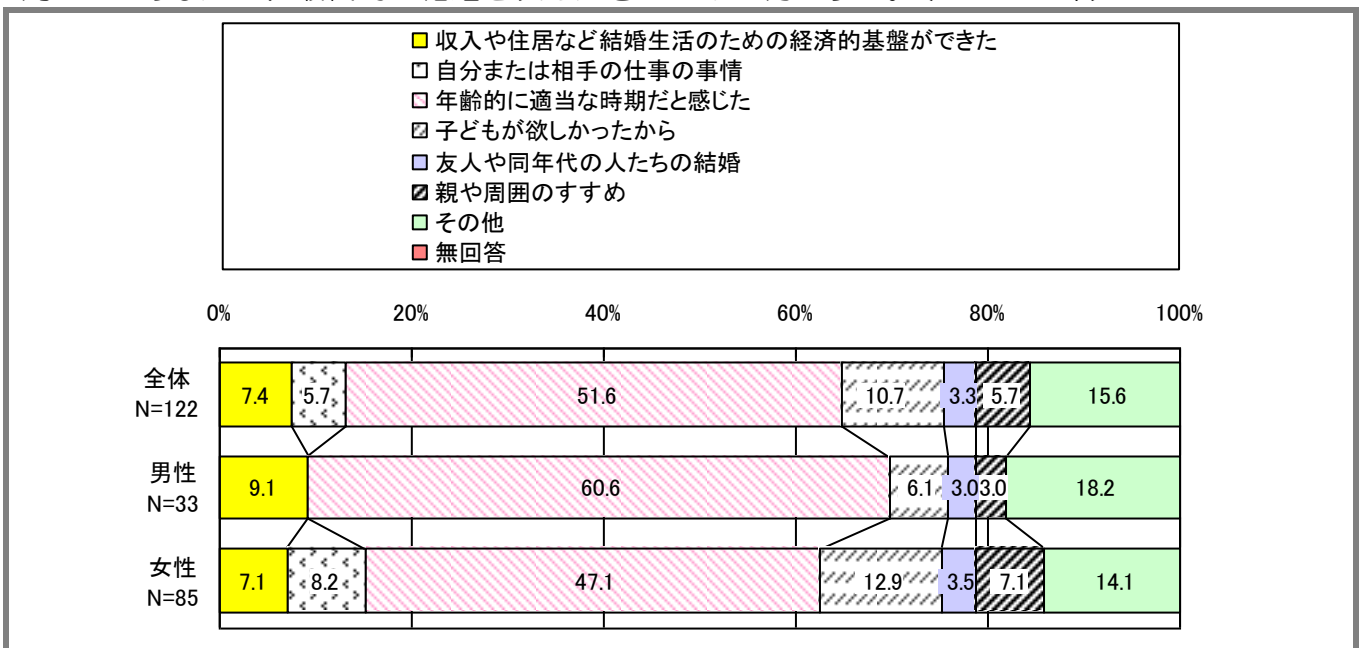
問9 あなたは現在、結婚していますか。(1つに○印)



● 回答者のうち、「結婚している」と回答した人は、男性で54.1%、女性で73.9%となっている。

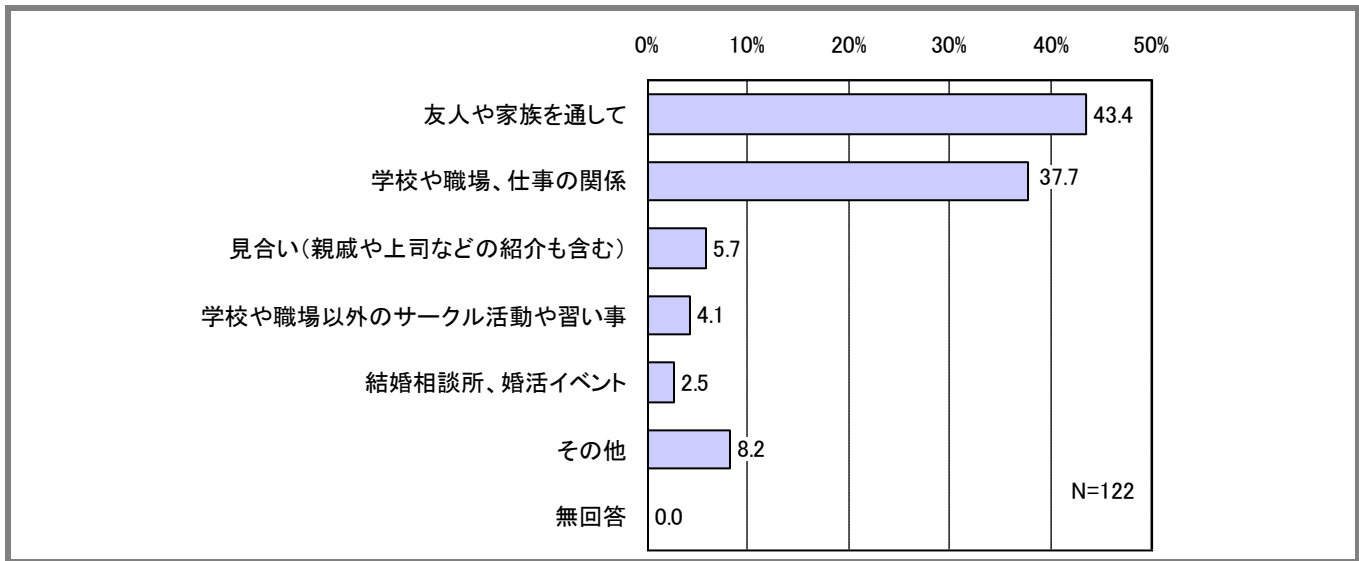
(問10~11は、問9で「1. 結婚している」とお答えの方にお聞きします。)

問10 あなたが、最終的に結婚を決めたきっかけは何ですか。(1つに○印)



● 問9で「結婚している」と回答した人に、最終的に結婚を決めたきっかけを尋ねたところ、男女ともに「年齢的に適当な時期だと感じた」という回答割合が最も高くなっている。

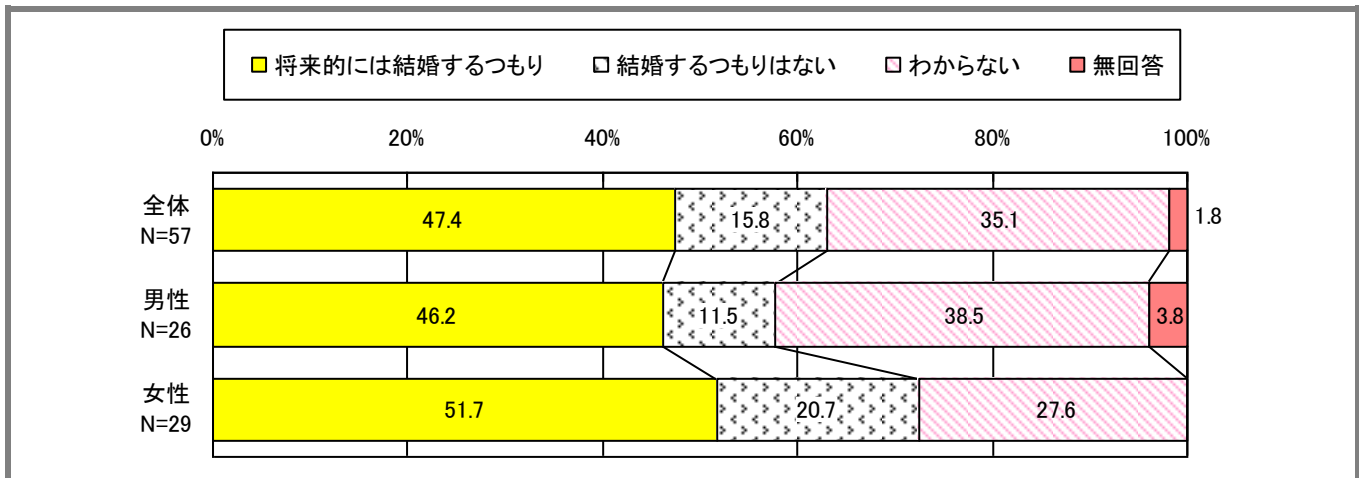
問11 配偶者の方とはどのようなきっかけで知り合われましたか。(〇印はいくつでも可)



- 配偶者と知り合ったきっかけについては、「友人や家族を通して」が43.4%と最も多く、次いで「学校や職場、仕事の関係」が37.7%となっています。

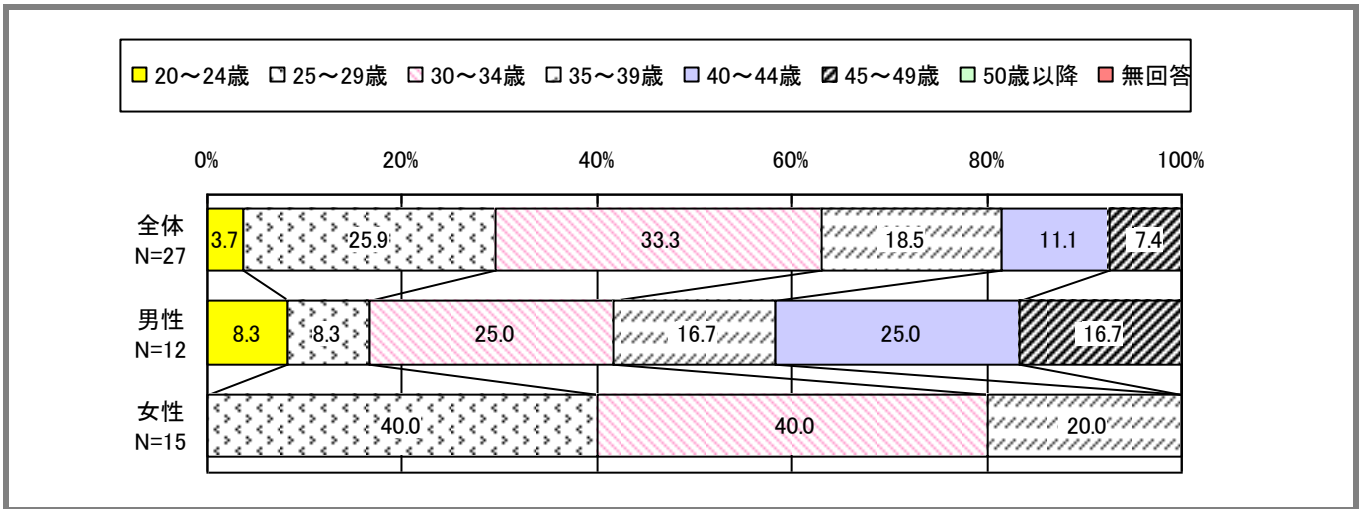
(問12は、問9で「2. 結婚していない」とお答えの方にお聞きします。)

問12 あなたの結婚に関するお考えをお聞かせください。(1つに〇印)



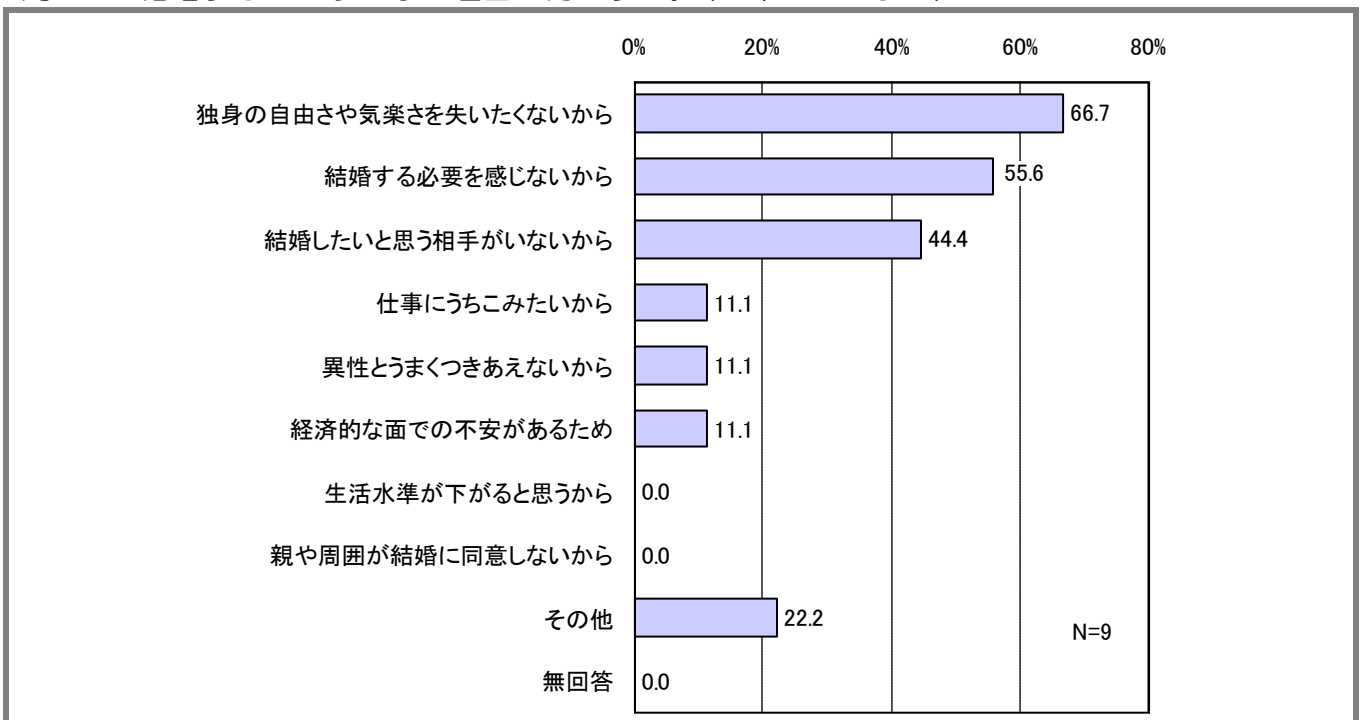
- 問9で「結婚していない」と回答した人に結婚に関する考えを尋ねたところ、「将来的に結婚するつもり」と回答した人の割合は全体の47.4%で、「結婚するつもりはない」が15.8%、「わからない」が35.1%となっている。

(問13は、問12で「1. 将来的には結婚するつもり」とお答えの方にお聞きします。)
 問13 何歳くらいで結婚したいと思いますか。(1つに○印)



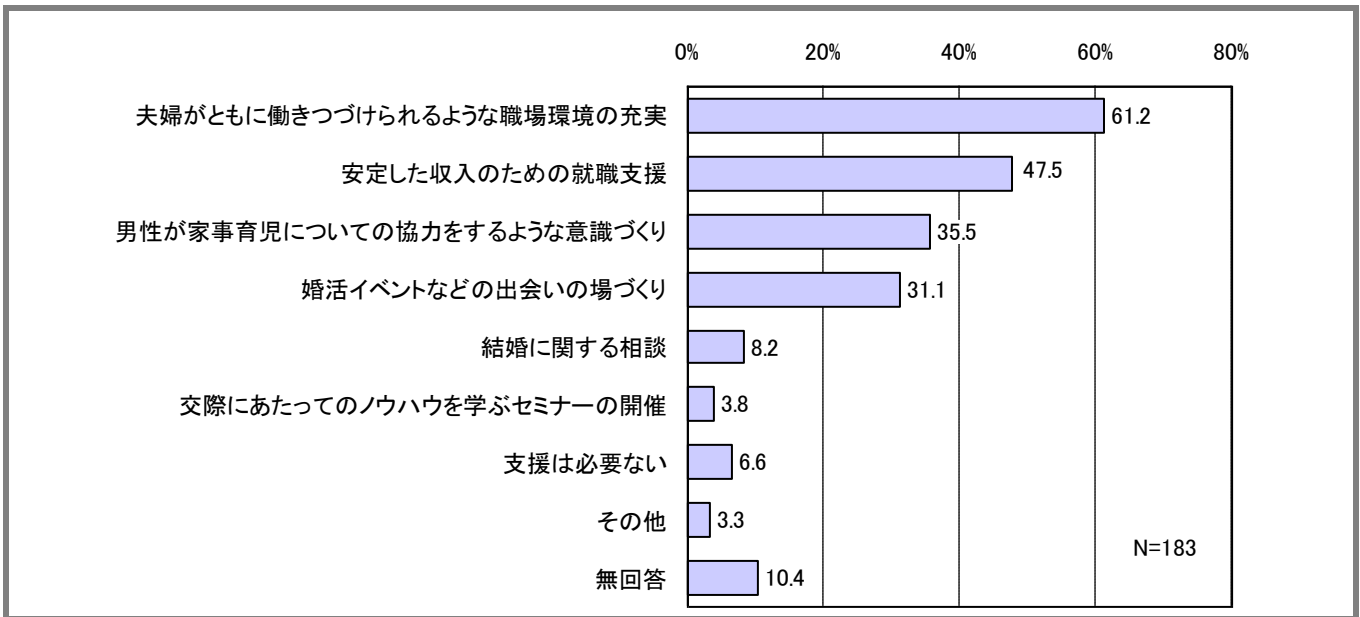
- 問12で「将来的には結婚するつもり」と回答した人に、何歳くらいで結婚したいと思うか尋ねたところ、現在の年齢に幅があるため回答にばらつきはあるが、概ね男性は49歳まで、女性は39歳までという回答結果になっている。

(問14は、問12で「2. 結婚するつもりはない」とお答えの方にお聞きします。)
 問14 結婚するつもりがない理由は何ですか。(○印は3つまで)



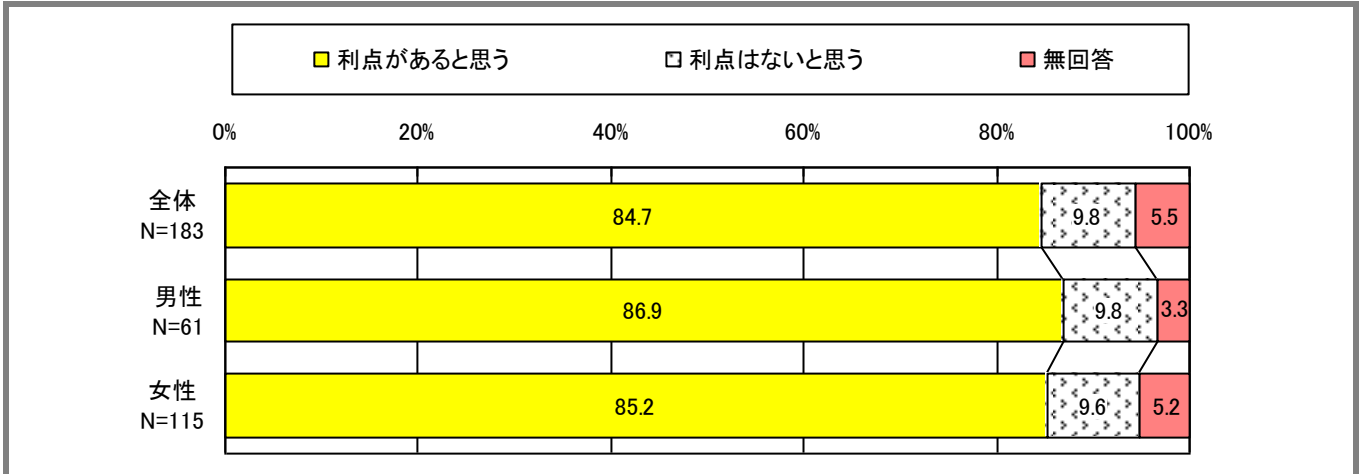
- 問12で「結婚するつもりはない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(66.7%)、「結婚する必要を感じないから」(55.6%)、「結婚したいと思う相手がいないから」(44.4%)が上位にあがっている。

問 15 結婚についてどのような支援があれば良いと思いますか。(〇印は3つまで)



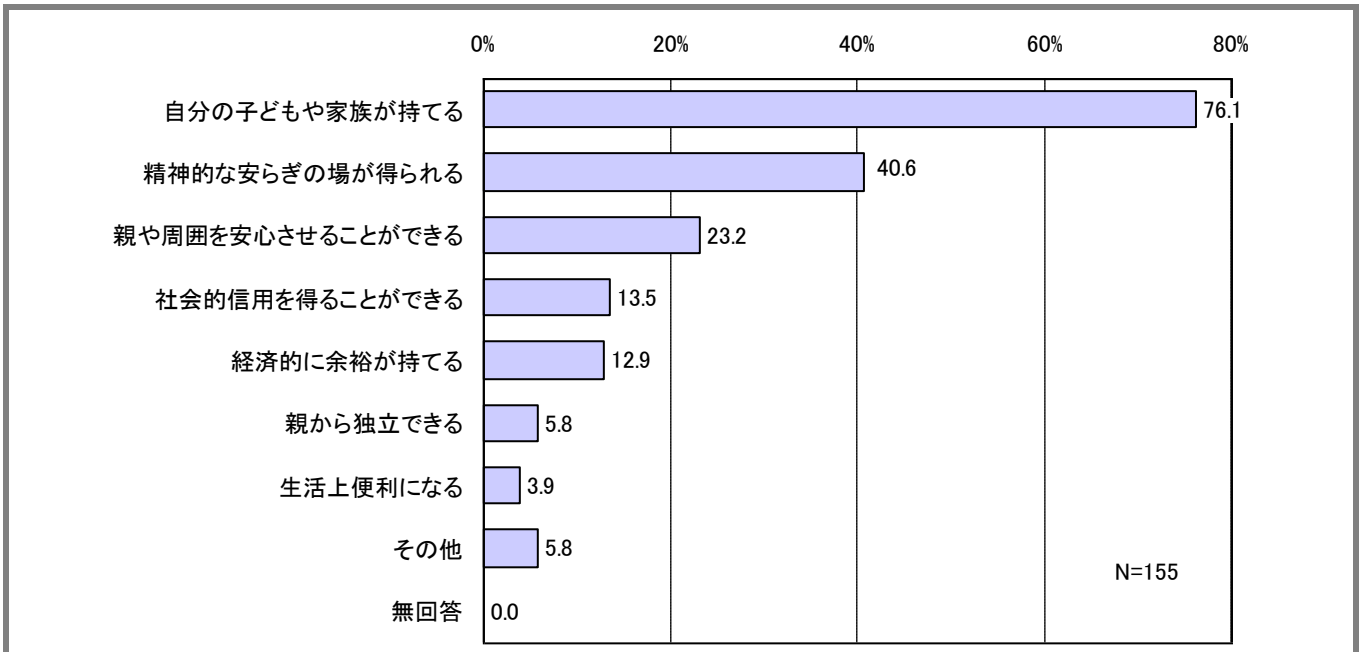
- 結婚についてあれば良いと思う支援については、「夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実」が 61.2%と最も多く、以下、「安定した収入のための就職支援」(47.5%)、「男性が家事育児についての協力をするような意識づくり」(35.5%)、「婚活イベントなどの出会いの場づくり」(31.1%)と続いている。

問 16 結婚することに、何か利点があると思いますか。(1つに〇印)



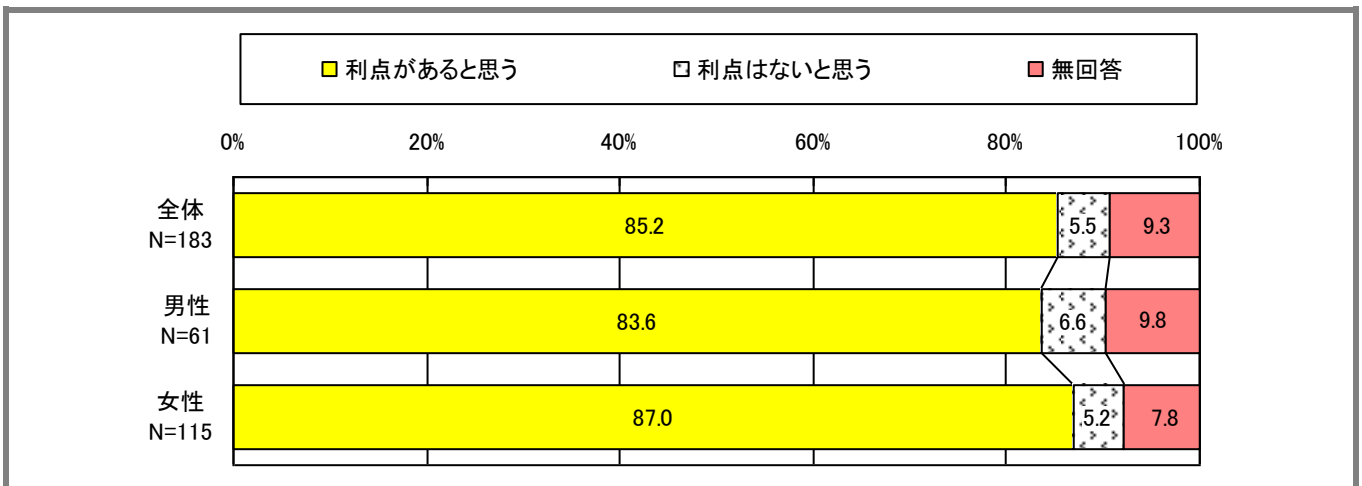
- 結婚することに「利点があると思う」と回答した人の割合は、全体の 84.7%となっている。

(問17は、問16で「1. 利点があると思う」とお答えの方にお聞きします。)
 問17 具体的な利点についてお答えください。(〇印は2つまで)



- 問16で「利点があると思う」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「自分の子どもや家族が持てる」が76.1%と最も多く、「精神的な安らぎの場が得られる」が40.6%でそれに続いている。

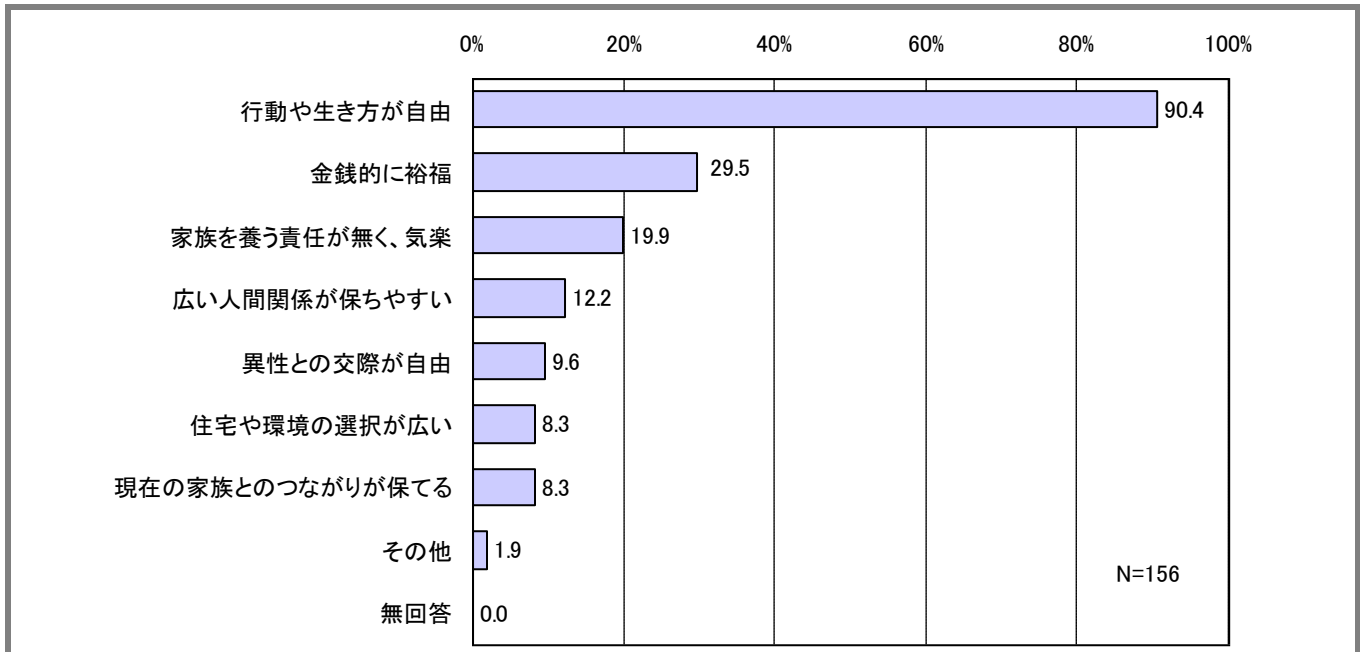
問18 独身生活には、結婚生活にはない利点があると思いますか。(1つに〇印)



- 独身生活には、結婚生活にはない「利点があると思う」と回答した人の割合は、全体の85.2%となっている。

(問19は、問18で「1. 利点があると思う」とお答えの方にお聞きします。)

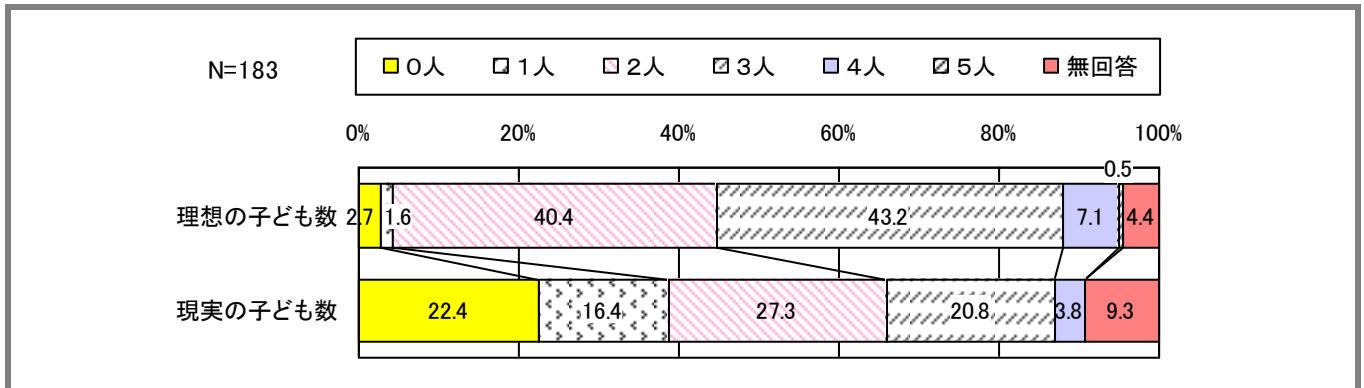
問19 具体的な利点をお答えください。(○印は2つまで)



- 問18で「利点があると思う」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「行動や行き方が自由」が90.4%と最も多く、「金銭的に裕福」が29.5%でそれに続いている。

Ⅲ 出産・育児について

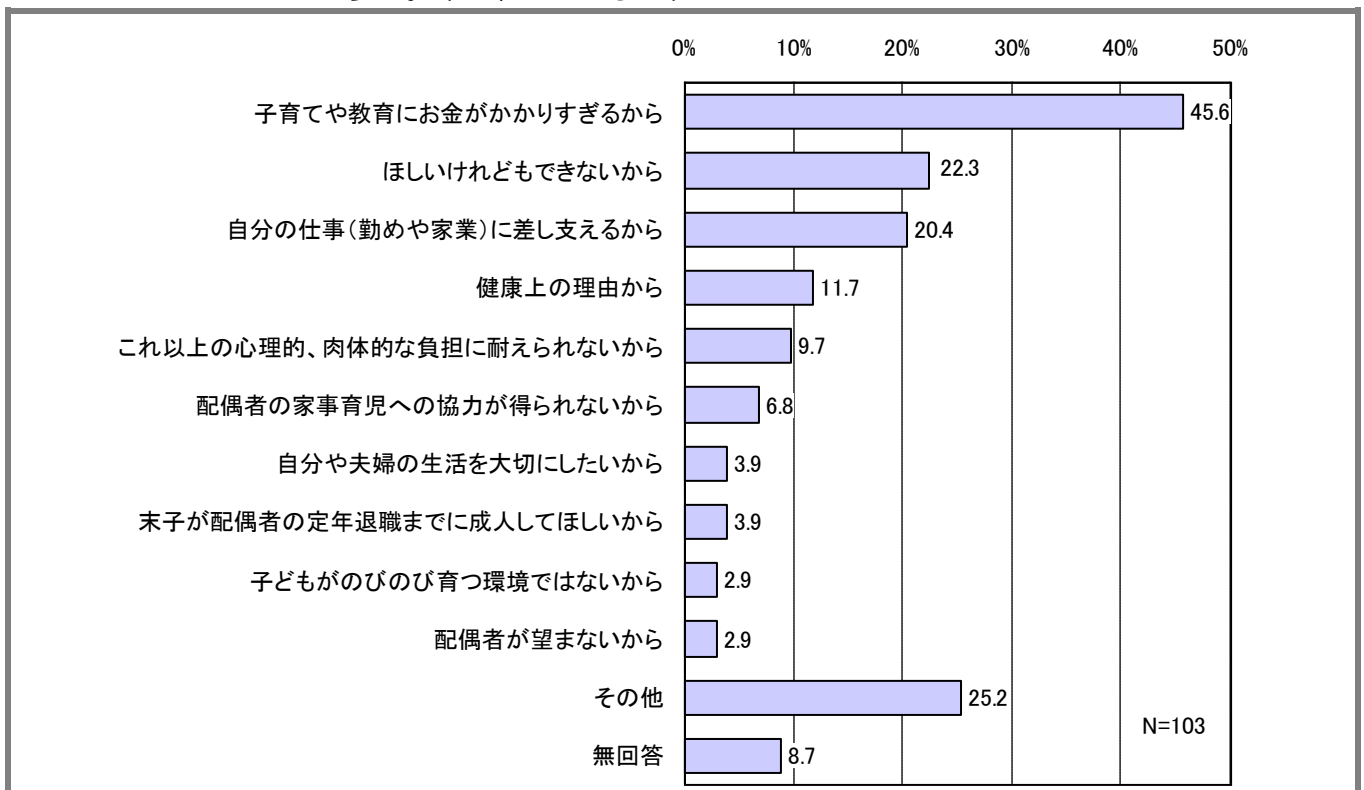
問20 あなたにとって理想的なお子さんの数は何人ですか。また、あなたは何人のお子さんがいらっしゃると思いますか。(何人のお子さんを持つ予定ですか。) 記入欄に数字でお答えください。(お子さんを持ちたくないと思われる方は「0人」とご記入ください)



- 理想の子ども数については「3人」と回答した人の割合が43.2%と最も高くなっているが、現実の子ども数で「3人」と回答した人の割合は20.8%にとどまっている。

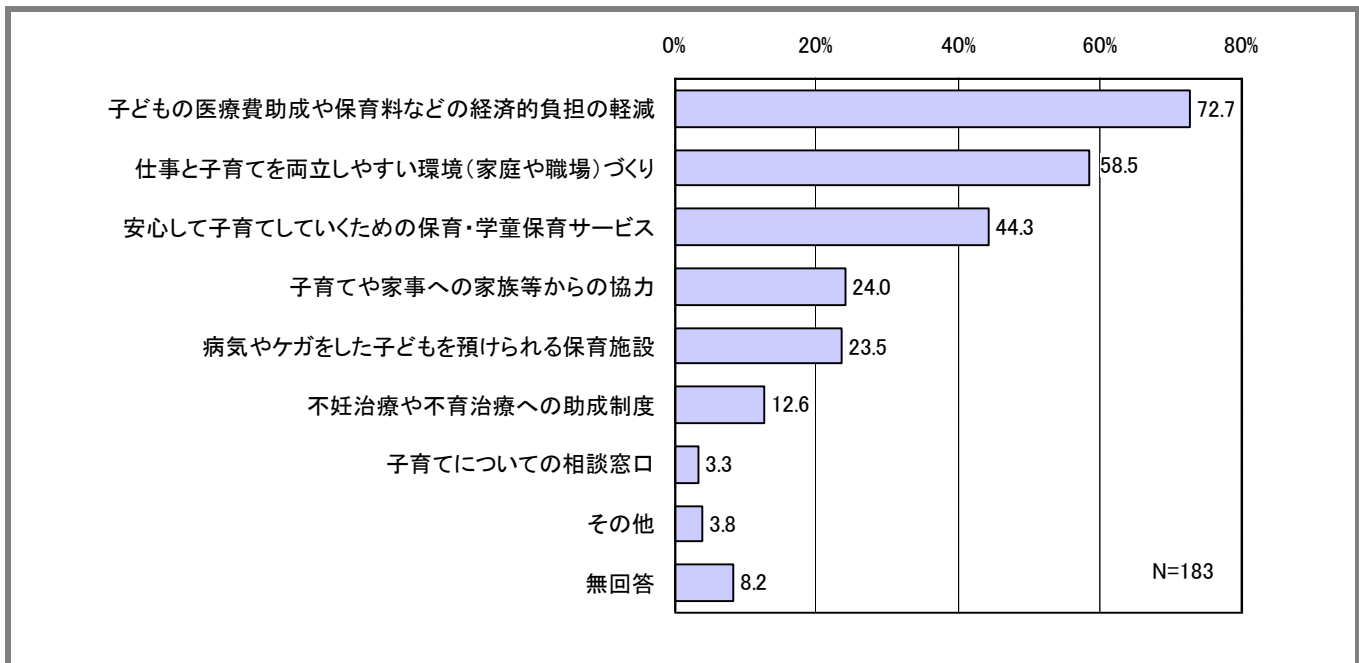
(問21は、問20で、理想的なお子さんの数よりも、実際にいる(これから持つ予定の)お子さんの数が少ない方にお聞きします。)

問21 実際にいる(これから持つ予定の)お子さんの数が、理想的なお子さんの数より少ないのはどうしてですか。(○印は3つまで)



- 現実の子ども数が理想の子ども数より少ない人にその理由を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した人の割合が45.6%と最も高く、「ほしいけれどもできないから」(22.3%)がそれに続いている。

問22 理想のお子さんの数が持てるためには、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(〇印は3つまで)

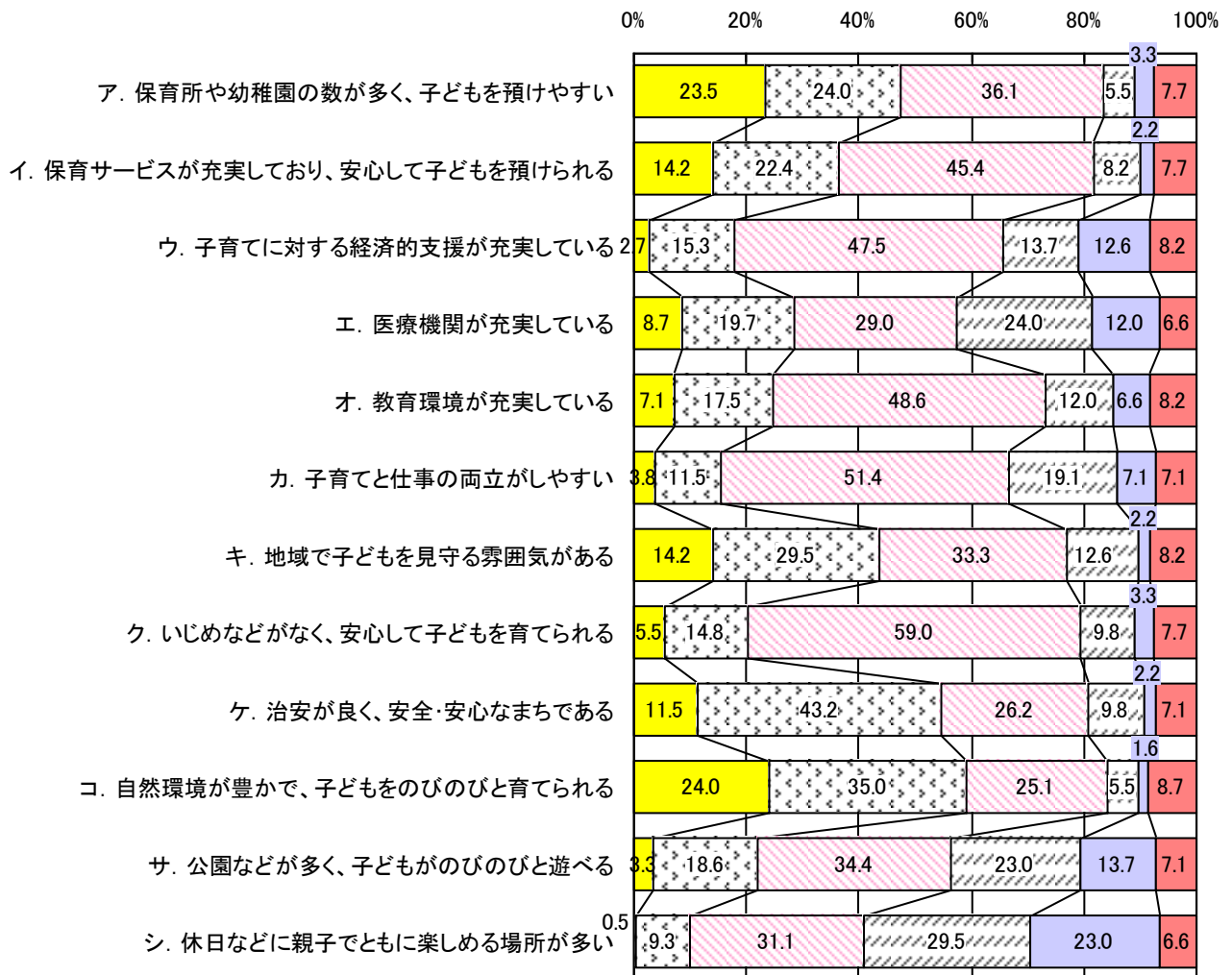
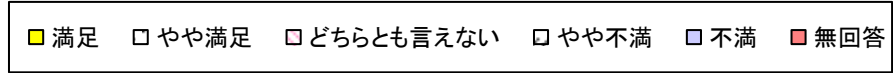


- 理想の子ども数が持てるようにするために充実すべきことについては、「子どもの医療費助成や保育料などの経済的負担の軽減」を選択した人が72.7%と最も多く、以下、「仕事と子育てを両立しやすい環境(家庭や職場)づくり」(58.5%)、「安心して子育てしていくための保育・学童保育サービス」(44.3%)と続いている。

問 23 みやま市の子育て環境についておたずねします。次のア～シの各項目ごとに、あなた自身がどう思うか、それぞれお答えください。
 (「満足度」1～5、「重要度」1～5の中から、それぞれに○印を1つ)

【満足度】

N=183

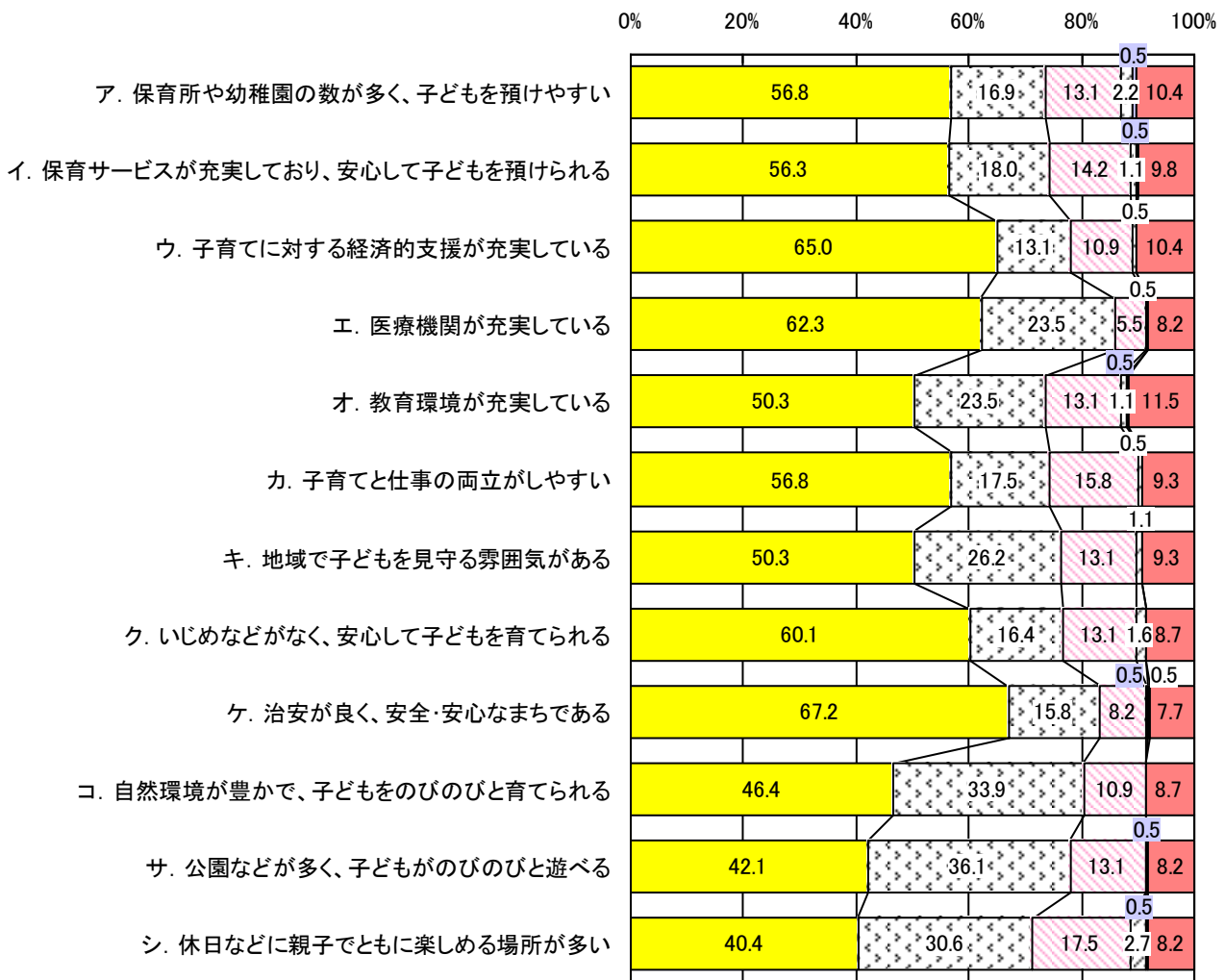


- みやま市の子育て環境について、「満足」という回答割合が高かったのは「コ. 自然環境が豊かで、子どもをのびのびと育てられる」(24.0%)と「ア. 保育所や幼稚園の数が多く、子どもを預けやすい」(23.5%)で、「やや満足」まで含めると「ケ. 治安が良く、安全・安心なまちである」も2番目に高い割合となっている。
- 一方、「不満」という回答割合が最も高かったのは「シ. 休日などに親子でともに楽しめる場所が多い」(23.0%)であった。

【重要度】

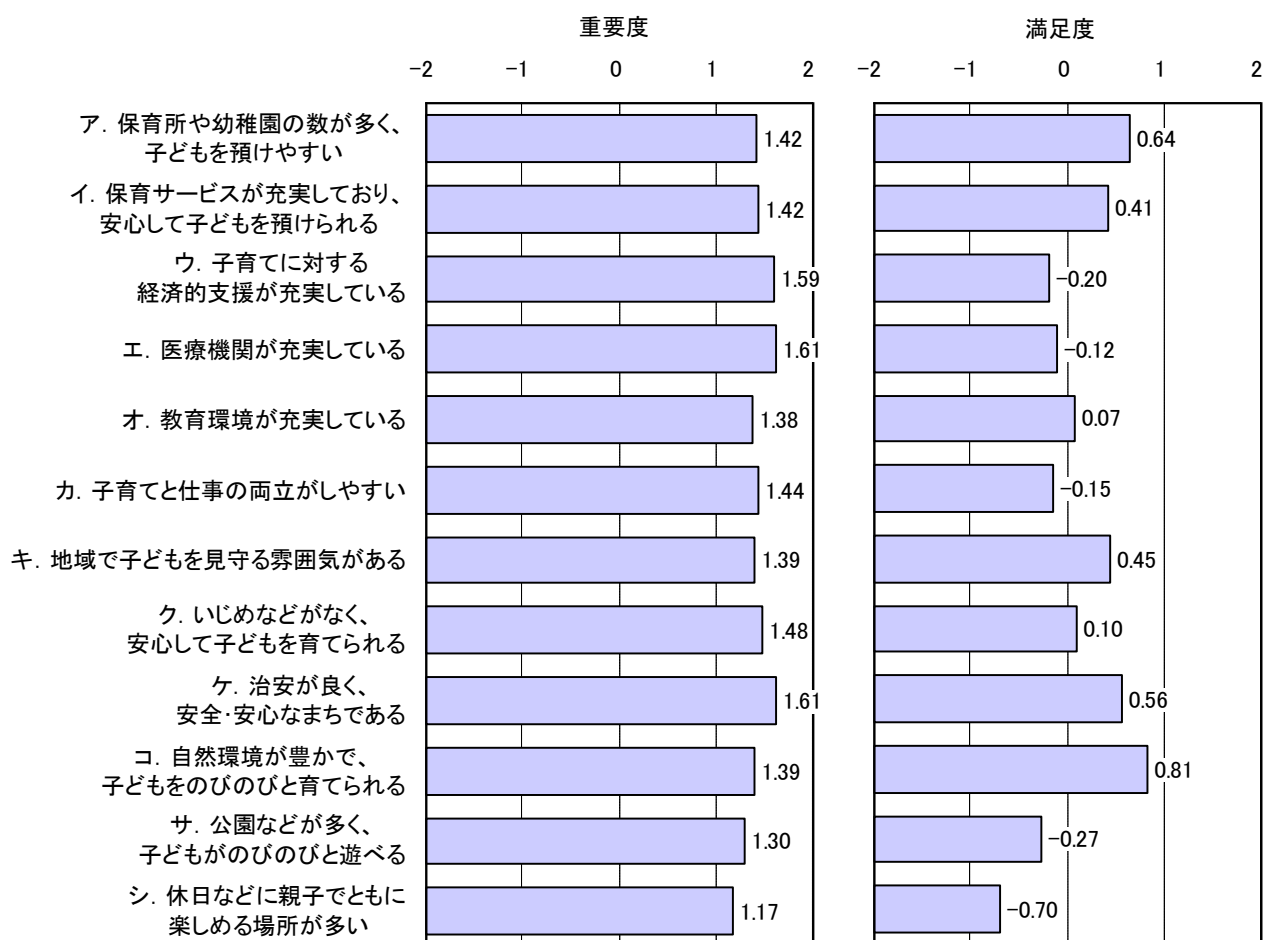
N=183

■重要 □少し重要 □どちらとも言えない □あまり重要ではない □重要でない ■無回答



- みやま市の子育て環境について、「重要」という回答割合が高かったのは「ケ. 治安が良く、安全・安心なまちである」(67.2%)と「ウ. 子育てに対する経済的支援が充実している」(65.0%)であった。

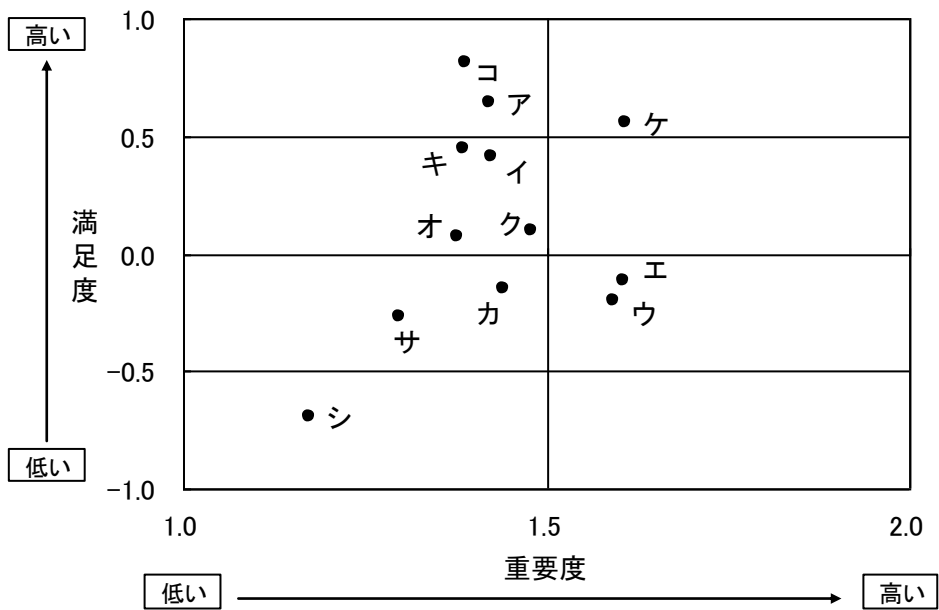
【重要度と満足度 (加重平均値)】



- 子育て環境に関するア～シまでの各項目の重要度と満足度について、最大値を2点、最小値を-2点とする加重平均値を算出し（算出方法は次頁参照）、全項目をその得点で比較する*と、重要度については、「エ. 医療機関が充実している」と「ケ. 治安が良く、安全・安心なまちである」ともに1.61点で最も高く、次いで「ウ. 子育てに対する経済的支援が充実している」が1.59点で続いている。
- また、満足度については、12項目中5項目が0点以下で、全体として満足度が高いとは言えない状況にあるが、得点が最も高かったのは「コ. 自然環境が豊かで、子どもをのびのびと育てられる」で0.81点、逆に、最も低かったのは「シ. 休日などに親子でともに楽しめる場所が多い」で-0.70点であった。

※得点（加重平均値）が高いほど、その項目に関する重要度・満足度が高いと考えられるが、各項目の内容や性格に違いがあるため全項目を単純に比較することはできない。

【重要度と満足度（加重平均値）の分布図】



- 重要度と満足度の加重平均値について分布図をみると、上記のようになっており、単純比較はできないが、概して重要度が高く満足度が低いもの（「ウ. 子育てに対する経済的支援が充実している」や「エ. 医療機関が充実している」）については、その環境改善に向けて取り組む優先順位が高いと考えられる。

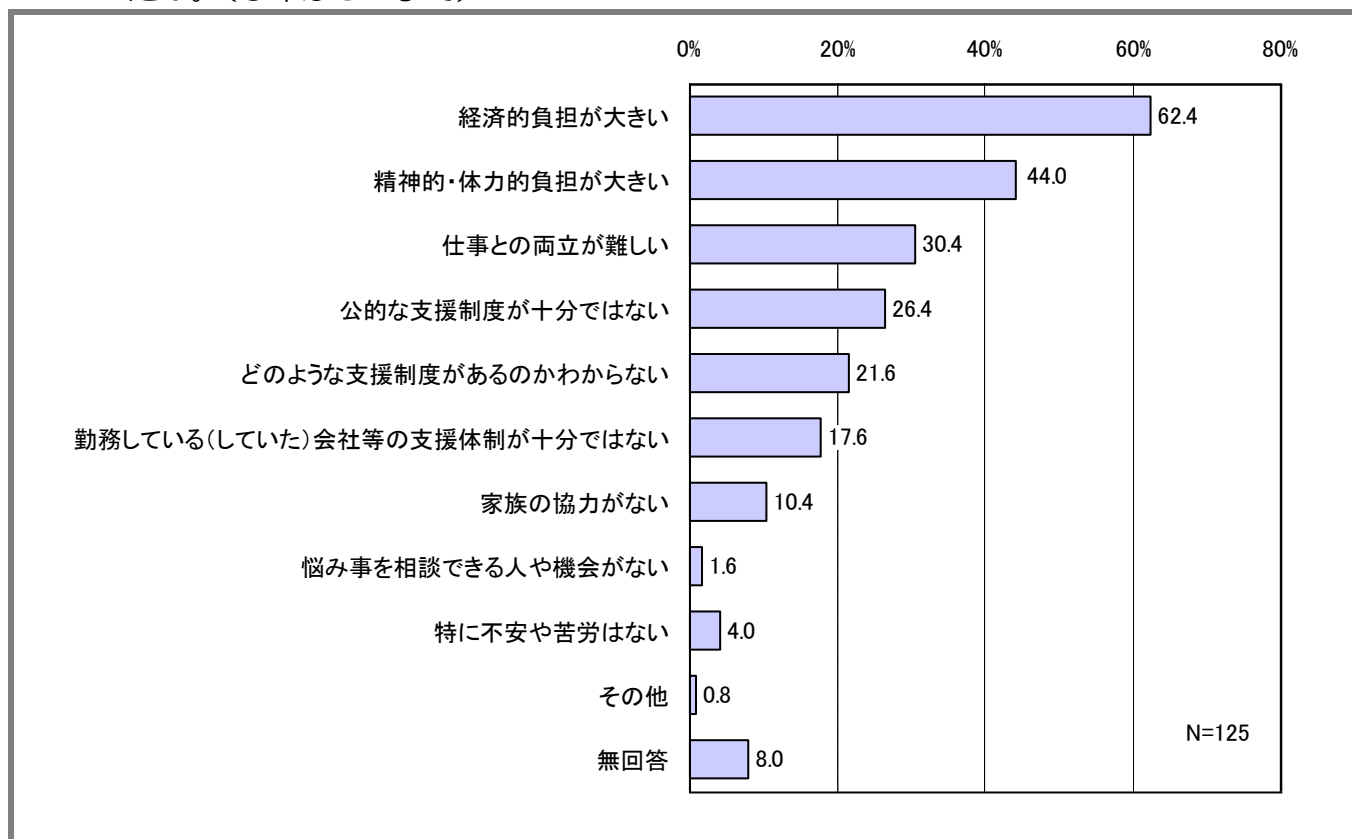
※（参考）加重平均値の算出法

選択肢 (上段:重要度、 下段:満足度)	回答者数(A)	得点 (B)	A × B	
重要 (満足)	a人	2	2a	
少し重要 (やや満足)	b人	1	1b	
どちらとも言えない	c人	0	0c	
あまり重要ではない (やや不満)	d人	-1	-1d	
重要でない (不満)	e人	-2	-2e	加重平均値
合計	a+b+c+d+e= f人	-	2a+1b+0c-1d-2e= g	g/f

加重平均とは、平均値を計算するとき、各項目の数値にその重要度（満足度）に比例した係数をかけ、各項目に重みをつけてから平均する重み付き平均のことである。

今回は、上記のように、重要度及び満足度の各項目に2～-2点までの点数のウェイトをかけて、各項目の回答者数（無回答の人は除外）で加重平均した。こうして算出された加重平均値は、1人あたりの平均得点と考えることができる。

問24 お子さんがいる方におうかがいします。出産、育児に際しての不安や苦勞はありましたか。(〇印は3つまで)



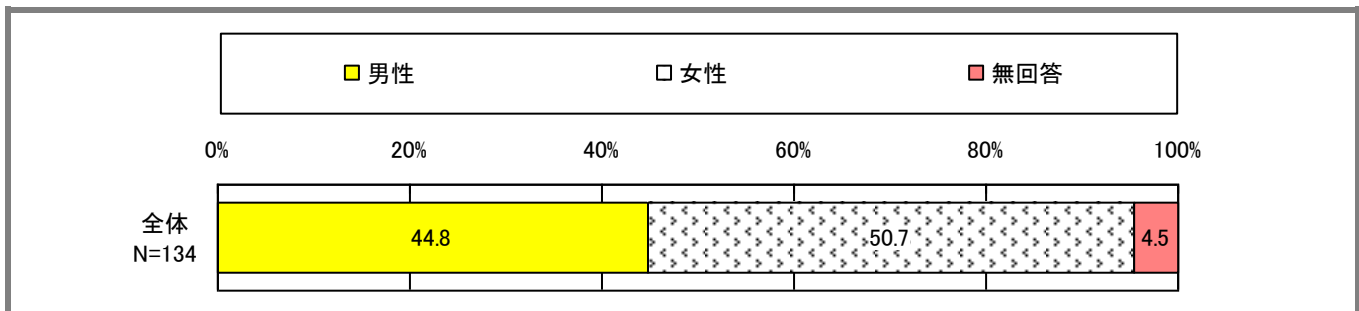
- 出産、育児に際しての不安や苦勞については、「経済的負担が大きい」が62.4%と最も多く、以下、「精神的・体力的負担が大きい」(44.0%)、「仕事との両立が難しい」(30.4%)と続いている。

第3章 就職・進学意識調査

I 回答者の基本属性について

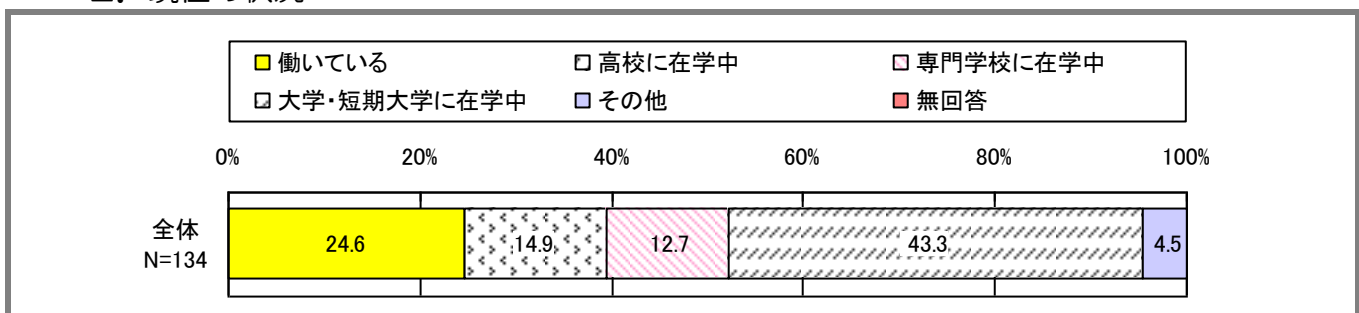
問1 まず、あなたご自身についておたずねします。次の1.～2.について、該当するものをそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 性別



● 回答者の性別については、男性 44.8%、女性 50.7%となっている。

2. 現在の状況

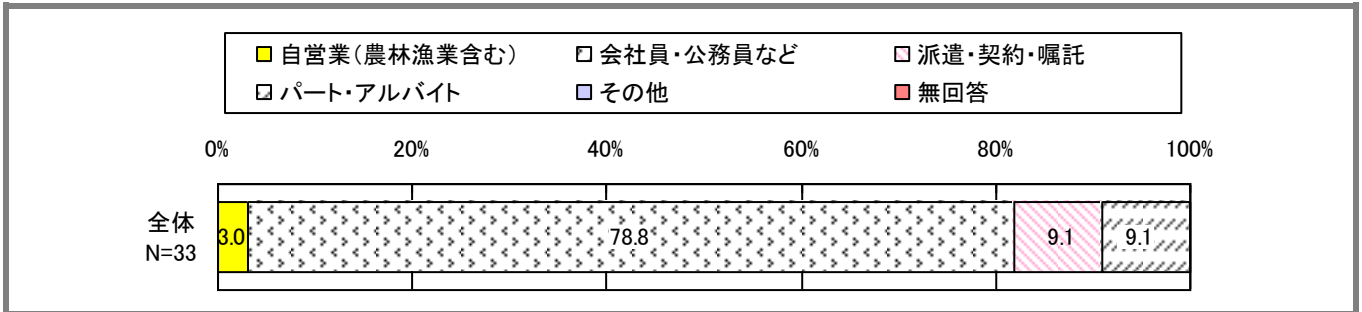


● 回答者のうち、「働いている」人は 24.6%で、「大学・短期大学に在学中」の人が 43.3%と最も多くなっています。

II 働いている方への質問

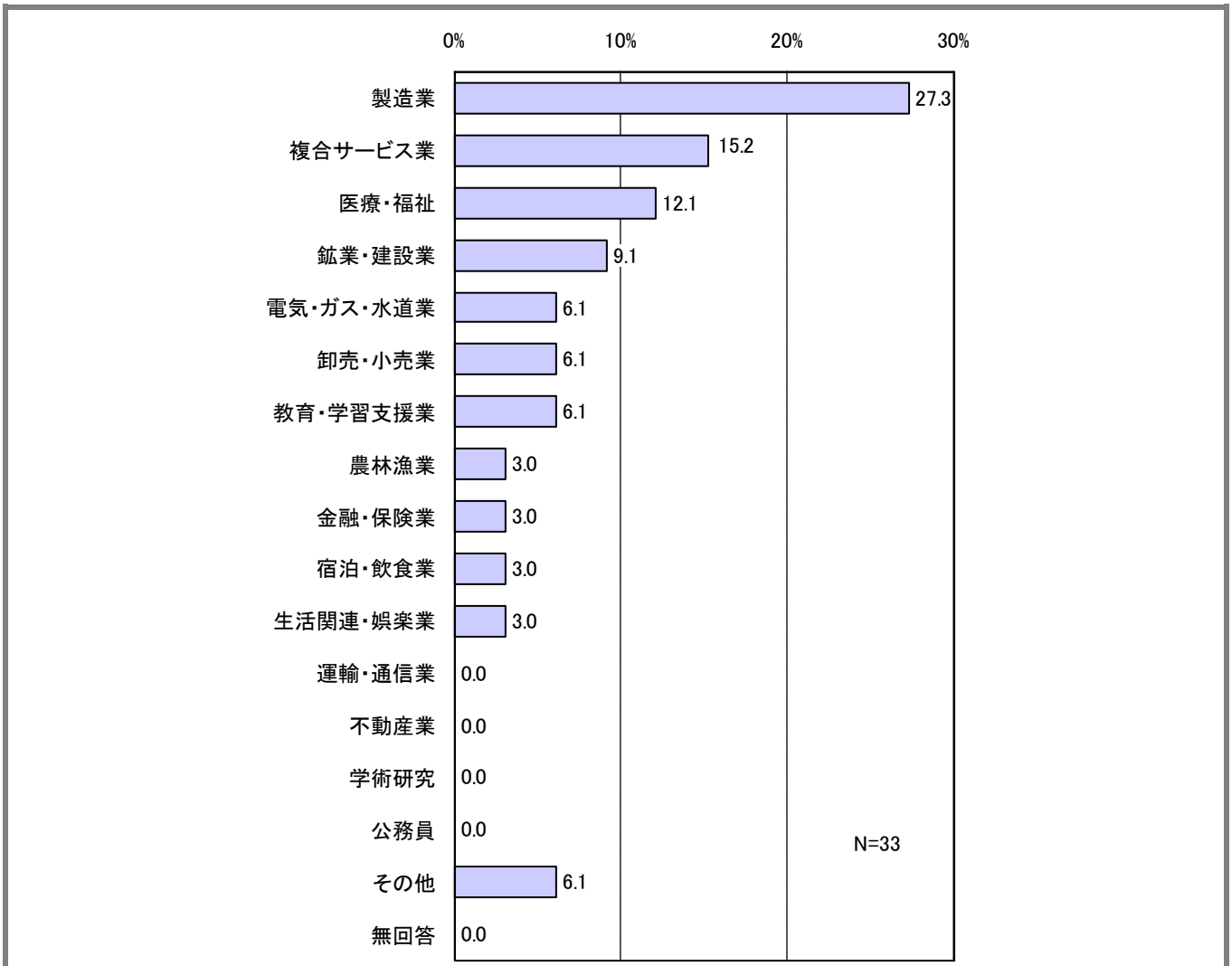
(問1で「1. 働いている」と回答した方におたずねします。【問2から問5まで】)

問2 今、働いておられる形態をお聞きます。【〇は1つだけ】



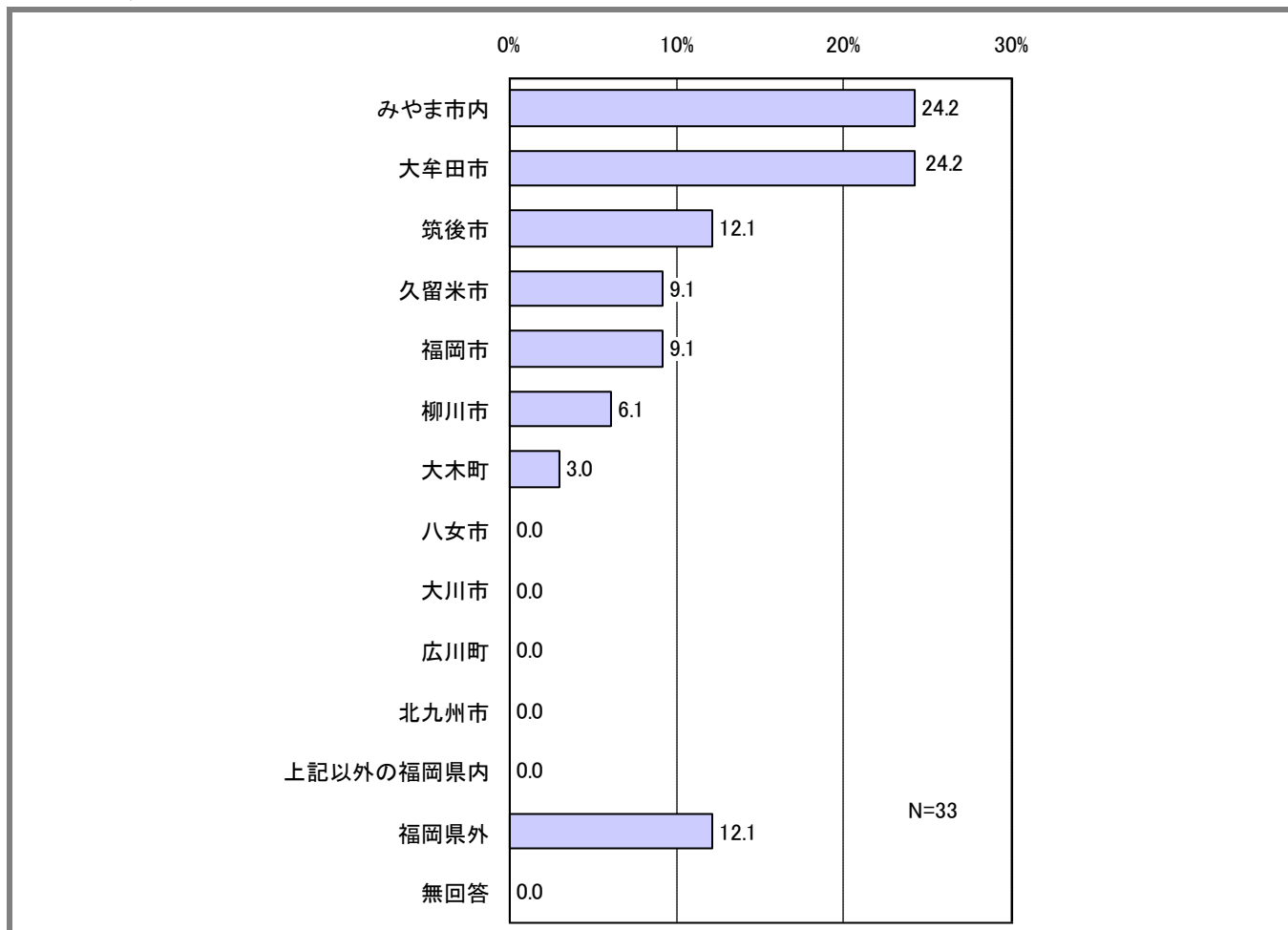
- 問1で「働いている」と回答した人にその形態を尋ねたところ、「会社員・公務員など」が78.8%と大半を占めています。

問3 今、働いておられる職種をお聞きます。【〇は1つだけ】



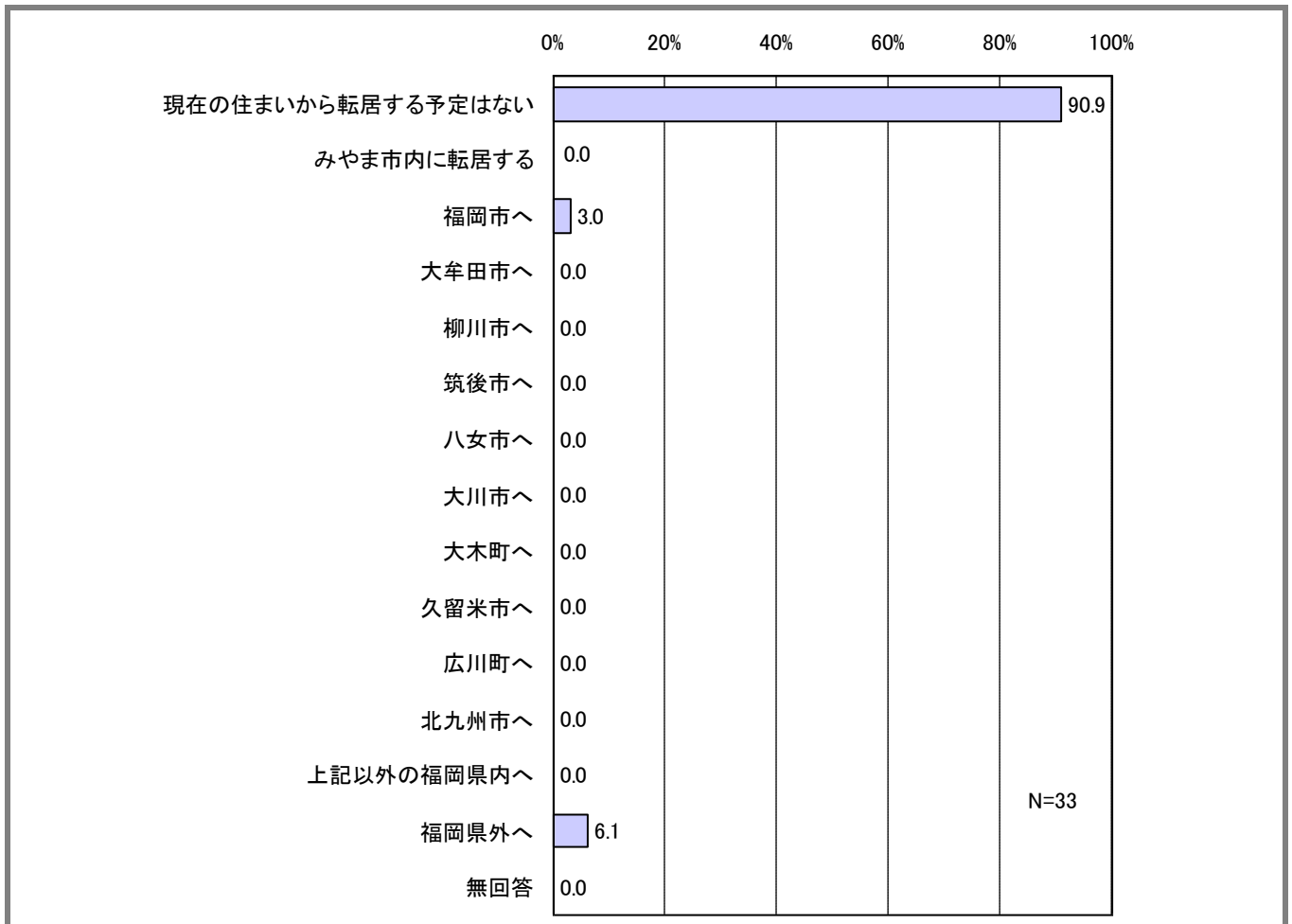
- 職種については、「製造業」(27.3%)、「複合サービス業」(15.2%)、「医療・福祉」(12.1%)が上位にあがっています。

問4 働いている場所（勤務先）はどちらですか。【〇は1つだけ】



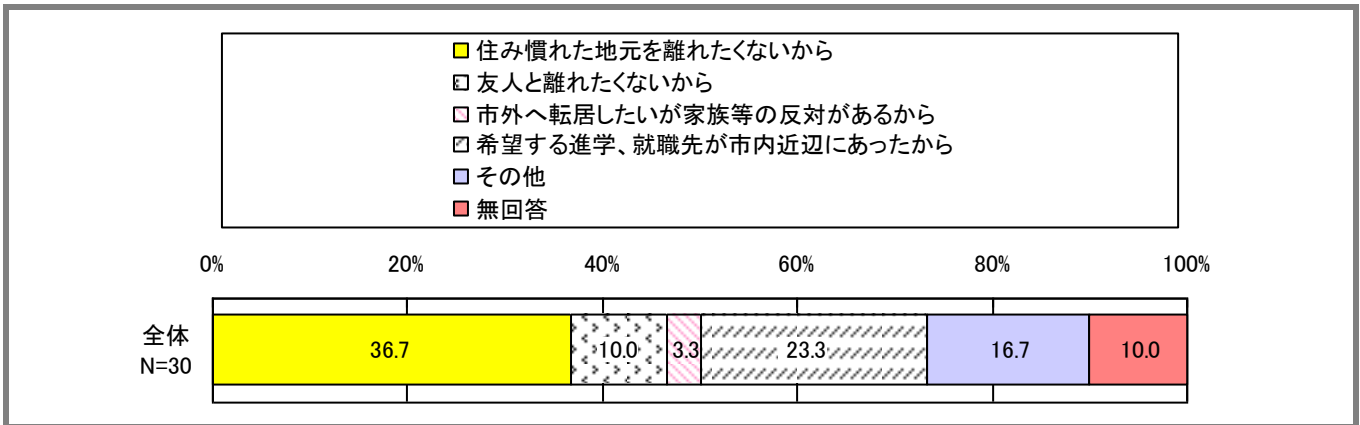
- 勤務先については、「みやま市内」と「大牟田市」がともに 24.2%と多く、以下、「筑後市」(12.1%)、「久留米市」「福岡市」(ともに 9.1%)と続いている。

問5 近いうち(2年以内)に、転居の予定はありますか。【〇は1つだけ】



- 近いうち(2年以内)に、転居の予定がある人は33人中3人のみで、1人は「福岡市へ」、2人は「福岡県外へ」転居予定ということであった。

(問5で「1. 現在の住まいから転居する予定はない」と回答した方におたずねします。)
 問6 転居しない理由をお聞かせください。【〇は1つだけ】



- 問5で「現在の住まいから転居する予定はない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「住み慣れた地元を離れたくないから」が36.7%と最も多く、「希望する進学、就職先が市内近辺にあったから」が23.3%でそれに続いている。

(問5で「3.」～「14.」と回答した方におたずねします。【問7から問8まで】)

問7 市外への転出の理由をお聞かせください。【〇は1つだけ】

問8 将来、みやま市に戻ってきたいと思いますか。【〇は1つだけ】

- 問7、問8ともに回答者は1人のみで、問7の回答内容は「新しい場所に暮らすことで新たな人間関係を作りたいから」、問8の回答内容は「できれば戻ってきたい」であった。

(問8で「3. あまり戻ってきたいと思わない」または「4. 戻ってくることはない」と回答した方におたずねします。)

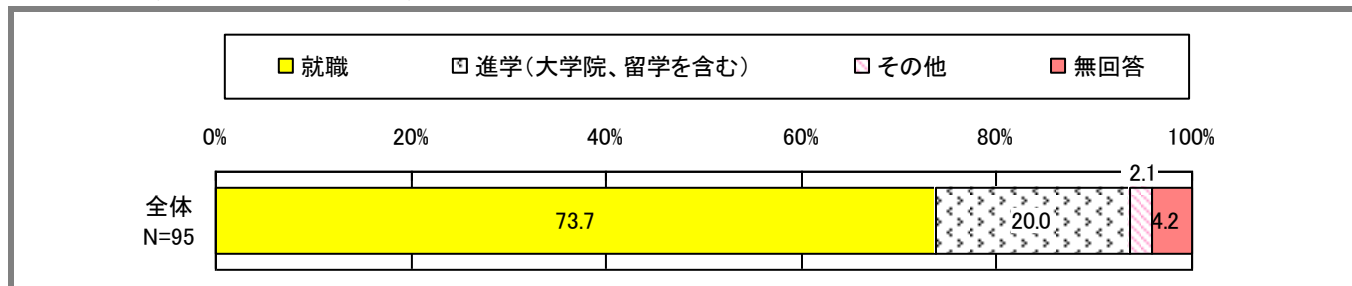
問9 その理由は何ですか。【〇は3つまで】

- 問9は該当者なし

Ⅲ 在学中の方への質問

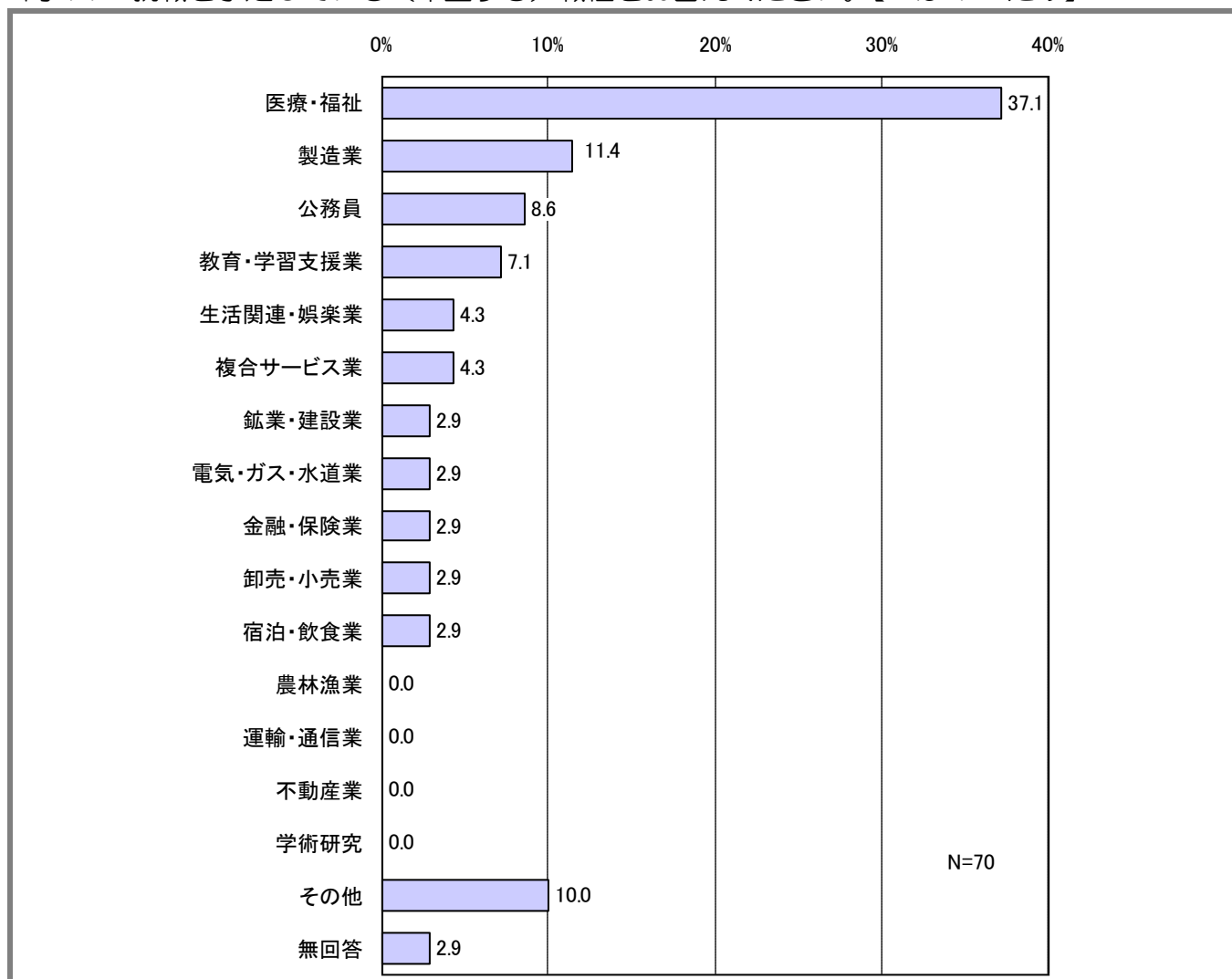
(問1で「2. 高校に在学中」「3. 専門学校に在学中」「4. 大学・短期大学に在学中」のいずれかに回答した方におたずねします。)

問10 卒業後のご予定(希望)をお聞かせください【〇は1つだけ】



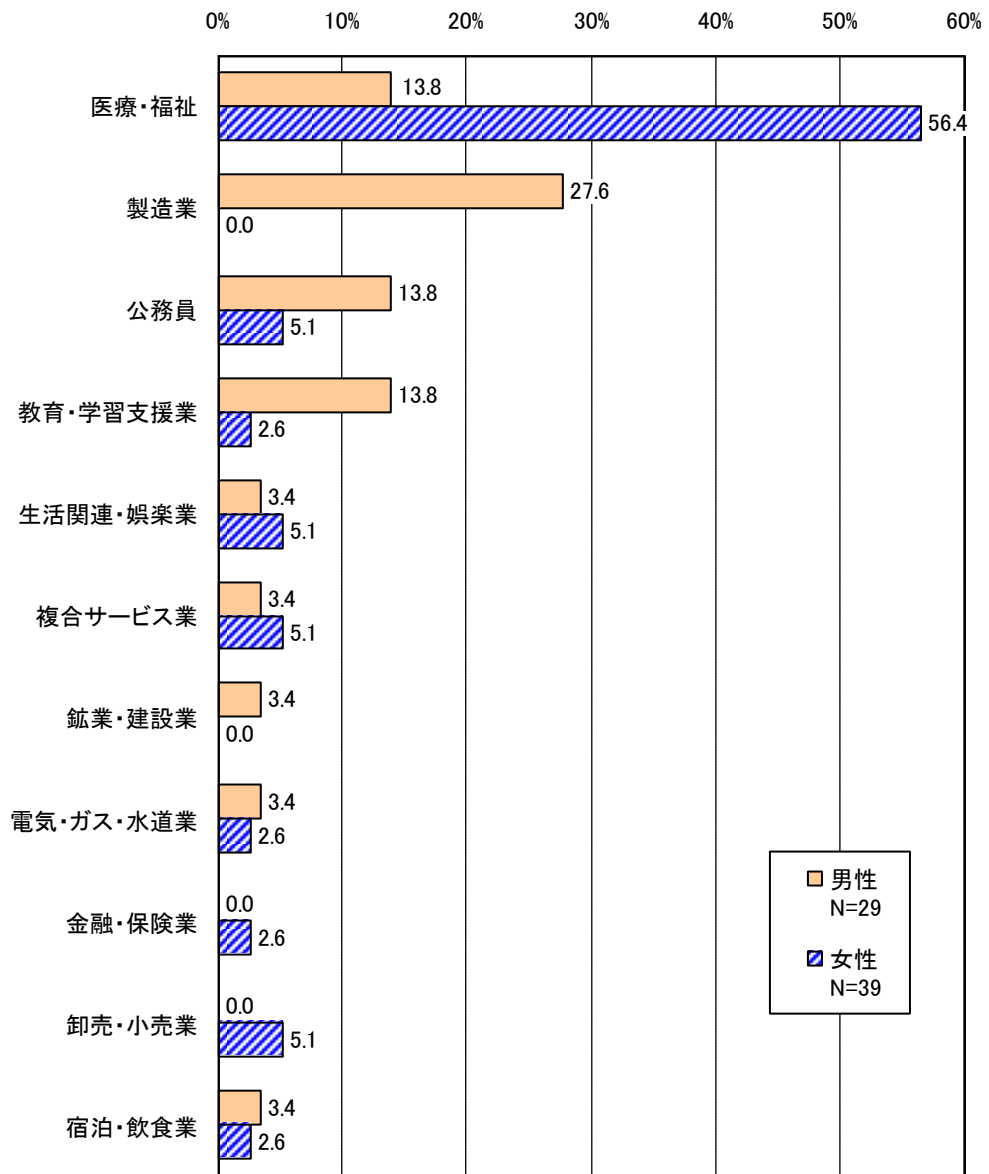
- 在学中の人に卒業後の予定(希望)を尋ねたところ、「就職」が73.7%と最も多く、「進学(大学院、留学を含む)」が20.0%となっている。

(問10で「1. 就職」と回答した方におたずねします。【問11から問12まで】)
 問11 就職を予定している(希望する)職種をお答えください。【〇は1つだけ】

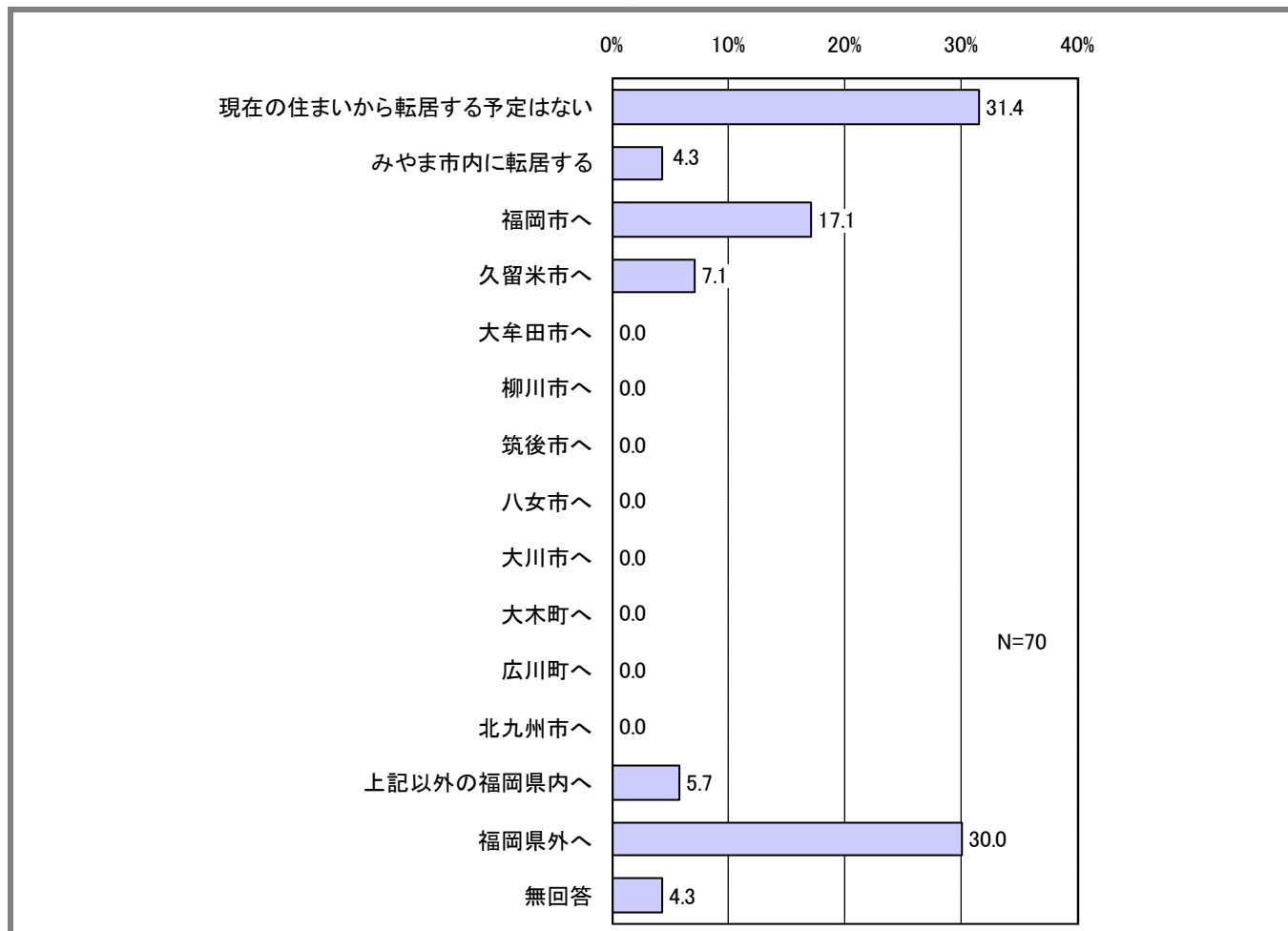


- 卒業後の予定(希望)を「就職」と回答した人に希望職種を尋ねたところ、「医療・福祉」が37.1%と最も多く、次いで「製造業」が11.4%、「公務員」が8.6%と続いている。
- 男女別のクロス集計結果を見ると、女性では「医療・福祉」(56.4%)、男性では「製造業」(27.6%)が多くなっている。(次ページ参照)

【男女別クロス集計結果】



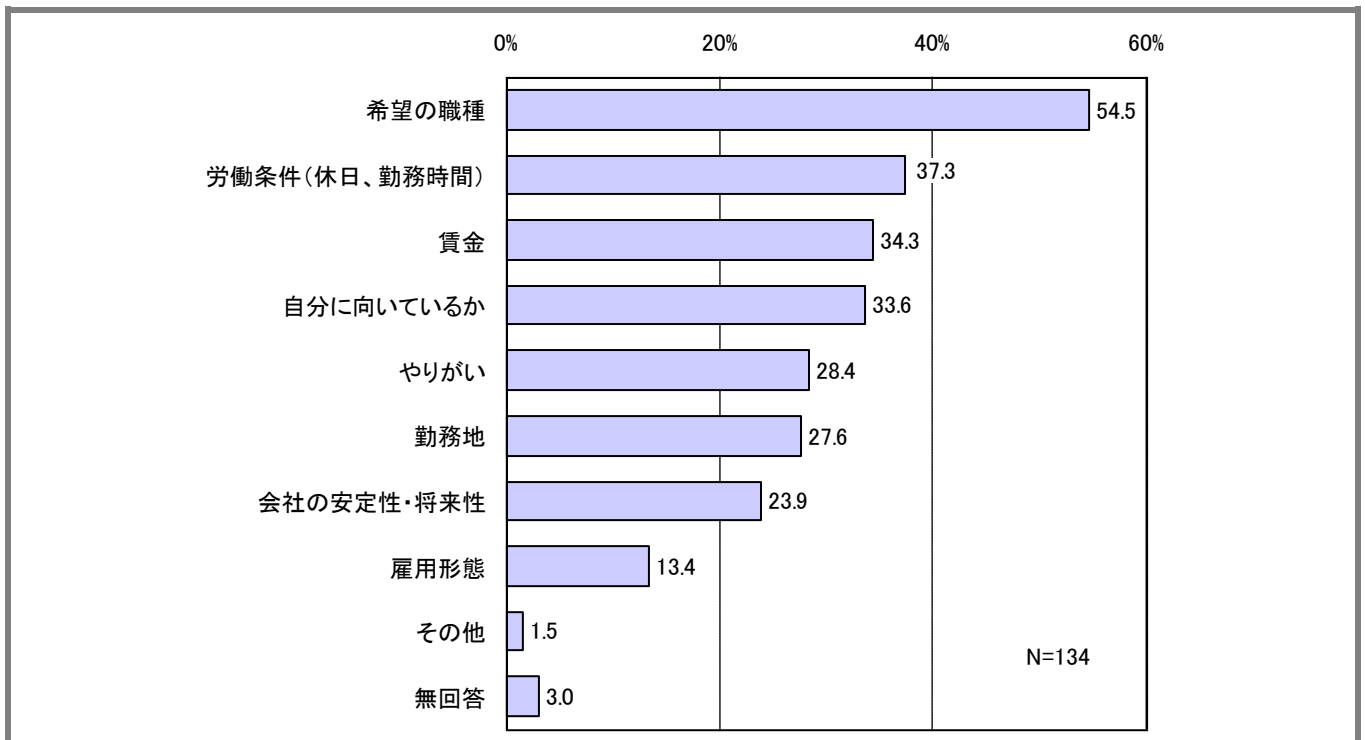
問12 就職する際の、お住まいのご予定（希望）をお聞かせください。【〇は1つだけ】



- 就職する際の、住まいの予定（希望）については、「現在の住まいから転居する予定はない」が31.4%、「福岡県外へ」が30.0%、「福岡市へ」が17.1%となっている。

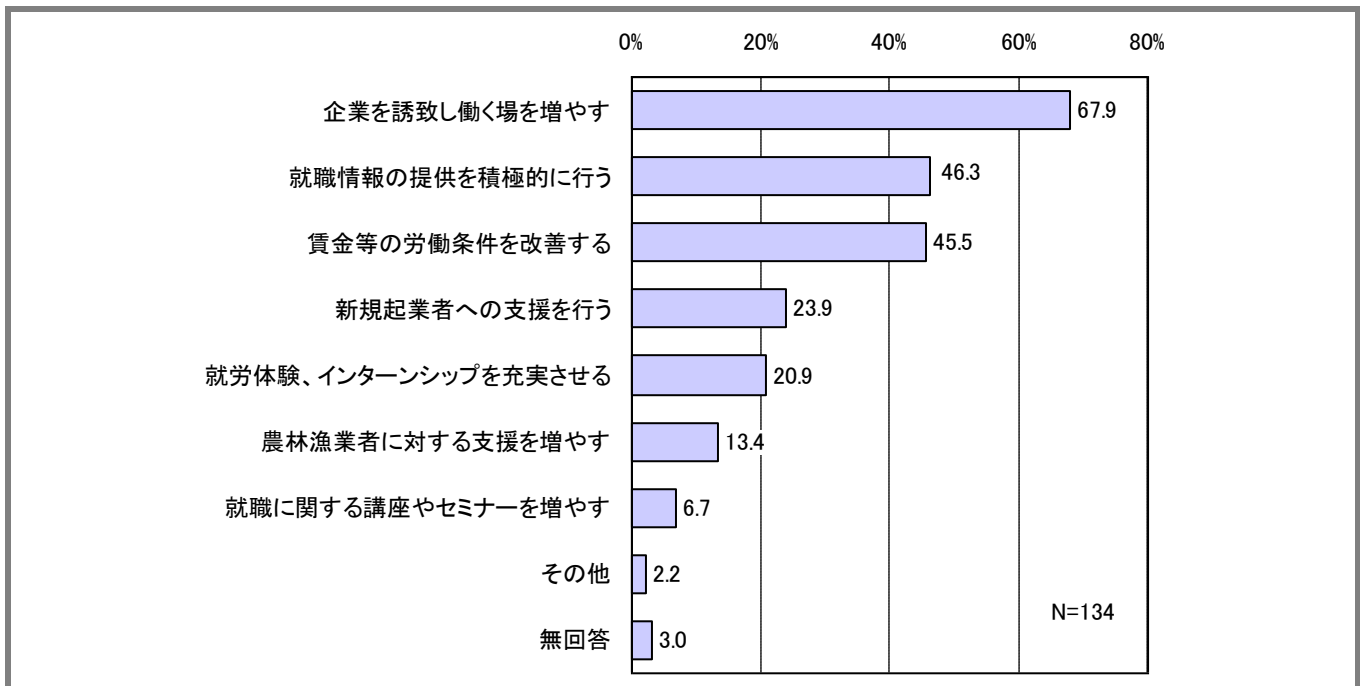
Ⅳ 全員への質問

問 13 あなたが就職を考える際に重視する点をお答えください。【〇は3つまで】



- 就職を考える際に重視する点については、「希望の職種」が 54.5%と最も多く、以下、「労働条件(休日、勤務時間)」(37.3%)、「賃金」(34.3%)、「自分に向いているか」(33.6%)と続いている。

問 14 みやま市内での就職を増やすためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。
【〇は3つまで】

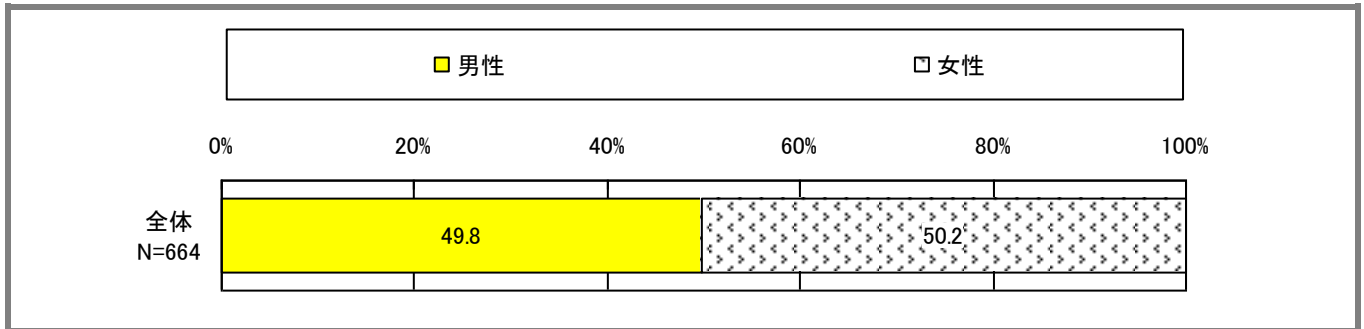


- みやま市内での就職を増やすために必要だと思う取り組みとして最も回答割合が高かったのは、「企業を誘致し働く場を増やす」(67.9%)で、以下、「就職情報の提供を積極的に行う」(46.3%)、「賃金等の労働条件を改善する」(45.5%)と続いている。

第4章 市外からの移住意向調査

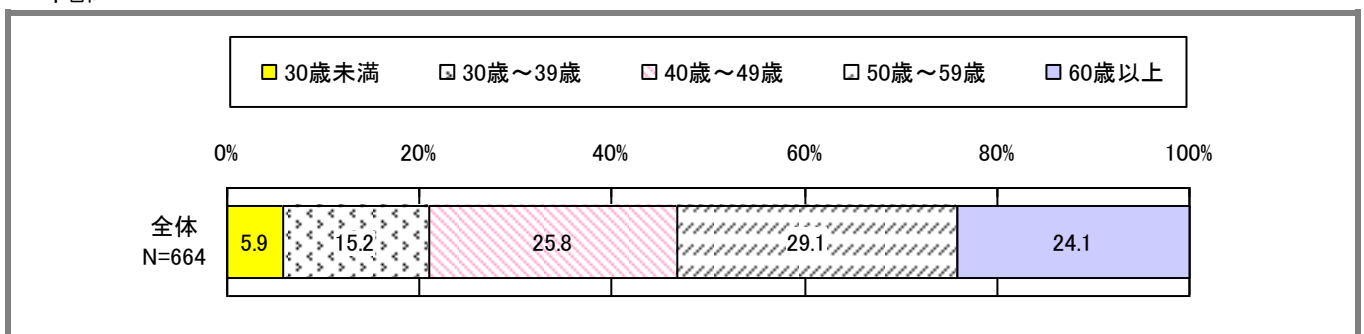
I 回答者の基本属性について

性別



- 回答者の性別については、男性が49.8%、女性が50.2%となっている。

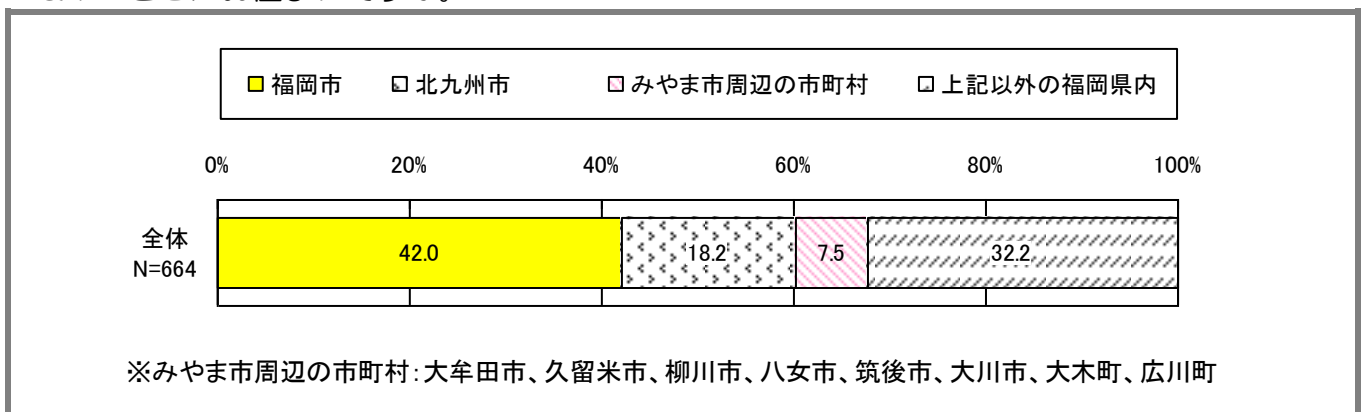
年齢



- 回答者の年齢分布は上のおおりで、「50～59歳」が最も多くなっています。

II 回答者の居住地について

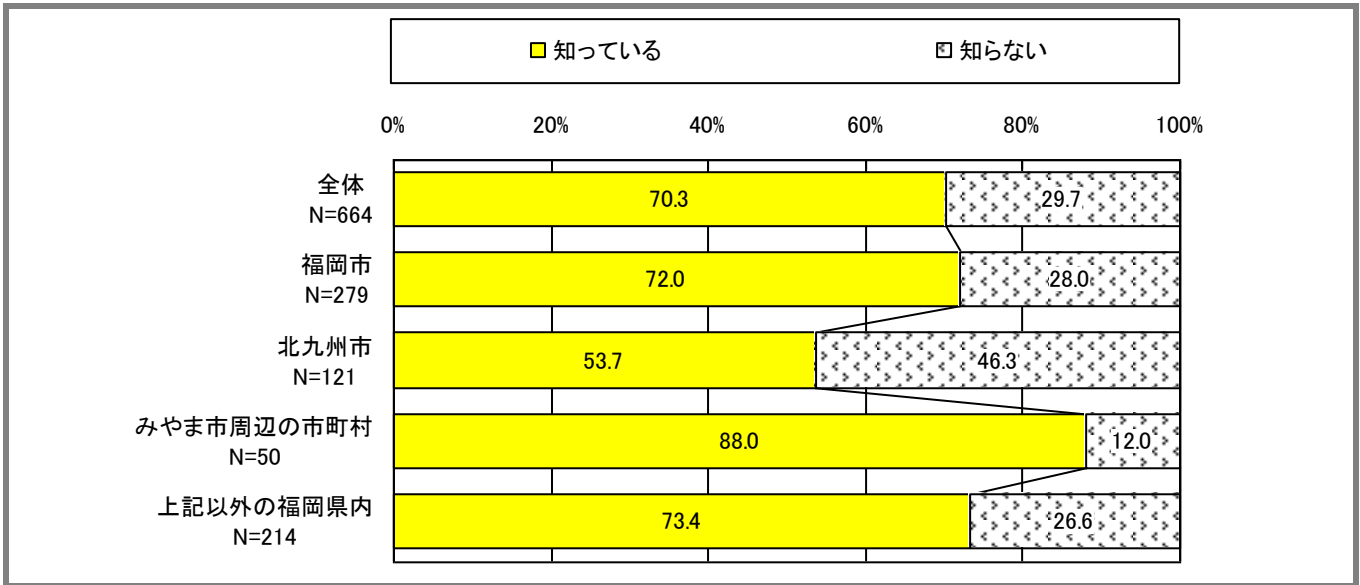
Q1 どこにお住まいですか。



- 回答者の居住地については、「福岡市」が42.0%と最も多く、「北九州市」が18.2%、「みやま市周辺の市町村」が7.5%、「上記以外の福岡県内」が32.2%となっている。

Ⅲ みやま市の認知度について

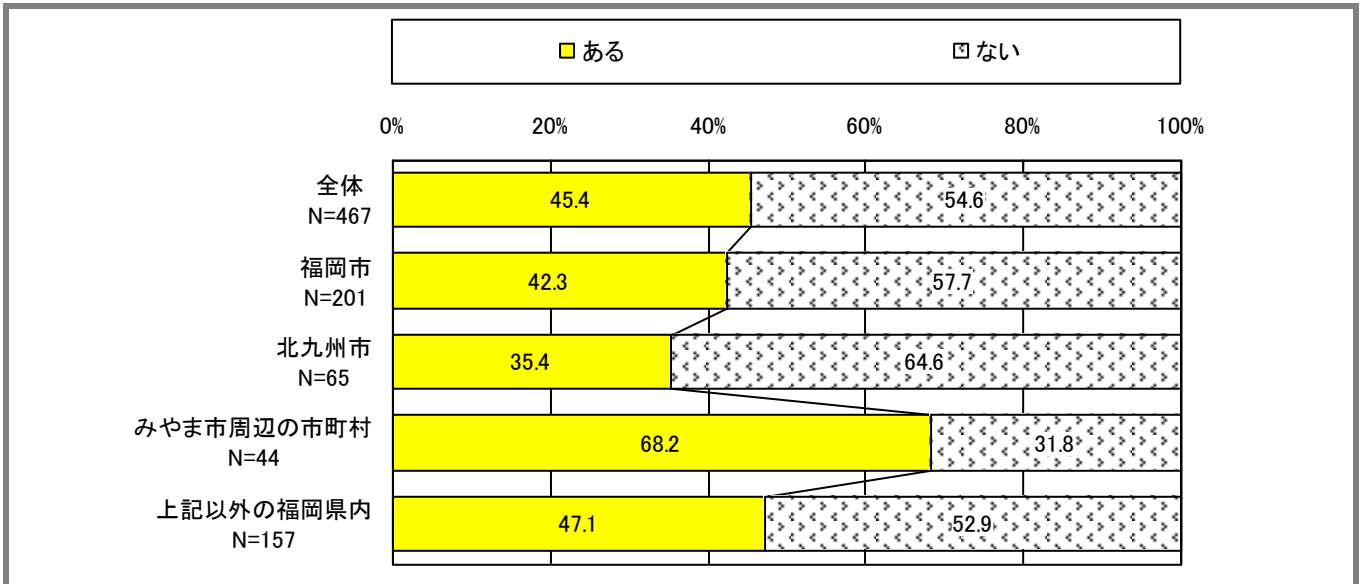
Q2 みやま市を知っていますか。



- みやま市を「知っている」と回答した人は全体の70.3%で、回答者の居住地別に見ると、「北九州市」ではやや認知度が低いことがわかる。

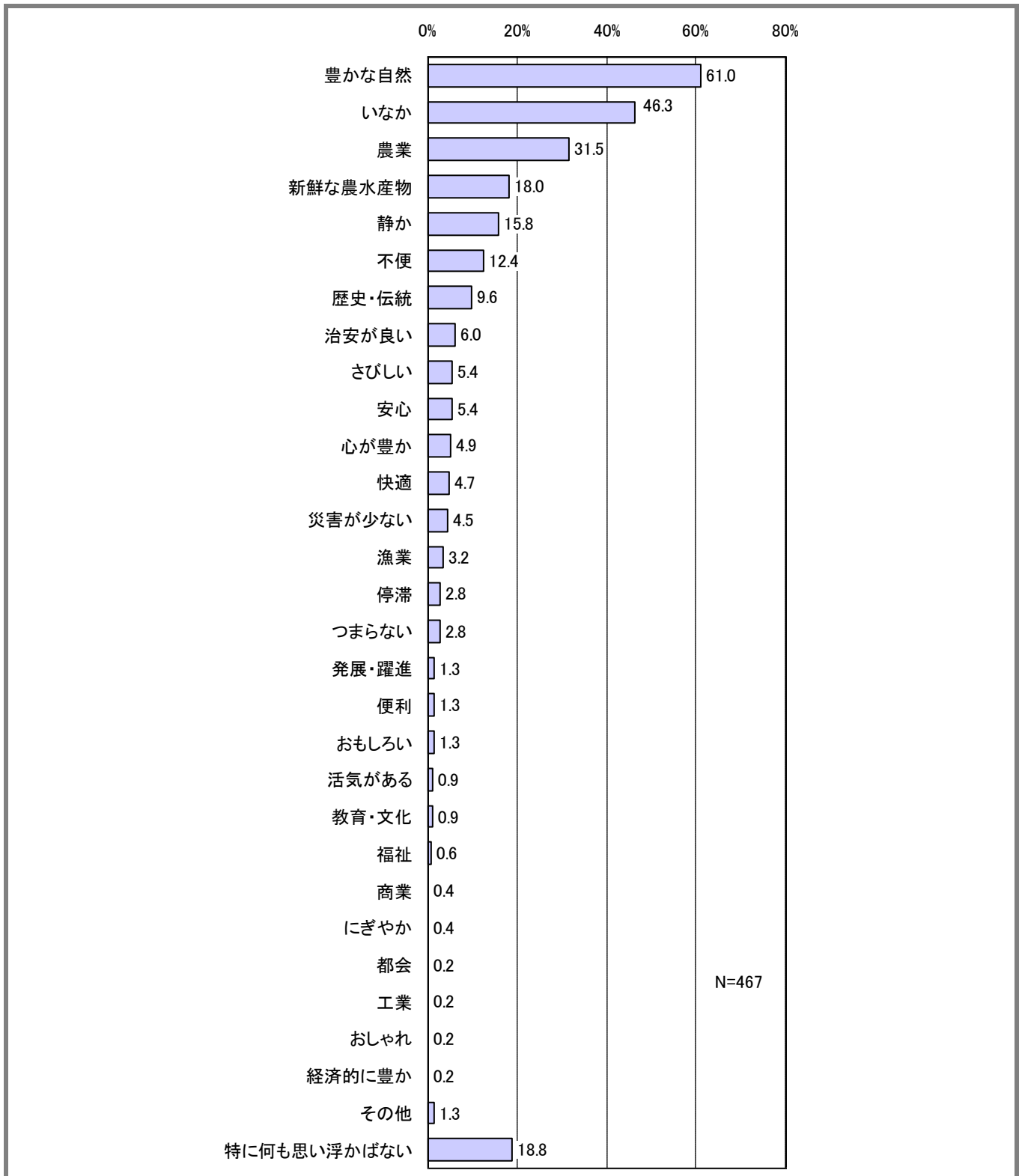
Ⅳ みやま市を知っている人への質問

Q3 みやま市に行ったことがありますか。



- Q2でみやま市を「知っている」と回答した人のうち、みやま市に行ったことが「ある」と回答した人の割合は45.4%となっている。

Q4 みやま市のイメージについて、当てはまるものを次の中からすべてお選びください。



- みやま市のイメージについては、「豊かな自然」(61.0%)、「いなか」(46.3%)、「農業」(31.5%)が上位にあがっている。

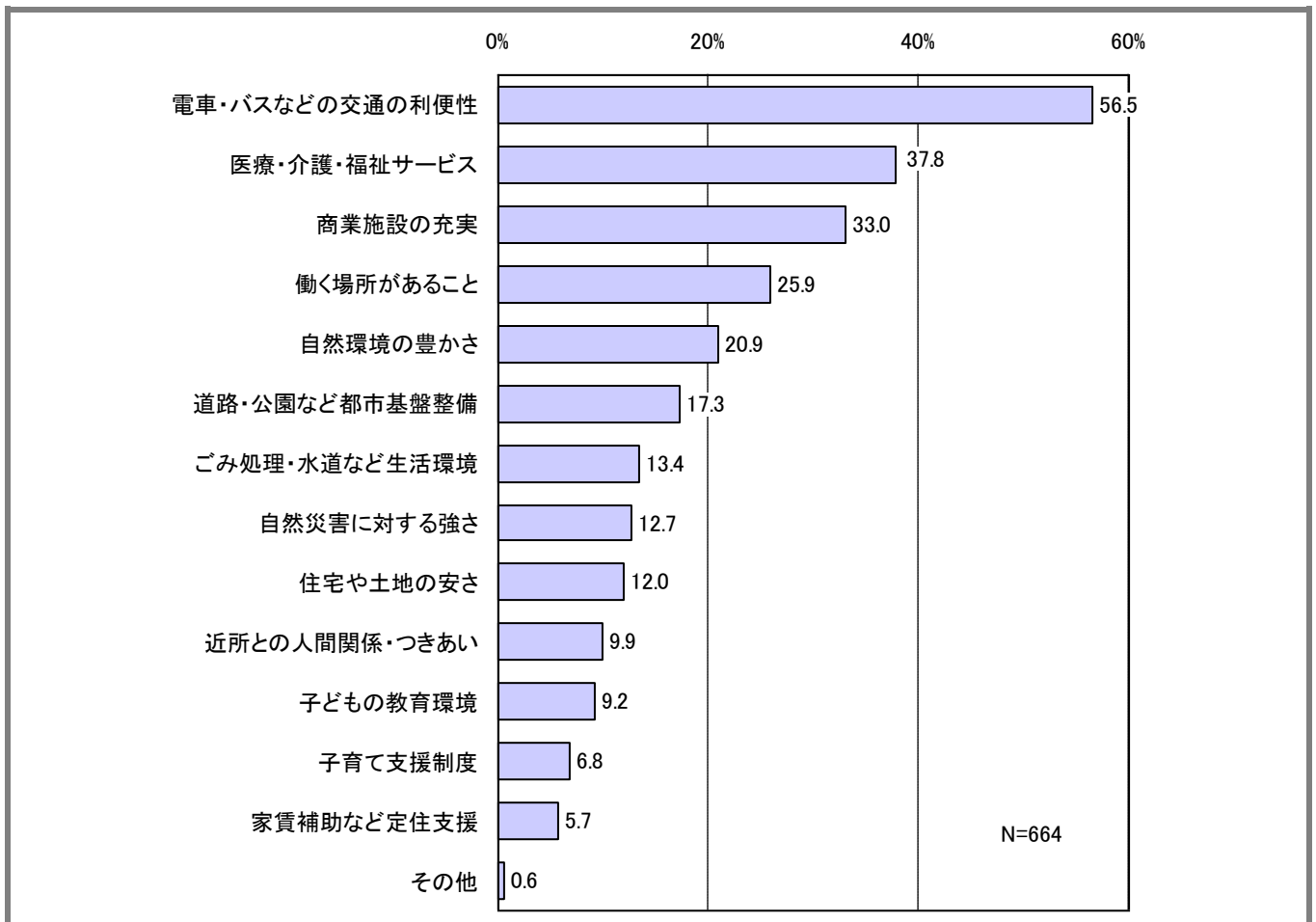
Q5 みやま市に住んでみたいと思いますか。



- みやま市に住んでみたいと「思う」と回答した人の割合は全体の9.9%となっている。
- 性別に見ると、みやま市に住んでみたいと「思う」と回答した人の割合は、女性（8.5%）よりも男性（10.9%）の方がやや高くなっている。
- 年齢階層別に見ると、みやま市に住んでみたいと「思う」と回答した人の割合が高かったのは「60歳以上」（13.4%）、低かったのは「30歳未満」（4.8%）となっている。

V 全員への質問

問6 居住するにあたり、重要視することは何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。



- 居住するにあたり重要視することとしては、「電車・バスなどの交通の利便性」という回答割合が56.5%と最も高く、以下、「医療・介護・福祉サービス」(37.8%)、「商業施設の充実」(33.0%)、「働く場所があること」(25.9%)、「自然環境の豊かさ」(20.9%)と続いている。

**「みやま市人口ビジョン」及び
「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定のためのアンケート調査結果報告書**

平成27年8月

◆発行 福岡県みやま市
〒835-8601 福岡県みやま市瀬高町小川5番地
事務局：
企画財政課 TEL 0944-64-1504
FAX 0944-64-1507
